

令和7年度

県民文化芸術活動実態調査

報告書

令和7年10月

埼玉県

目 次

第 1 章 調査の概要	1
1. 調査の目的.....	3
2. 調査項目.....	3
3. 調査設計.....	3
4. 回収結果.....	6
5. 報告書の見方.....	7
第 2 章 調査の結果	9
1. 回答者のプロフィール.....	11
(1) 性別.....	11
(2) 年齢.....	11
(3) 職業.....	12
(4) 勤務先・通学先の地域.....	12
(5) 家族構成.....	13
(6) 居住地域.....	13
2. 文化芸術に関する興味・関心について.....	14
(1) 興味・関心の有無.....	14
(2) 興味がある分野.....	16
3. 日頃の文化芸術に関する活動状況について.....	19
(1) この 1 年間の活動及び鑑賞の経験.....	19
(2) 活動頻度.....	21
(3) 活動場所.....	23
(4) 活動内容.....	25
(5) 活動を始めたきっかけ.....	28
(6) 活動を行う上で困っていること.....	31
(7) 活動から得たもの.....	34
(8) 活動による金銭収入（プロの芸術家）の有無.....	37
(9) 団体への所属有無.....	39
(10) 所属団体の規模.....	41
(11) 所属団体のメンバー構成.....	43
(12) 所属団体の活動上の問題・課題.....	46
(13) 団体に加入していない理由.....	49
(14) 団体への参加意向の有無.....	52
(15) 鑑賞頻度.....	54
(16) 鑑賞場所.....	56
(17) 鑑賞内容.....	58
(18) 鑑賞を始めたきっかけ.....	61
(19) 鑑賞を行う上で困っていること.....	64

(20) 活動していない理由	67
(21) 今後の活動意向の有無	70
(22) 今後行いたい活動の分野	72
(23) 鑑賞していない理由	75
4. 今後の文化芸術全般について	78
(1) 情報入手方法	78
(2) 必要としている文化情報	81
(3) 埼玉県 of 文化的な環境の満足度	84
(4) 埼玉県が積極的に取り組むべき分野	86
(5) 文化芸術に期待すること	88
(6) 埼玉県が誇れる文化芸術（自由記述）	91
(7) 文化芸術の必要性（コロナ禍を経て）の有無	93
(8) 文化芸術を必要と考える理由	95
付録 調査票	97

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

県民による文化芸術活動の実態や県による文化行政に対する県民の考え等を把握し、県民の文化芸術活動への参加促進など、今後の文化芸術振興施策の展開のための基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査項目

- 文化芸術に関する興味・関心について
- 日頃の文化芸術に関する活動状況について
- 今後の文化芸術全般について

3. 調査設計

調査対象 : 埼玉県内に住む、令和7年4月1日時点で満18歳以上の男女個人
調査期間 : 令和7年6月16日（月）～7月4日（金）
調査方法 : 郵送配布、郵送回収・インターネット回収併用法
標本の大きさ : 3,000人
抽出方法 : 層化二段無作為抽出法（165地点、1地点18人程度）

〔層化〕

1. 県内を3ゾーン10地域に区分
2. 各地域において、自治体規模により、人口10万人以上の市、人口10万人未満の市、町村部に分類し、それぞれを第1次層として計25層とした。
(人口による都市規模の分類は、埼玉県統計協会発行「埼玉県町（丁）字別人口調査結果報告」令和7年1月1日時点の推定人口に基づく)

〔標本の配分及び調査地点数の決定〕

各層における調査地点数は、対象者数3,000を母集団の層別人口比率に従って比例配分したのち、各層に割り当てられた対象者数を基準に、1地点からの抽出数が18人程度となるように決定した。

〔抽出〕

1. 抽出単位となる調査地点として、令和2年国勢調査時に設定された調査区を使用した。
2. 調査地点（調査区）の抽出は、層における筆頭調査区から任意に算出された数をもって数えた調査区を1番目の調査区として抽出し、調査地点数が2地点以上割り当てられた層については、抽出間隔 = 層における調査区数の合計 ÷ 層で算出された調査地点数を算出し、1番目の調査区以降はこの抽出間隔を用い、等間隔抽出法によって抽出した。
3. 調査地点における対象者の抽出は、住民基本台帳の該当する番地・番号の頁の筆頭者から任意に算出された数をもって数えた調査対象者を第一番目の該当者として抽出し、以後、等間隔抽出を行い、1地点で18人程度の標本を抽出した。

第1章 調査の概要

〔結果〕

以上の抽出作業の結果は下表のとおり。

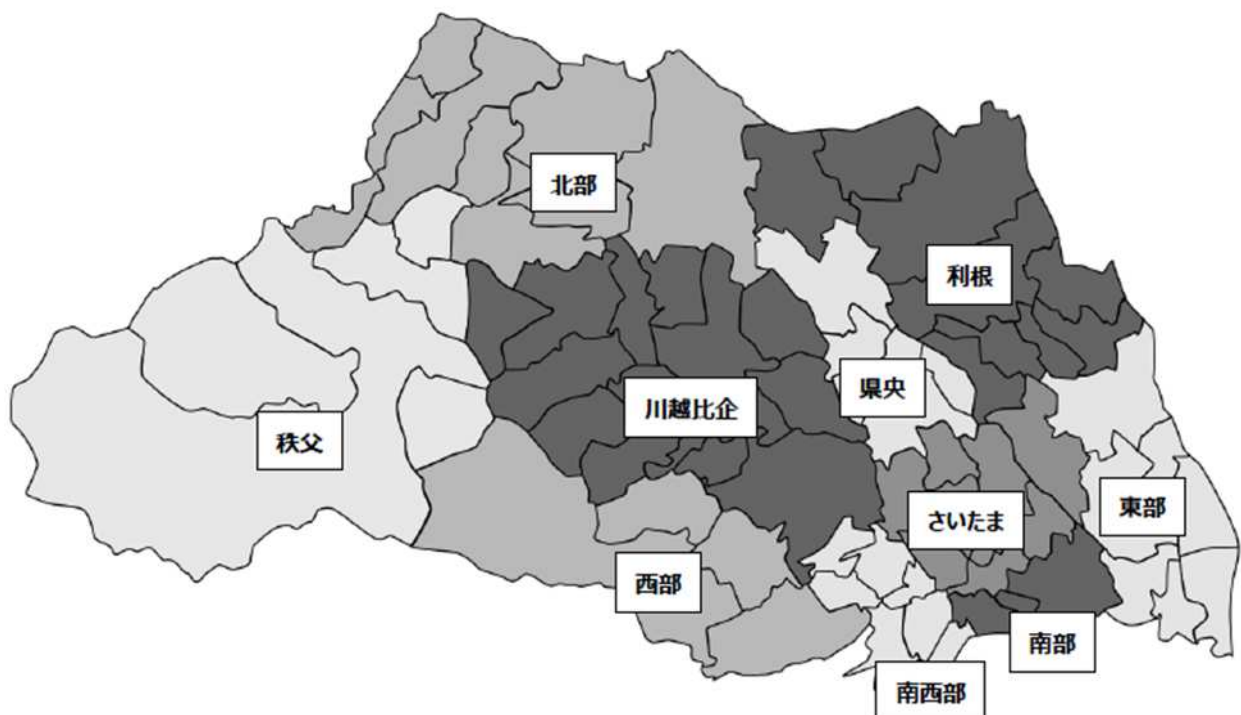
地域区分		該当市町村名	抽出地点数	抽出数
県南ゾーン	南部	川口市、蕨市、戸田市	19 地点	335 人
	南西部	朝霞市、志木市、和光市、新座市、富士見市、ふじみ野市、三芳町	16 地点	297 人
	東部	春日部市、草加市、越谷市、八潮市、三郷市、吉川市、松伏町	26 地点	472 人
	さいたま	さいたま市	30 地点	541 人
圏央道ゾーン	県央	鴻巣市、上尾市、桶川市、北本市、伊奈町	12 地点	217 人
	川越比企	川越市、東松山市、坂戸市、鶴ヶ島市、毛呂山町、越生町、滑川町、嵐山町、小川町、川島町、吉見町、鳩山町、ときがわ町、東秩父村	18 地点	321 人
	西部	所沢市、飯能市、狭山市、入間市、日高市	17 地点	315 人
	利根	行田市、加須市、羽生市、久喜市、蓮田市、幸手市、白岡市（※）、宮代町、杉戸町	14 地点	261 人
県北ゾーン	北部	熊谷市、本庄市、深谷市、美里町、神川町、上里町、寄居町	11 地点	203 人
	秩父	秩父市、横瀬町、皆野町、長瀨町、小鹿野町	2 地点	38 人
合 計			165 地点	3,000 人

（※）白岡市は、庁舎火災の影響により、住民基本台帳の閲覧業務が休止されたため、同一地域内の別地点を代替として抽出を実施

地域区分（3ゾーン）



地域区分（10地域）



4. 回収結果

地域別の有効回収数ならびに有効回収率は下表のとおり。

地域区分		抽出数	有効回収数	有効回収率
県南ゾーン	南部	335	149	44.5%
	南西部	297	137	46.1%
	東部	472	191	40.5%
	さいたま	541	248	45.8%
圏央道ゾーン	県央	217	107	49.3%
	川越比企	321	140	43.6%
	西部	315	142	45.1%
	利根	261	108	41.4%
県北ゾーン	北部	203	106	52.2%
	秩父	38	14	36.8%
地域不明			18	
合 計		3,000	1,360	45.3%

5. 報告書の見方

- (1) 調査結果の数値は原則として回答率（％）で表記している。回答率（％）の基数は、その質問項目に該当する回答者の数であり、n＝と表記している。また、複数回答についても回答者の数としている。
- (2) 集計は、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記してある。このため、各回答率（％）を足し上げても100.0％とならない場合がある。
- (3) 「経年比較」を行っている部分は、令和2年度に実施した調査の結果を用いている。なお、令和2年度の調査は郵送配布、郵送回収法で行っており、今年度の調査では郵送配布、郵送回収・インターネット回収併用法で行っており、調査方法が異なっている。
- (4) グラフや表のタイトルなどは、なるべく調査票そのままの表現を用いているが、スペースなどの関係から一部省略した表現としている箇所がある。
- (5) 回答者数が30未満と小さいものについては、比率が動きやすく分析には適さないため、参考として示すにとどめる。
- (6) **新規調査**とあるものは、今回新たに調査した項目である。
- (7) 文中の表記は概ね以下の表現を用いている。

表記	約4割（4割）	4割強	4割台半ば	5割弱	約5割（5割）
範囲	39.1～40.9% (40.0%)	41.0～42.4%	42.5～47.5%	47.6～49.0%	49.1～50.9% (50.0%)

- (8) この調査の標本誤差は次の式によって得られる。ただし、信頼度を95％とする。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{2 \times \frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

N = 母集団数
 n = 比率算出の基数
 p = 回答比率

次に、本調査の標本誤差の早見表をあげる。

回答比率(p) 基数(n)	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
1,360	± 2.30	± 3.07	± 3.51	± 3.76	± 3.83
1,000	± 2.68	± 3.58	± 4.10	± 4.38	± 4.47
500	± 3.79	± 5.06	± 5.80	± 6.20	± 6.32
250	± 5.37	± 7.16	± 8.20	± 8.76	± 8.94
120	± 7.75	± 10.33	± 11.83	± 12.65	± 12.91
60	± 10.95	± 14.61	± 16.73	± 17.89	± 18.26
30	± 15.49	± 20.66	± 23.66	± 25.30	± 25.82

注) この表の見方

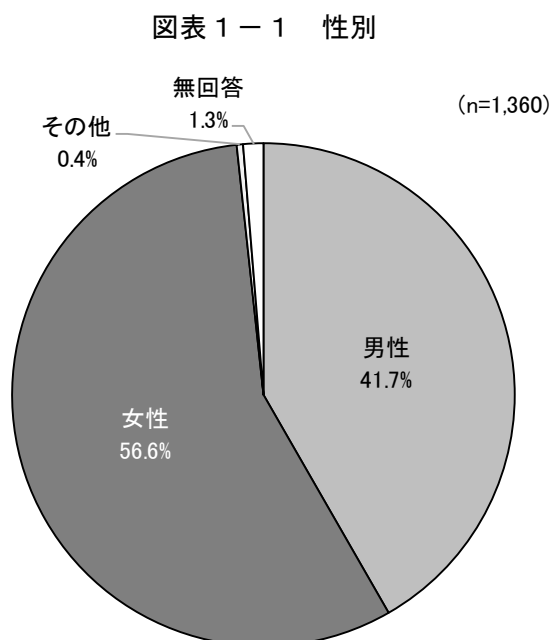
例えば、「ある設問の回答数が1,360で、その設問中の選択肢の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は±3.76%以内（56.24%～63.76%）である」とみることができる。

第2章 調査の結果

1. 回答者のプロフィール

(1) 性別

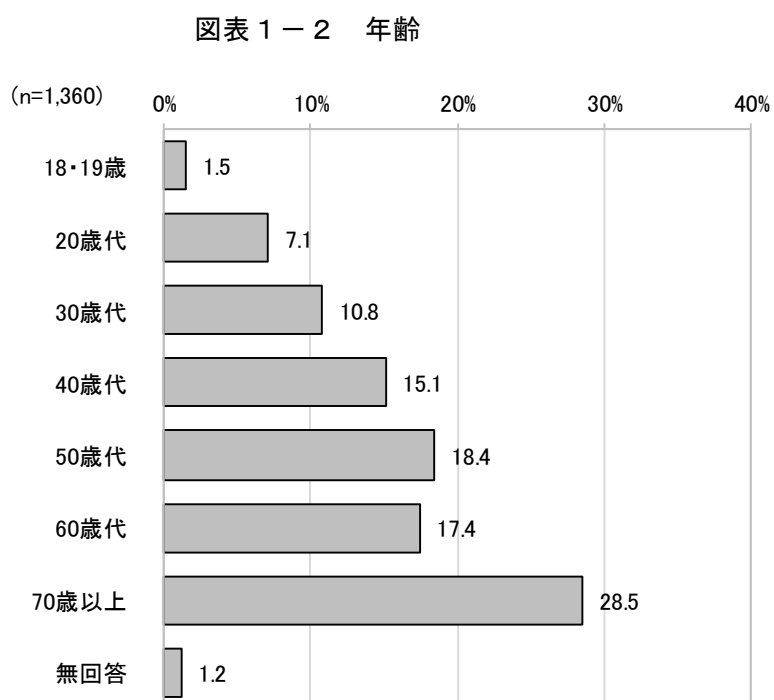
性別は、「男性」が41.7%、「女性」が56.6%となっている。(図表1-1)



(2) 年齢

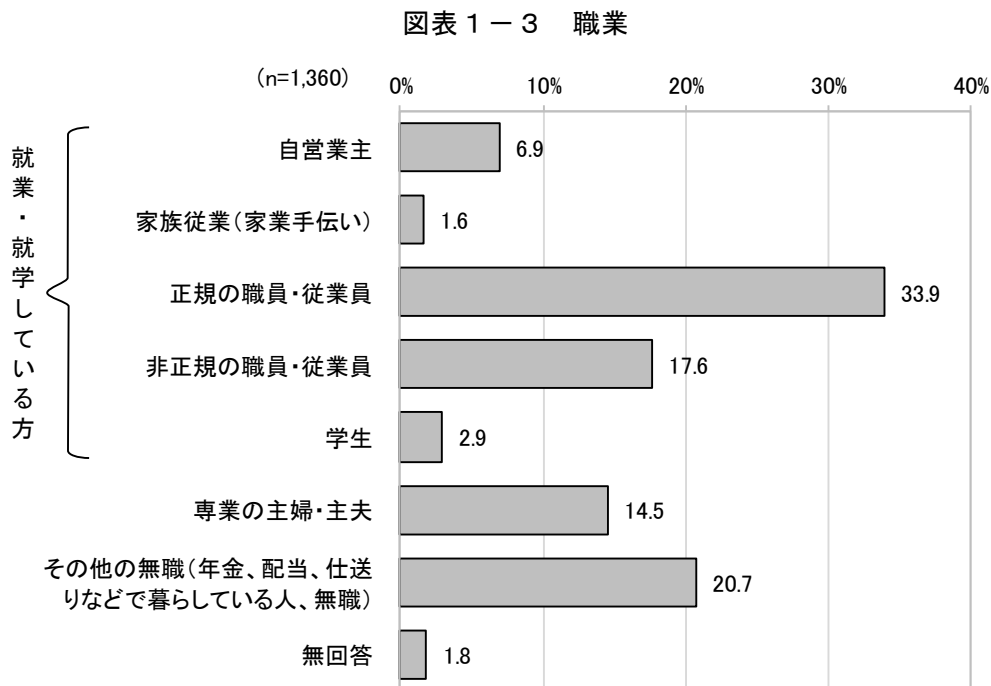
年齢は、「70歳以上」が28.5%で最も高く、次いで「50歳代」が18.4%となっている。

(図表1-2)



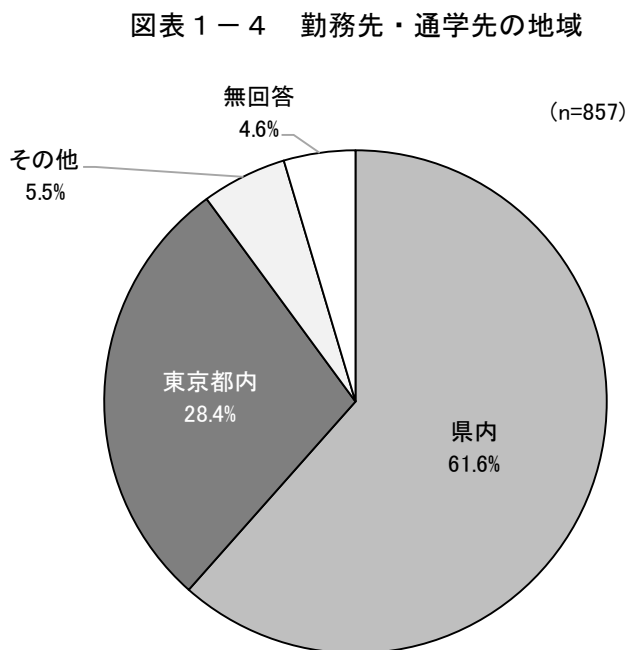
(3) 職業

職業は、「正規の職員・従業員」が33.9%で最も高く、次いで「その他の無職（年金、配当、仕送りなどで暮らしている人、無職）」が20.7%と続いている。また、「就業・就学している方」は62.9%となっている。（図表1-3）



(4) 勤務先・通学先の地域

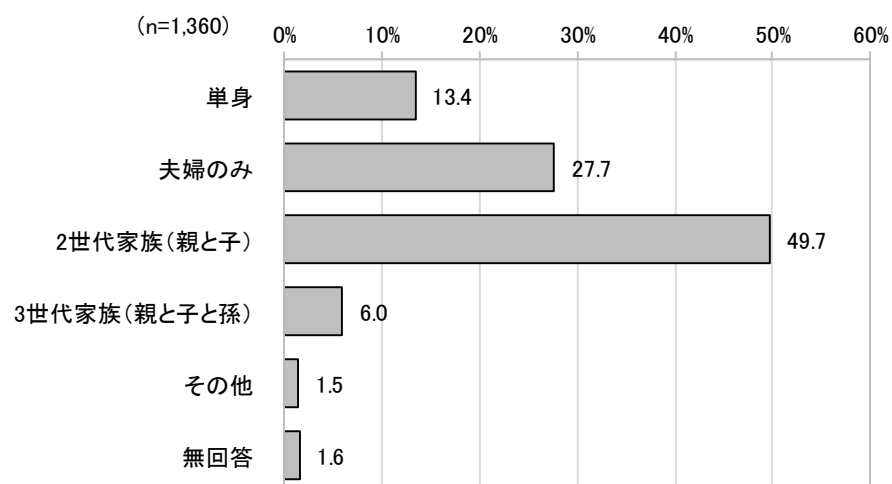
「就業・就学している方（857人）」の勤務先・通学先の地域は、「県内」が61.6%、「東京都内」が28.4%、「その他」が5.5%となっている。（図表1-4）



(5) 家族構成

家族構成は、「2世代家族（親と子）」が49.7%で最も高く、次いで「夫婦のみ」が27.7%と続いている。（図表1-5）

図表1-5 家族構成

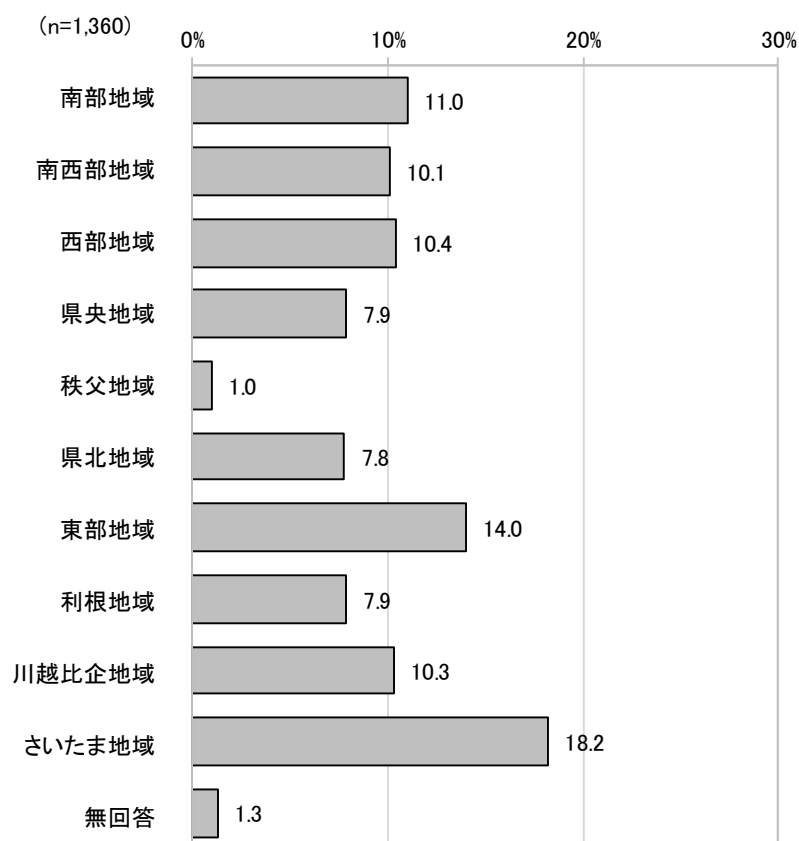


(6) 居住地域

居住地域は、「さいたま地域」が18.2%で最も高く、次いで「東部地域」が14.0%と続いている。

(図表1-6)

図表1-6 居住地域



2. 文化芸術に関する興味・関心について

(1) 興味・関心の有無

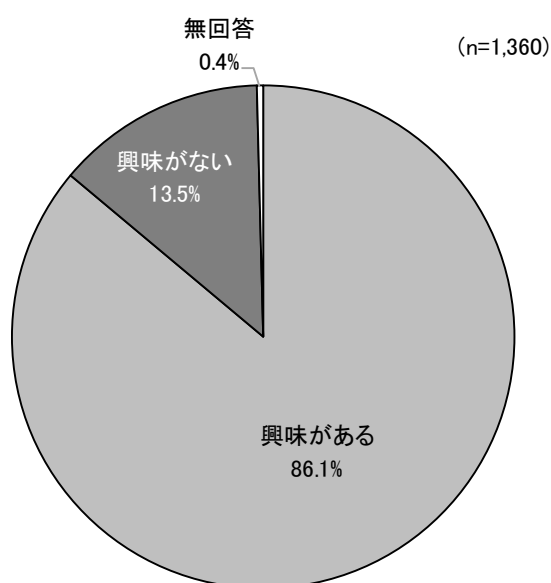
◎「興味がある」が8割台半ば

問1 あなたは、文化芸術に興味・関心がありますか。該当する番号1つに○を付けてください。

全体では、「興味がある」が86.1%となっている。一方「興味がない」は13.5%となっている。

(図表2-1-1)

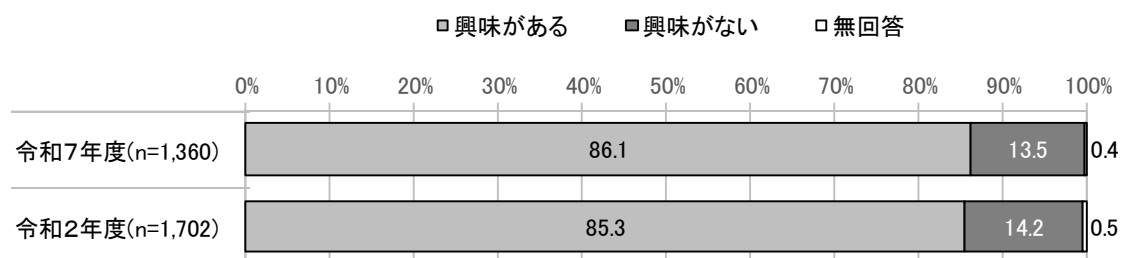
図表2-1-1 興味・関心の有無（全体）



【経年比較】

前回調査から大きな変化はみられない。(図表2-1-2)

図表2-1-2 興味・関心の有無（経年比較）



【性別・年代別・居住地域別】

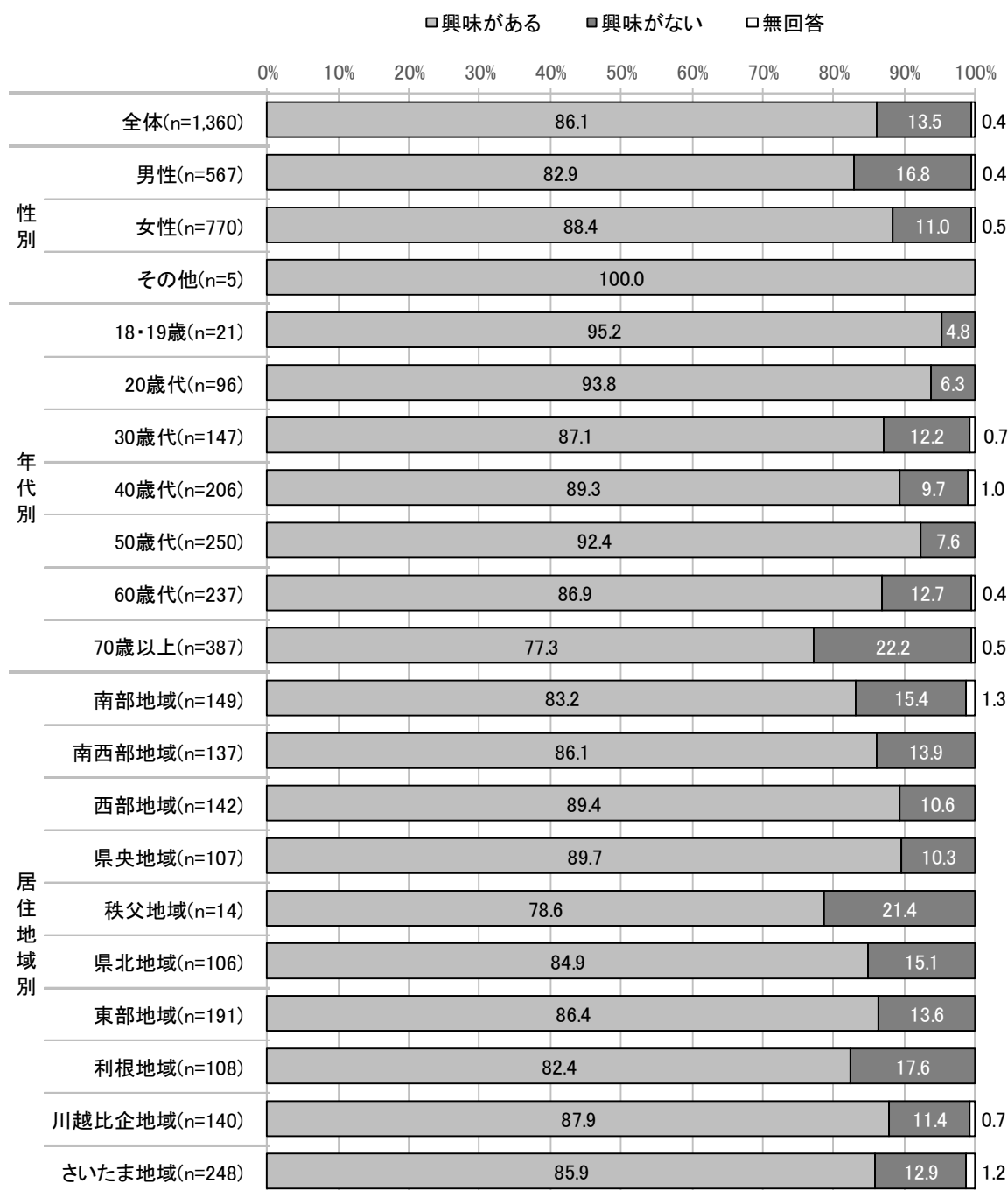
性別では、「興味がある」は女性が男性より5.5ポイント高くなっている。

年代別では、「興味がある」は20歳代（93.8%）が9割台半ば、50歳代（92.4%）が9割強と高くなっている。一方「興味がない」は70歳以上（22.2%）が2割強で高くなっている。

居住地域別では、大きな傾向の違いはみられない。

（図表2-1-3）

図表2-1-3 興味・関心の有無（性別・年代別・居住地域別）



(2) 興味がある分野

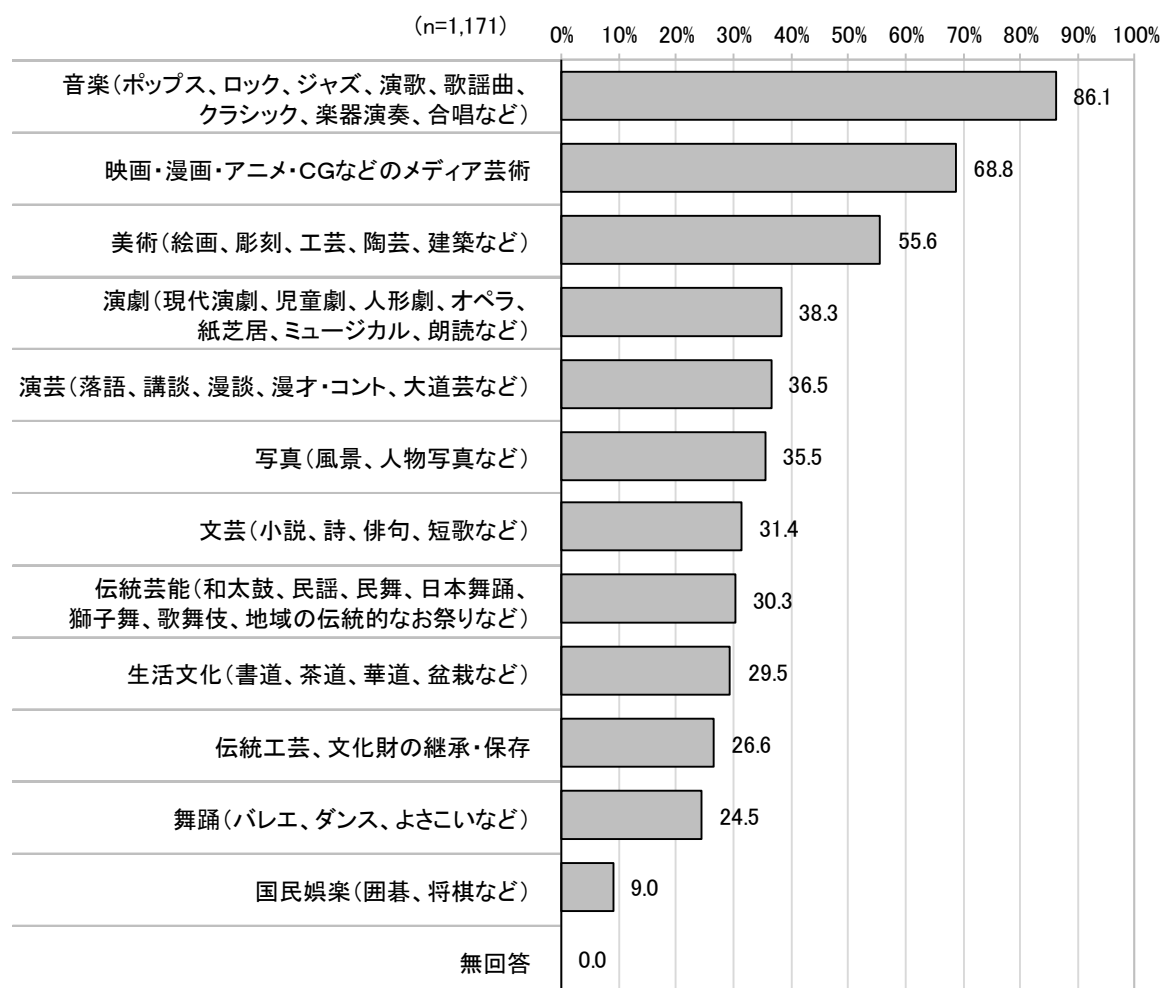
◎「音楽(ポップス、ロック、ジャズ、演歌、歌謡曲、クラシック、楽器演奏、合唱など)」が8割台半ばで最も高い

※問1で「1 興味がある」と回答した方のみ

問2 どのような文化芸術に興味・関心がありますか。興味がある分野すべてに○を付けてください。

文化芸術に興味があるとした方(1,171人)では、「音楽(ポップス、ロック、ジャズ、演歌、歌謡曲、クラシック、楽器演奏、合唱など)」が86.1%で最も高く、次いで「映画・漫画・アニメ・CGなどのメディア芸術」(68.8%)、「美術(絵画、彫刻、工芸、陶芸、建築など)」(55.6%)と続いている。(図表2-2-1)

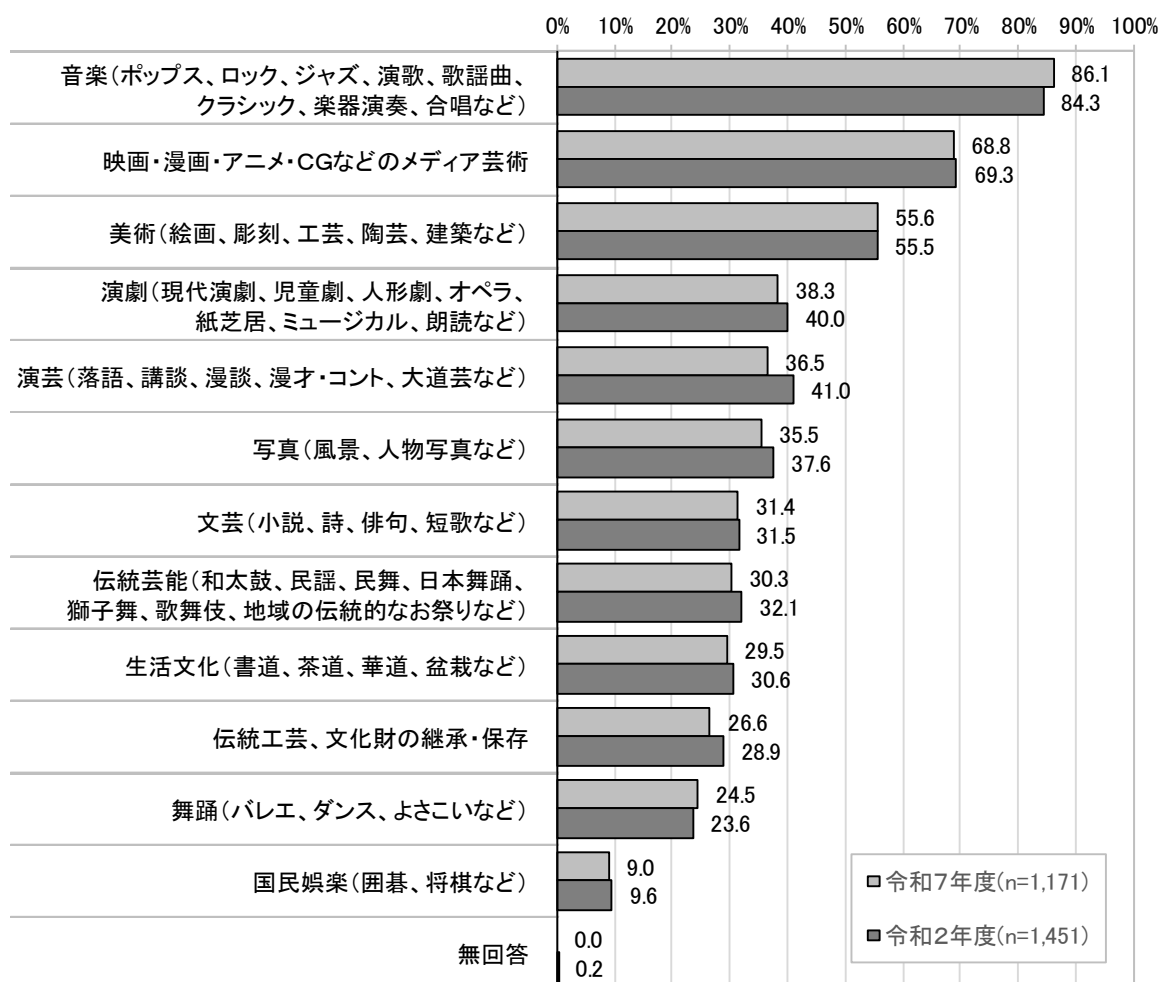
図表2-2-1 興味がある分野(該当者全体)



【経年比較】

前回調査との比較では、「演芸（落語、講談、漫談、漫才・コント、大道芸など）」は前回から4.5ポイント減少している。（図表2-2-2）

図表2-2-2 興味がある分野（経年比較）



3. 日頃の文化芸術に関する活動状況について

(1) この1年間の活動及び鑑賞の経験

◎「活動を行った(計)」は2割台半ば、「鑑賞を行った(計)」は約7割

問3 あなたは、この1年間に文化芸術に関する活動や鑑賞を行いましたか。該当する番号1つに○を付けてください。

※文化芸術に関する活動（文化芸術活動）の例

舞台等への出演、習い事や地域のお祭りに参加する など

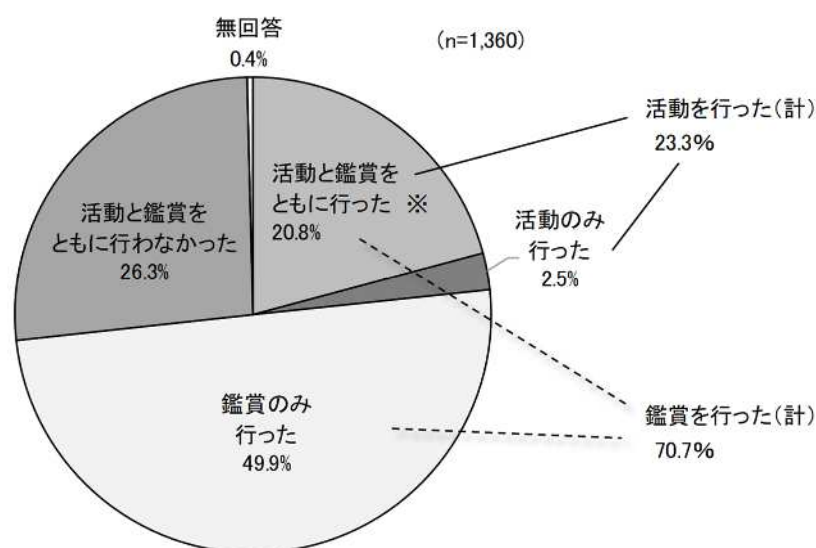
※文化芸術に関する鑑賞の例

美術館で絵を見る、お祭りを見に行く、スマートフォン等を使い鑑賞する など

全体では、「活動と鑑賞をともに行った」(20.8%)と「活動のみ行った」(2.5%)をあわせた「活動を行った(計)」が23.3%となっており、「活動と鑑賞をともに行った」(20.8%)と「鑑賞のみ行った」(49.9%)をあわせた「鑑賞を行った(計)」が70.7%となっている。

一方「活動と鑑賞をともに行わなかった」は26.3%となっている。(図表3-1-1)

図表3-1-1 この1年間の活動及び鑑賞の経験(全体)

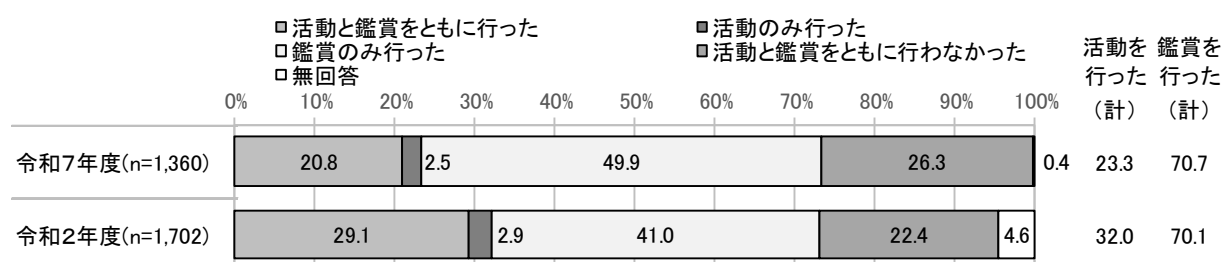


※調査票では「活動と鑑賞をともに行った(活動と鑑賞の内容はそれぞれ違っても構いません)」と記載

【経年比較】

前回調査との比較では、「鑑賞を行った(計)」で大きな変化はみられないが、「活動を行った(計)」は、前回から8.7ポイント減少している。(図表3-1-2)

図表3-1-2 この1年間の活動及び鑑賞の経験(経年比較)



【性別・年代別・居住地域別】

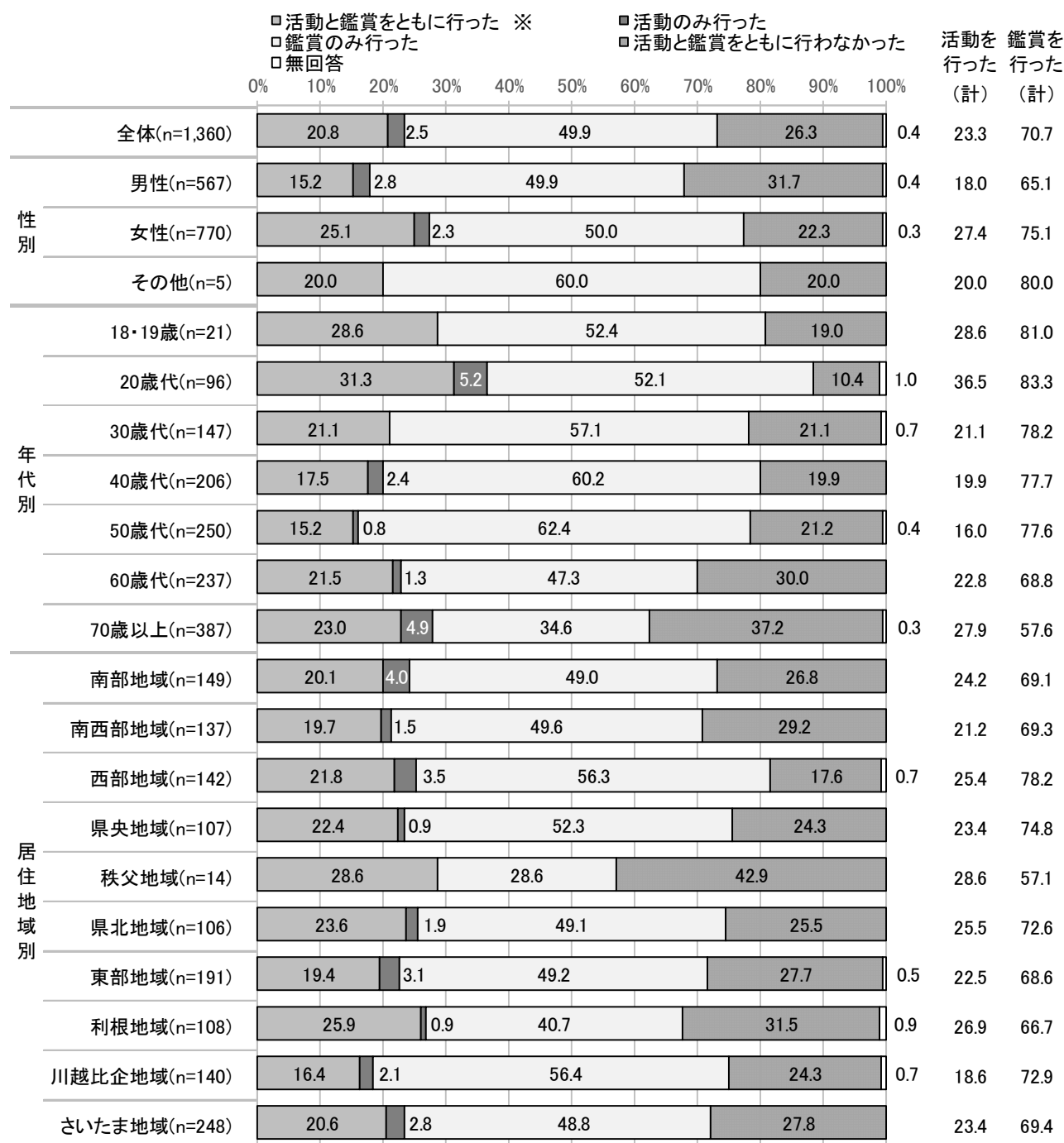
性別では、「活動を行った（計）」は女性が男性より9.4ポイント高く、「鑑賞を行った（計）」でも女性が男性より10.0ポイント高くなっている。

年代別では、「活動を行った（計）」は20歳代（36.5%）が3割台半ばで高く、「鑑賞を行った（計）」でも20歳代（83.3%）が8割台半ばで高くなっている。

居住地域別では、「鑑賞を行った（計）」は「西部地域」（78.2%）が8割弱で高くなっている。

（図表3-1-3）

図表3-1-3 この1年間の活動及び鑑賞の経験（性別・年代別・居住地域別）



※調査票では「活動と鑑賞をともに行った（活動と鑑賞の内容はそれぞれ違っても構いません）」と記載

(2) 活動頻度

◎「年に数回」が4割台半ばで最も高い

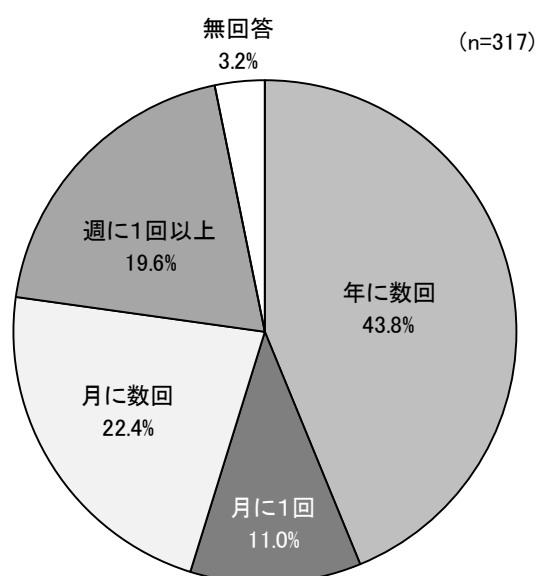
※問3でこの1年間に「1 活動と鑑賞をともに行った」又は「2 活動のみ行った」と回答した方のみ

問4 あなたは、この1年間、どれくらいの頻度で文化芸術活動を行いましたか。また、文化芸術活動を行った場所はどこですか。

問4-1 文化芸術活動を行った頻度について、該当する番号1つに○を付けてください。

この1年間に活動を行った方(317人)では、「年に数回」が43.8%で最も高く、次いで「月に数回」(22.4%)、「週に1回以上」(19.6%)と続いている。(図表3-2-1)

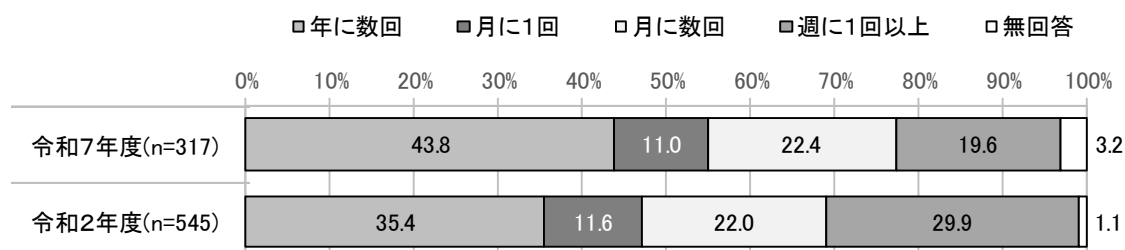
図表3-2-1 活動頻度(該当者全体)



【経年比較】

前回調査との比較では、「年に数回」は、前回から8.4ポイント増加し、「週に1回以上」は前回から10.3ポイント減少している。(図表3-2-2)

図表3-2-2 活動頻度(経年比較)



【性別・年代別・居住地域別】

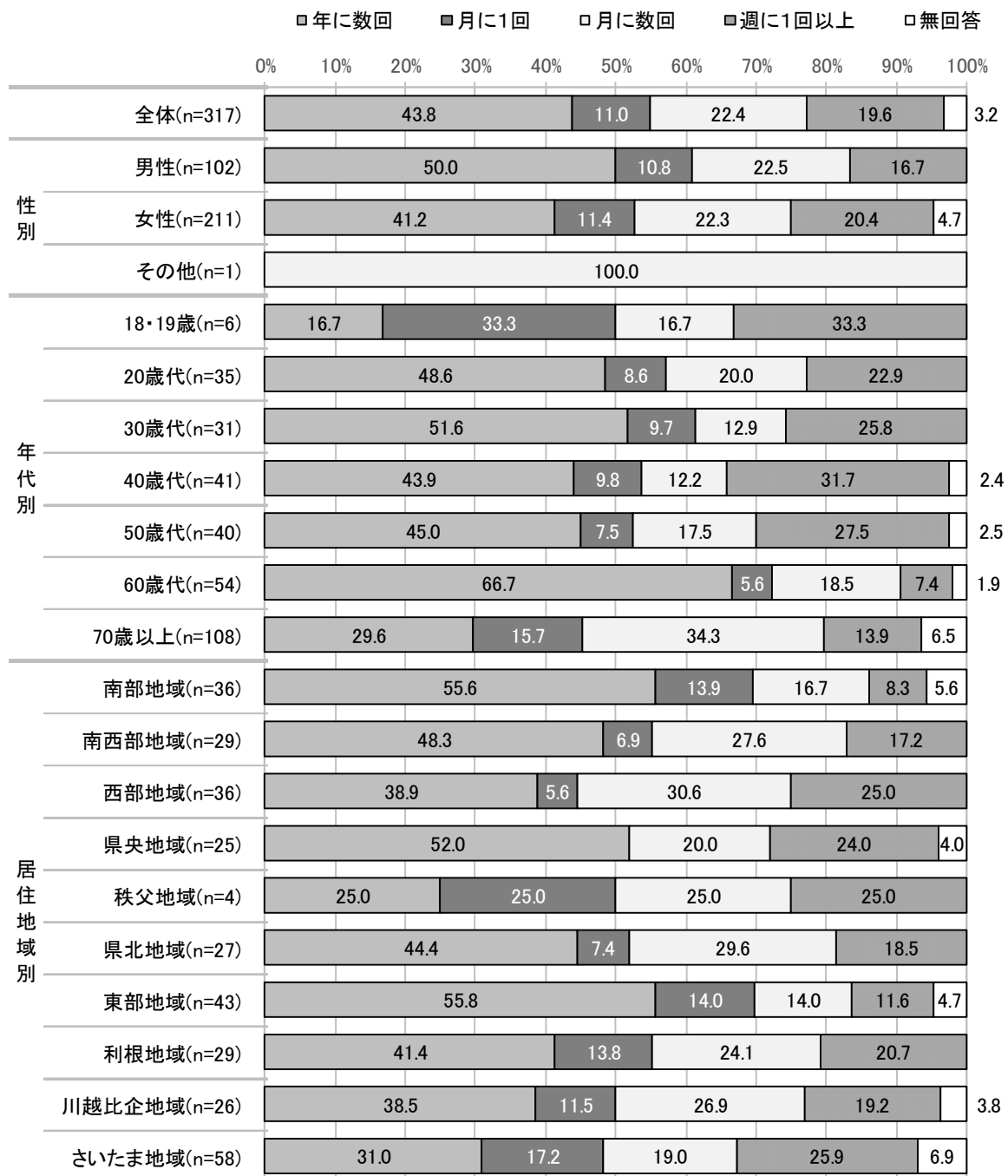
性別では、「年に数回」は男性が女性より8.8ポイント高くなっている。

年代別では、「年に数回」は60歳代（66.7%）が6割台半ばで高く、「週に1回以上」は40歳代（31.7%）が3割強で高くなっている。

居住地域別では、「年に数回」は「東部地域」（55.8%）、「南部地域」（55.6%）が5割台半ばで高くなっている。

（図表3-2-3）

図表3-2-3 活動頻度（性別・年代別・居住地域別）



(3) 活動場所

◎「県内(自宅以外)」が7割強で最も高い

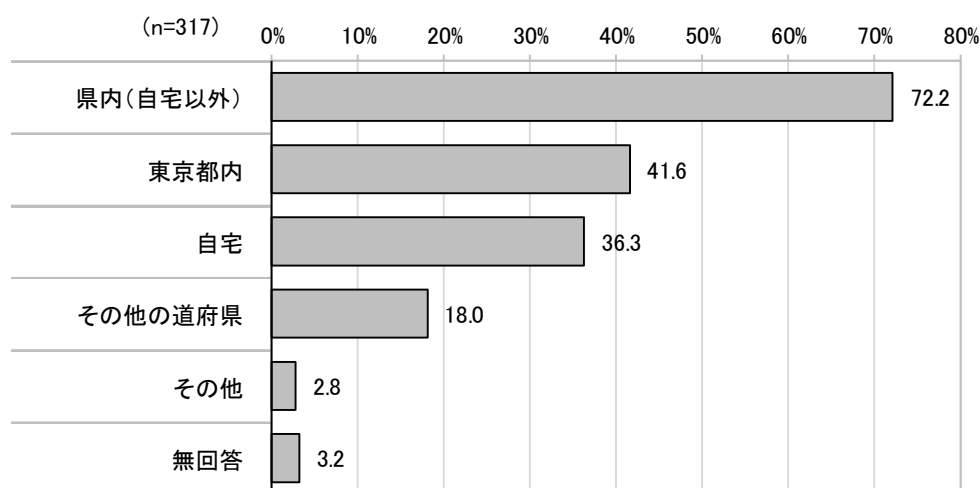
※問3でこの1年間に「1 活動と鑑賞をともに行った」又は「2 活動のみ行った」と回答した方のみ

問4 あなたは、この1年間、どれくらいの頻度で文化芸術活動を行いましたか。また、文化芸術活動を行った場所はどこですか。

問4-2 文化芸術活動を行った場所について、該当する番号すべてに○を付けてください。

この1年間に活動を行った方(317人)では、「県内(自宅以外)」が72.2%で最も高く、次いで「東京都内」(41.6%)、「自宅」(36.3%)と続いている。(図表3-3-1)

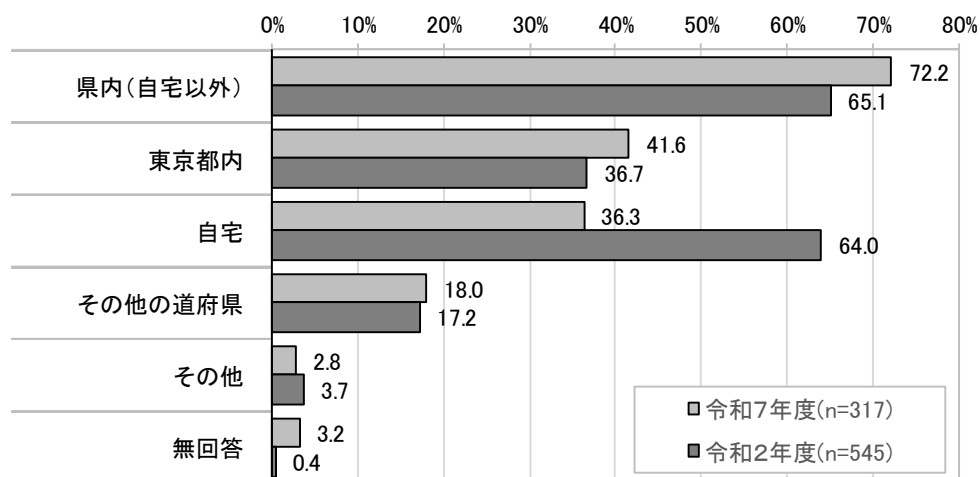
図表3-3-1 活動場所(該当者全体)



【経年比較】

前回調査との比較では、「県内(自宅以外)」は、前回から7.1ポイント増加し、「自宅」は前回から27.7ポイント減少している。(図表3-3-2)

図表3-3-2 活動場所(経年比較)



【性別・年代別・居住地域別】

性別では、「自宅」は男性が女性より7.0ポイント高く、「その他の道府県」は女性が男性より9.3ポイント高くなっている。

年代別では、「東京都内」は30歳代（58.1%）が6割弱、20歳代（57.1%）が5割台半ばで高く、「自宅」は20歳代（54.3%）が5割台半ば、30歳代（51.6%）が5割強で高くなっている。

また、「その他の道府県」は20歳代（40.0）が4割で高くなっている。

居住地域別では、基数は少ないが、「東京都内」は南西部地域（55.2%）が5割台半ば、「その他の道府県」は、「利根地域」（37.9%）が4割弱でそれぞれ高くなっている。

（図表3-3-3）

図表3-3-3 活動場所（性別・年代別・居住地域別）

	n	県内 (自宅以外)	東京都内	自宅	その他の道府県	その他	無回答	
全体	317	72.2	41.6	36.3	18.0	2.8	3.2	
性別	男性	102	69.6	39.2	40.2	24.5	2.0	-
	女性	211	73.5	43.1	33.2	15.2	3.3	4.7
	その他	1	100.0	-	100.0	-	-	-
年代別	18・19歳	6	66.7	83.3	66.7	16.7	-	-
	20歳代	35	57.1	57.1	54.3	40.0	2.9	-
	30歳代	31	74.2	58.1	51.6	25.8	6.5	-
	40歳代	41	65.9	41.5	41.5	12.2	-	2.4
	50歳代	40	72.5	40.0	40.0	25.0	-	2.5
	60歳代	54	74.1	42.6	29.6	22.2	1.9	1.9
	70歳以上	108	77.8	30.6	23.1	6.5	4.6	6.5
居住地域別	南部地域	36	69.4	47.2	50.0	16.7	-	5.6
	南西部地域	29	51.7	55.2	41.4	20.7	10.3	-
	西部地域	36	80.6	47.2	36.1	13.9	2.8	-
	県央地域	25	80.0	36.0	28.0	16.0	4.0	4.0
	秩父地域	4	100.0	-	25.0	25.0	-	-
	県北地域	27	85.2	18.5	22.2	18.5	-	-
	東部地域	43	74.4	41.9	32.6	18.6	2.3	4.7
	利根地域	29	75.9	44.8	51.7	37.9	-	-
	川越比企地域	26	76.9	38.5	30.8	11.5	-	3.8
さいたま地域	58	62.1	44.8	32.8	10.3	5.2	6.9	

(4) 活動内容

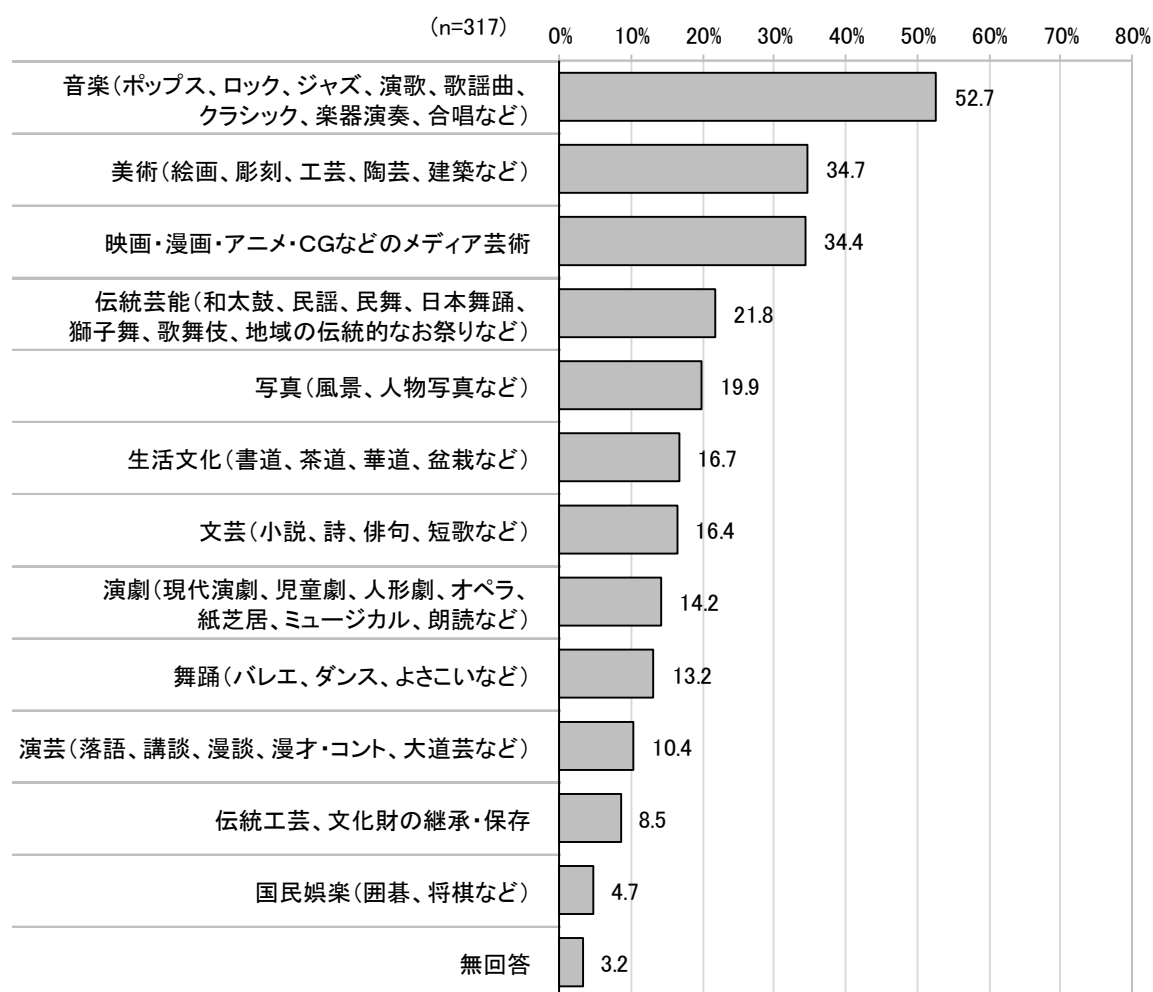
◎「音楽(ポップス、ロック、ジャズ、演歌、歌謡曲、クラシック、楽器演奏、合唱など)」が5割台半ばで最も高い

※問3でこの1年間に「1 活動と鑑賞をともに行った」又は「2 活動のみ行った」と回答した方のみ

問5 この1年間に、あなたが行った文化芸術活動はどのような内容ですか。行った分野すべてに○を付けてください。

この1年間に活動を行った方(317人)では、「音楽(ポップス、ロック、ジャズ、演歌、歌謡曲、クラシック、楽器演奏、合唱など)」が52.7%で最も高く、次いで「美術(絵画、彫刻、工芸、陶芸、建築など)」(34.7%)、「映画・漫画・アニメ・CGなどのメディア芸術」(34.4%)と続いている。(図表3-4-1)

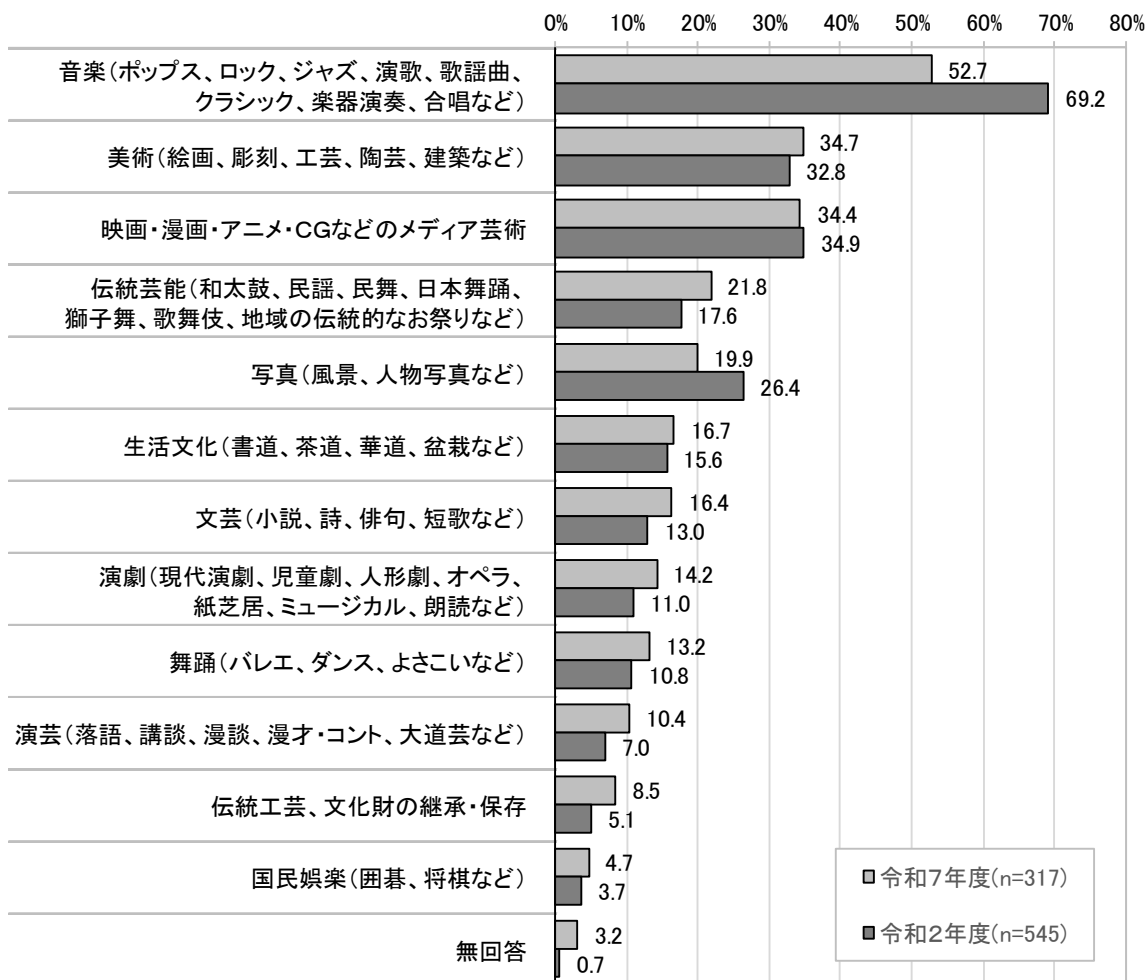
図表3-4-1 活動内容(該当者全体)



【経年比較】

前回調査との比較では、「音楽（ポップス、ロック、ジャズ、演歌、歌謡曲、クラシック、楽器演奏、合唱など）」は16.5ポイント、「写真（風景、人物写真など）」は6.5ポイント、それぞれ前回から減少している。（図表3-4-2）

図表3-4-2 活動内容（経年比較）



【性別・年代別・居住地域別】

性別では、「国民娯楽（囲碁、将棋など）」は10.9ポイント、「写真（風景、人物写真など）」は9.4ポイント、それぞれ男性が女性より高くなっている。

「美術（絵画、彫刻、工芸、陶芸、建築など）」は12.8ポイント、「生活文化（書道、茶道、華道、盆栽など）」は10.1ポイント、それぞれ女性が男性より高くなっている。

年代別では、「音楽（ポップス、ロック、ジャズ、演歌、歌謡曲、クラシック、楽器演奏、合唱など）」は50歳代（70.0%）が7割、「美術（絵画、彫刻、工芸、陶芸、建築など）」は50歳代（50.0%）が5割、「映画・漫画・アニメ・CGなどのメディア芸術」は30歳代（51.6%）が5割強と高くなっている。

居住地域別では、「写真（風景、人物写真など）」は「南部地域」（36.1%）が3割台半ばで高くなっている。

(図表3-4-3)

図表3-4-3 活動内容（性別・年代別・居住地域別）

	n	楽器演奏、合唱など	音楽（ポップス、ロック、ジャズ、演歌、歌謡曲、クラシック、クラシック、ジャズ）	美術（絵画、彫刻、工芸、陶芸、建築など）	映画・漫画・アニメ・CGなどのメディア芸術	伝統芸能（和太鼓、民謡、民舞、日本舞踊、獅子舞、歌舞伎、地域の伝統的なお祭りなど）	写真（風景、人物写真など）	生活文化（書道、茶道、華道、盆栽など）	文芸（小説、詩、俳句、短歌など）	演劇（現代演劇、児童劇、人形劇、オペラ、紙芝居、ミュージカル、朗読など）	舞踊（バレエ、ダンス、よさこいなど）	演芸（落語、講談、漫談、漫才、コント、大道芸など）	伝統工芸、文化財の継承・保存	国民娯楽（囲碁、将棋など）	無回答
全体	317	52.7	34.7	34.4	21.8	19.9	16.7	16.4	14.2	13.2	10.4	8.5	4.7	3.2	
性別	男性	102	52.0	26.5	37.3	26.5	9.8	13.7	10.8	8.8	9.8	11.8	11.8	1.0	
	女性	211	52.6	39.3	32.2	19.9	17.1	19.9	18.0	15.2	15.6	10.9	7.1	0.9	4.3
	その他	1	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
年代別	18・19歳	6	33.3	83.3	66.7	-	33.3	-	16.7	16.7	33.3	16.7	-	-	-
	20歳代	35	48.6	31.4	45.7	22.9	25.7	8.6	20.0	11.4	14.3	14.3	5.7	5.7	-
	30歳代	31	41.9	29.0	51.6	25.8	29.0	16.1	32.3	6.5	12.9	9.7	9.7	3.2	-
	40歳代	41	58.5	24.4	41.5	19.5	17.1	9.8	9.8	19.5	19.5	4.9	9.8	9.8	2.4
	50歳代	40	70.0	50.0	35.0	15.0	22.5	22.5	20.0	12.5	10.0	12.5	10.0	-	2.5
	60歳代	54	53.7	37.0	31.5	25.9	20.4	14.8	13.0	14.8	14.8	11.1	13.0	1.9	3.7
	70歳以上	108	48.1	32.4	21.3	23.1	14.8	22.2	13.9	13.9	10.2	10.2	6.5	5.6	5.6
居住地域別	南部地域	36	41.7	36.1	44.4	25.0	36.1	16.7	11.1	11.1	22.2	11.1	2.8	-	5.6
	南西部地域	29	55.2	27.6	41.4	17.2	6.9	6.9	27.6	20.7	13.8	10.3	3.4	-	-
	西部地域	36	63.9	38.9	36.1	22.2	11.1	22.2	11.1	16.7	11.1	13.9	5.6	2.8	-
	県央地域	25	60.0	28.0	36.0	40.0	24.0	16.0	12.0	8.0	16.0	12.0	4.0	8.0	-
	秩父地域	4	75.0	50.0	-	50.0	-	50.0	25.0	25.0	-	-	75.0	-	-
	県北地域	27	44.4	33.3	29.6	29.6	11.1	25.9	3.7	11.1	14.8	22.2	7.4	3.7	3.7
	東部地域	43	41.9	37.2	30.2	18.6	14.0	11.6	14.0	7.0	4.7	9.3	14.0	2.3	4.7
	利根地域	29	62.1	37.9	34.5	24.1	17.2	13.8	20.7	6.9	10.3	13.8	17.2	17.2	-
	川越比企地域	26	50.0	30.8	34.6	15.4	19.2	11.5	19.2	19.2	15.4	3.8	3.8	3.8	3.8
さいたま地域	58	53.4	36.2	27.6	12.1	29.3	19.0	22.4	17.2	13.8	3.4	6.9	3.4	6.9	

(5) 活動を始めたきっかけ

◎「個人的に興味湧いたため」が7割で最も高い

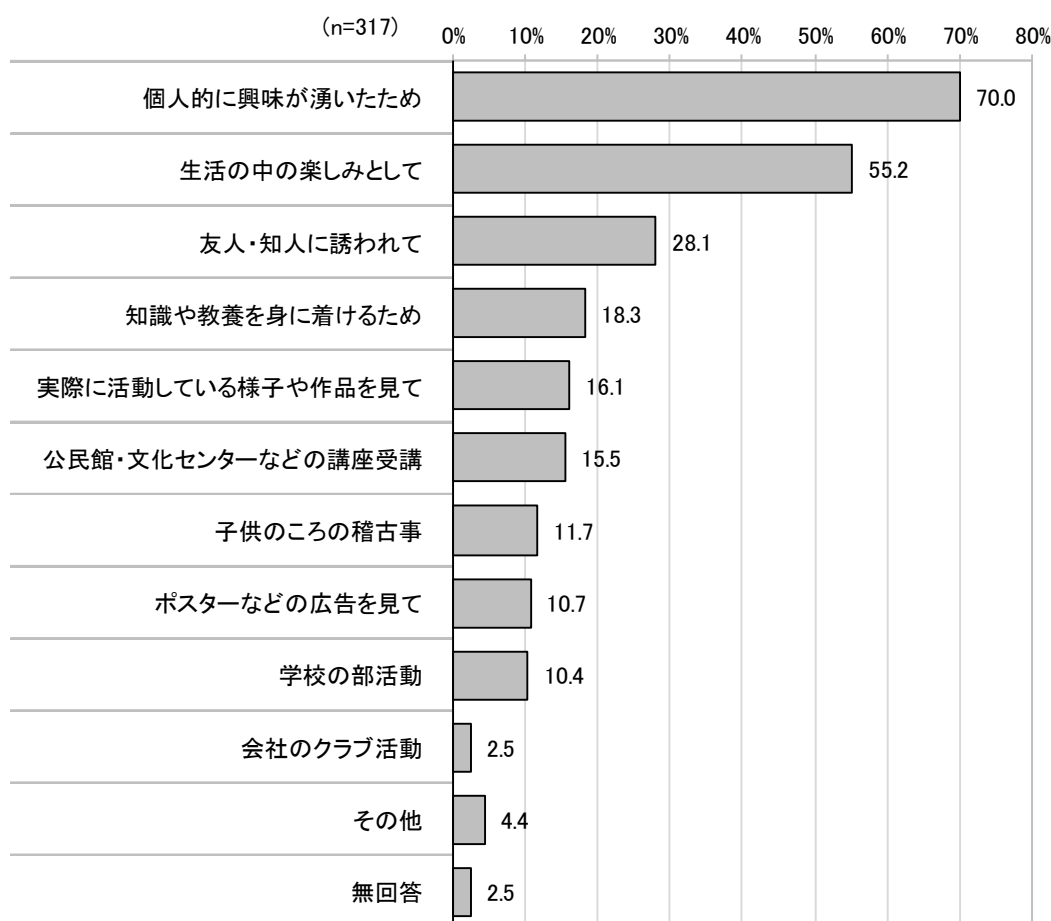
※問3でこの1年間に「1 活動と鑑賞をともに行った」又は「2 活動のみ行った」と回答した方のみ

問6 あなたが文化芸術活動を始めたきっかけはどのような理由からですか。該当する番号すべてに○を付けてください。

この1年間に活動を行った方(317人)では、「個人的に興味湧いたため」が70.0%で最も高く、次いで「生活の中の楽しみとして」(55.2%)、「友人・知人に誘われて」(28.1%)と続いている。

(図表3-5-1)

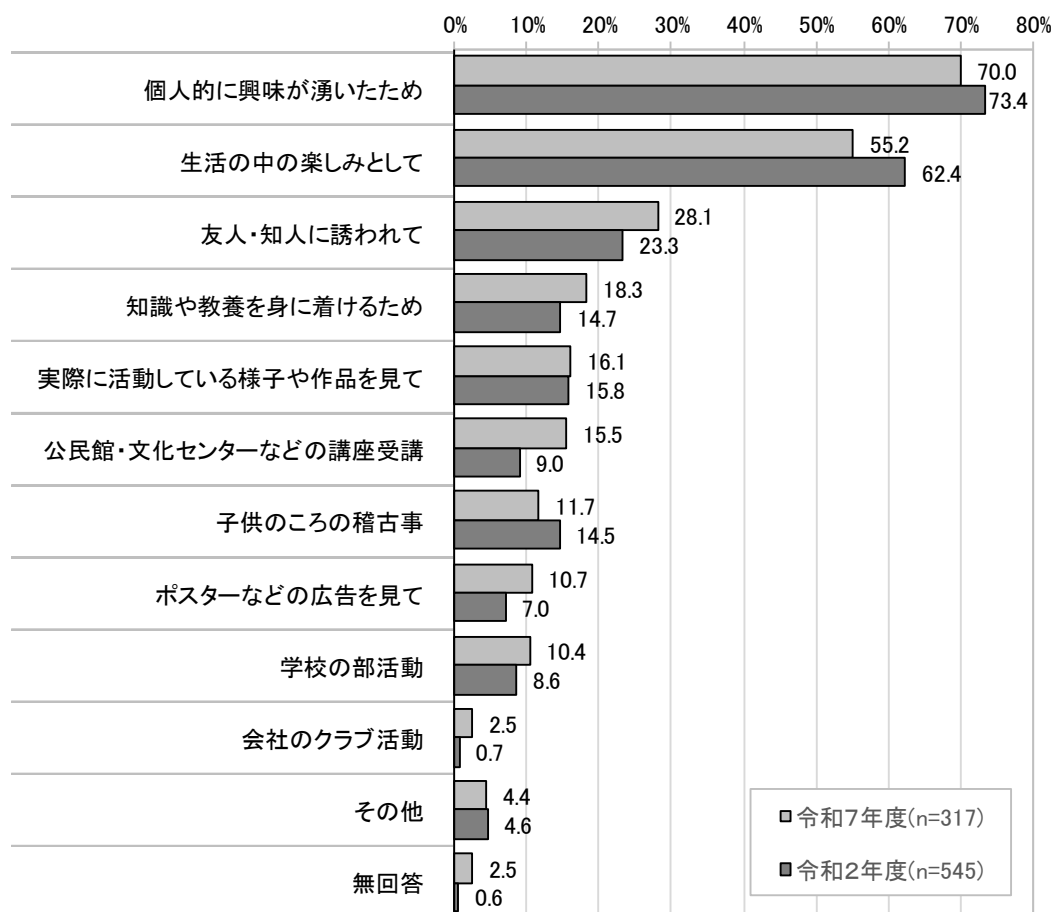
図表3-5-1 活動を始めたきっかけ(該当者全体)



【経年比較】

前回調査との比較では、上位3項目の順位に変化はみられないが、「公民館・文化センターなどの講座受講」は前回から6.5ポイント増加し、「生活の中の楽しみとして」は前回から7.2ポイント減少している。(図表3-5-2)

図表3-5-2 活動を始めたきっかけ(経年比較)



【性別・年代別・居住地域別】

性別では、「ポスターなどの広告を見て」は男性が女性より6.2ポイント高くなっている。

「子供のころの稽古事」は9.8ポイント、「公民館・文化センターなどの講座受講」は5.7ポイント、それぞれ女性が男性より高くなっている。

年代別では、「公民館・文化センターなどの講座受講」は70歳以上（27.8%）が3割弱で他の年代に比べ高くなっている。

居住地域別では、大きな傾向の違いはみられない。

(図表3-5-3)

図表3-5-3 活動を始めたきっかけ（性別・年代別・居住地域別）

		n	個人的に興味が湧いたため	生活の中の楽しみとして	友人・知人に誘われて	知識や教養を身に着けるため	見て実際に活動している様子や作品を	公民館・文化センターなどの講座受講	子供のころの稽古事	ポスターなどの広告を見て	学校の部活動	会社のクラブ活動	その他	無回答
全体		317	70.0	55.2	28.1	18.3	16.1	15.5	11.7	10.7	10.4	2.5	4.4	2.5
性別	男性	102	73.5	55.9	25.5	18.6	19.6	11.8	4.9	14.7	9.8	2.9	3.9	1.0
	女性	211	68.7	55.5	29.9	18.5	14.7	17.5	14.7	8.5	10.9	2.4	4.7	2.8
	その他	1	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-
年代別	18・19歳	6	100.0	50.0	33.3	33.3	-	-	-	16.7	50.0	-	-	-
	20歳代	35	68.6	45.7	22.9	20.0	8.6	-	14.3	11.4	25.7	2.9	2.9	-
	30歳代	31	74.2	58.1	22.6	25.8	25.8	6.5	12.9	19.4	19.4	3.2	-	-
	40歳代	41	73.2	51.2	31.7	14.6	22.0	7.3	19.5	14.6	4.9	2.4	9.8	2.4
	50歳代	40	77.5	60.0	17.5	17.5	10.0	10.0	17.5	12.5	5.0	2.5	5.0	2.5
	60歳代	54	74.1	53.7	33.3	14.8	14.8	18.5	9.3	5.6	7.4	1.9	5.6	3.7
	70歳以上	108	62.0	59.3	31.5	18.5	17.6	27.8	7.4	7.4	6.5	2.8	3.7	2.8
居住地域別	南部地域	36	77.8	55.6	27.8	16.7	13.9	13.9	11.1	5.6	13.9	2.8	-	2.8
	南西部地域	29	75.9	51.7	20.7	13.8	20.7	6.9	13.8	3.4	13.8	-	3.4	-
	西部地域	36	69.4	61.1	36.1	16.7	25.0	16.7	11.1	8.3	8.3	2.8	2.8	-
	県央地域	25	72.0	52.0	24.0	24.0	12.0	24.0	28.0	12.0	16.0	4.0	12.0	-
	秩父地域	4	75.0	75.0	50.0	50.0	-	25.0	25.0	25.0	-	-	-	-
	県北地域	27	77.8	48.1	25.9	14.8	14.8	25.9	11.1	18.5	11.1	7.4	-	3.7
	東部地域	43	60.5	51.2	23.3	25.6	23.3	7.0	9.3	11.6	9.3	-	7.0	4.7
	利根地域	29	72.4	72.4	20.7	13.8	20.7	17.2	6.9	13.8	20.7	-	6.9	-
	川越比企地域	26	76.9	57.7	30.8	23.1	3.8	11.5	11.5	15.4	-	3.8	3.8	3.8
さいたま地域	58	60.3	51.7	34.5	13.8	8.6	17.2	6.9	6.9	6.9	3.4	5.2	3.4	

(6) 活動を行う上で困っていること

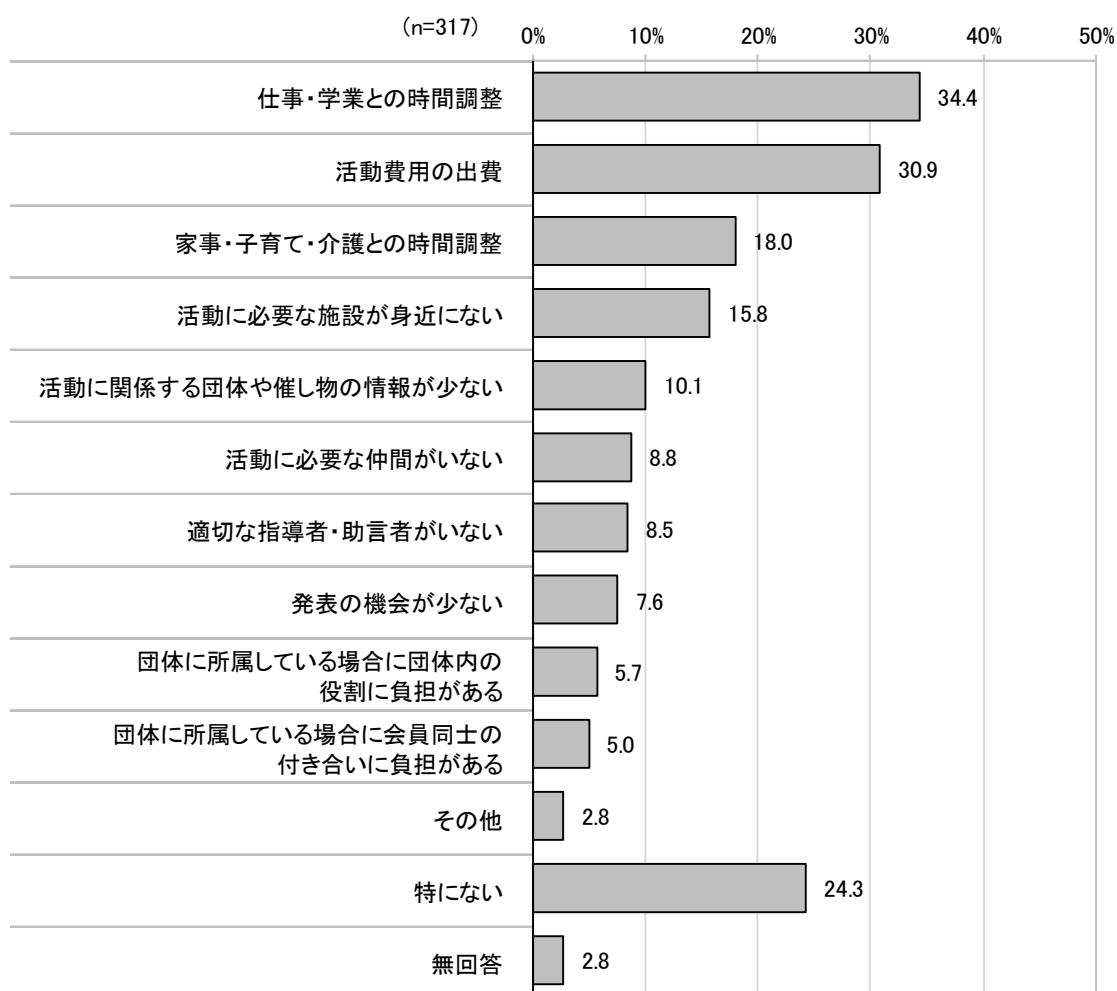
◎「仕事・学業との時間調整」が3割台半ばで最も高い

※問3でこの1年間に「1 活動と鑑賞をともに行った」又は「2 活動のみ行った」と回答した方のみ

問7 あなたが文化芸術活動を行う上で困っていることは、どのようなことですか。該当する番号すべてに○を付けてください。

この1年間に活動を行った方（317人）では、「仕事・学業との時間調整」が34.4%で最も高く、次いで「活動費用の出費」（30.9%）、「家事・子育て・介護との時間調整」（18.0%）と続いている。また、「特にない」は24.3%となっている。（図表3-6-1）

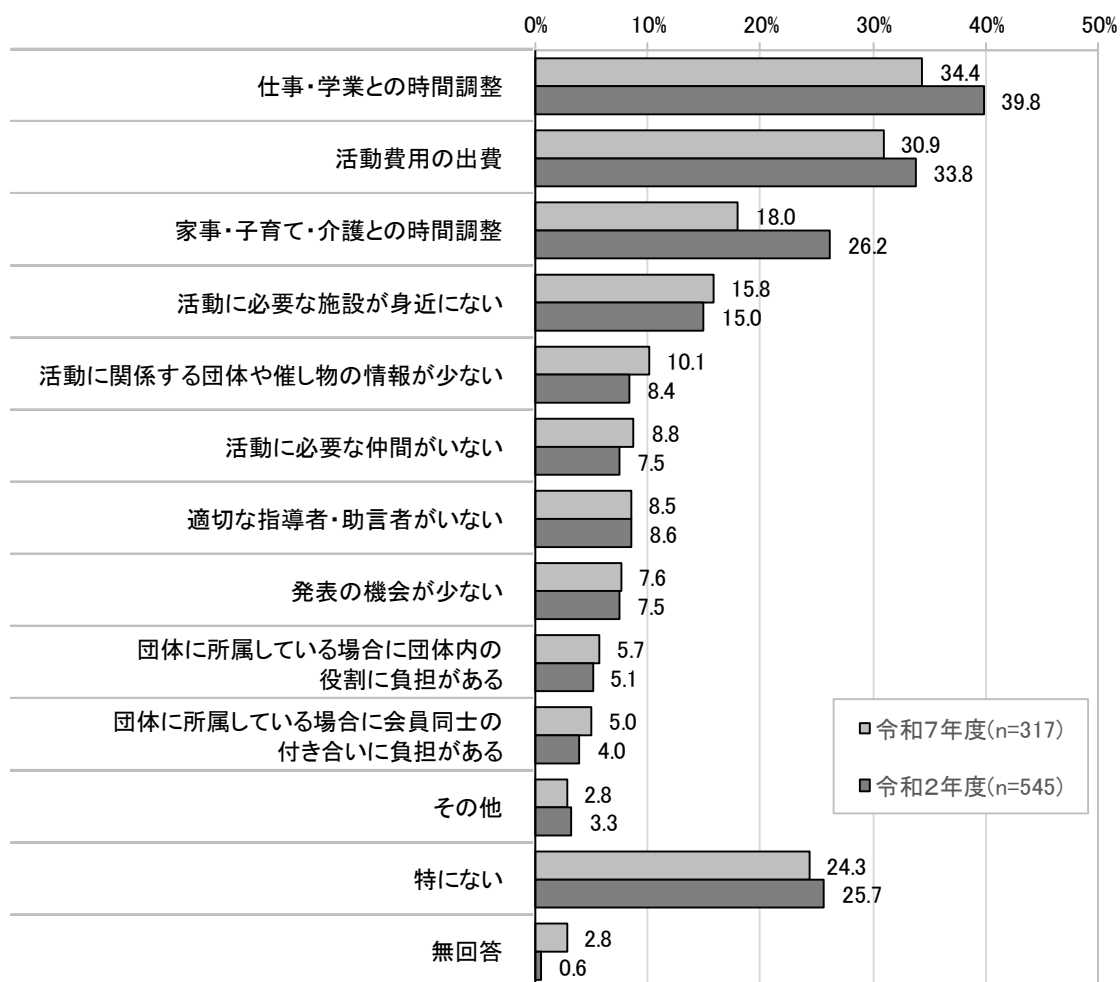
図表3-6-1 活動を行う上で困っていること（該当者全体）



【経年比較】

前回調査との比較では、「家事・子育て・介護との時間調整」は前回から8.2ポイント減少し、「仕事・学業との時間調整」は前回から5.4ポイント減少している。(図表3-6-2)

図表3-6-2 活動を行う上で困っていること（経年比較）



【性別・年代別・居住地域別】

性別では、「仕事・学業との時間調整」は男性が女性より8.9ポイント高く、「家事・子育て・介護との時間調整」は女性が男性より13.5ポイント高くなっている。

年代別では、「仕事・学業との時間調整」は30歳代（67.7%）が7割弱、20歳代（62.9%）、50歳代（62.5%）が6割台半ばで高く、「家事・子育て・介護との時間調整」は50歳代（32.5%）が3割台半ば、40歳代（31.7%）が3割強で高くなっている。

また、「特にない」は70歳以上（43.5%）が4割台半ばで他の年代に比べ高くなっている。

居住地域別では、大きな傾向の違いはみられない。

（図表3-6-3）

図表3-6-3 活動を行う上で困っていること（性別・年代別・居住地域別）

	n	仕事・学業との時間調整	活動費用の出費	家事・子育て・介護との時間調整	活動に必要な施設が身近にない	活動に関係する団体や催し物の情報が少ない	活動に必要な仲間がいない	適切な指導者・助言者がいない	発表の機会が少ない	団体の役割に負担がある	団体に所属している場合に団体内の付き合いに負担がある	その他	特にない	無回答	
全体	317	34.4	30.9	18.0	15.8	10.1	8.8	8.5	7.6	5.7	5.0	2.8	24.3	2.8	
性別	男性	102	40.2	32.4	8.8	16.7	12.7	14.7	12.7	5.9	4.9	3.9	3.9	21.6	2.0
	女性	211	31.3	30.3	22.3	15.6	9.0	6.2	6.6	8.5	6.2	5.7	2.4	25.6	2.8
	その他	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年代別	18・19歳	6	33.3	66.7	-	16.7	-	33.3	-	-	16.7	16.7	-	16.7	-
	20歳代	35	62.9	42.9	5.7	11.4	2.9	14.3	8.6	20.0	5.7	8.6	-	8.6	-
	30歳代	31	67.7	38.7	29.0	12.9	19.4	12.9	3.2	6.5	-	6.5	-	3.2	-
	40歳代	41	43.9	36.6	31.7	26.8	12.2	9.8	17.1	17.1	4.9	2.4	7.3	14.6	2.4
	50歳代	40	62.5	35.0	32.5	20.0	15.0	-	10.0	5.0	2.5	2.5	-	15.0	2.5
	60歳代	54	29.6	33.3	16.7	14.8	7.4	3.7	7.4	3.7	1.9	7.4	-	24.1	3.7
	70歳以上	108	3.7	17.6	9.3	13.0	9.3	10.2	7.4	3.7	10.2	3.7	5.6	43.5	3.7
居住地域別	南部地域	36	36.1	33.3	16.7	13.9	2.8	11.1	11.1	11.1	5.6	8.3	-	22.2	2.8
	南西部地域	29	48.3	34.5	6.9	17.2	3.4	3.4	3.4	6.9	3.4	3.4	3.4	20.7	3.4
	西部地域	36	30.6	22.2	19.4	25.0	16.7	11.1	2.8	2.8	2.8	-	-	30.6	-
	県央地域	25	32.0	24.0	28.0	8.0	8.0	4.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	24.0	-
	秩父地域	4	25.0	50.0	-	-	-	-	25.0	-	25.0	-	-	50.0	-
	県北地域	27	40.7	33.3	25.9	22.2	14.8	7.4	18.5	7.4	3.7	-	3.7	18.5	3.7
	東部地域	43	30.2	30.2	16.3	18.6	11.6	9.3	7.0	4.7	4.7	4.7	4.7	20.9	2.3
	利根地域	29	27.6	34.5	13.8	17.2	13.8	17.2	6.9	10.3	13.8	10.3	3.4	17.2	-
	川越比企地域	26	26.9	30.8	15.4	7.7	7.7	11.5	7.7	7.7	-	3.8	3.8	34.6	3.8
	さいたま地域	58	34.5	29.3	20.7	13.8	12.1	6.9	10.3	10.3	6.9	6.9	1.7	27.6	5.2

(7) 活動から得たもの

◎「心の豊かさ、やすらぎ」が8割強で最も高い

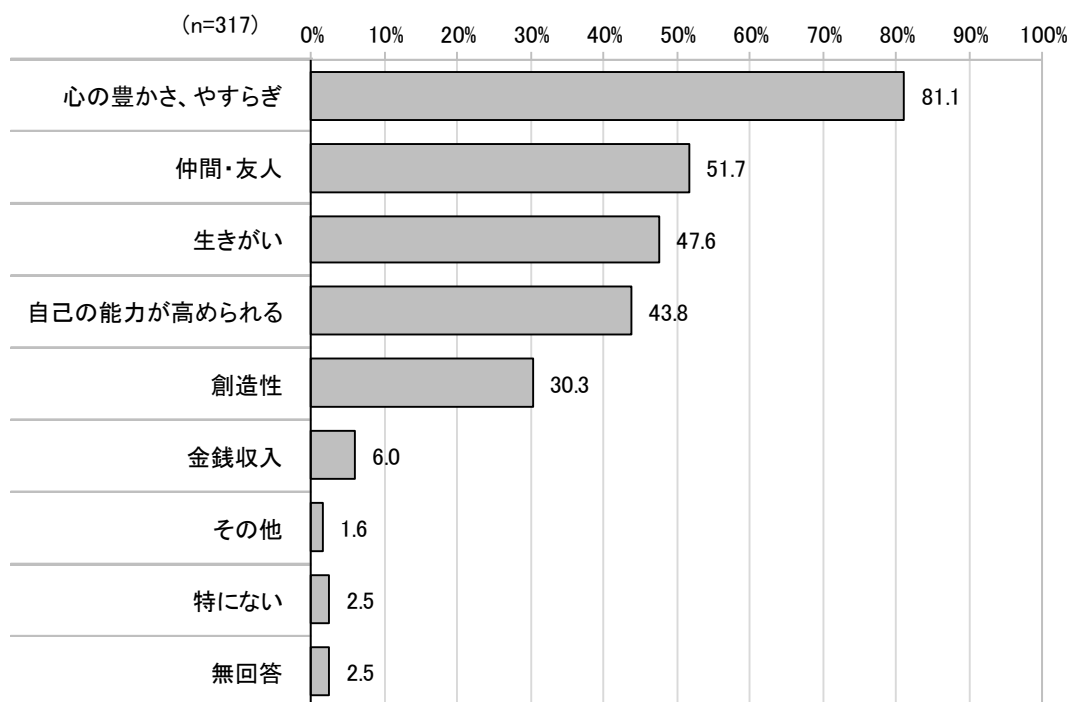
※問3でこの1年間に「1 活動と鑑賞をともに行った」又は「2 活動のみ行った」と回答した方のみ

問8 あなたが、文化芸術活動を行うことで得たものはなんですか。該当する番号すべてに○を付けてください。

この1年間に活動を行った方(317人)では、「心の豊かさ、やすらぎ」が81.1%で最も高く、次いで「仲間・友人」(51.7%)、「生きがい」(47.6%)と続いている。

また、「特にない」は2.5%となっている。(図表3-7-1)

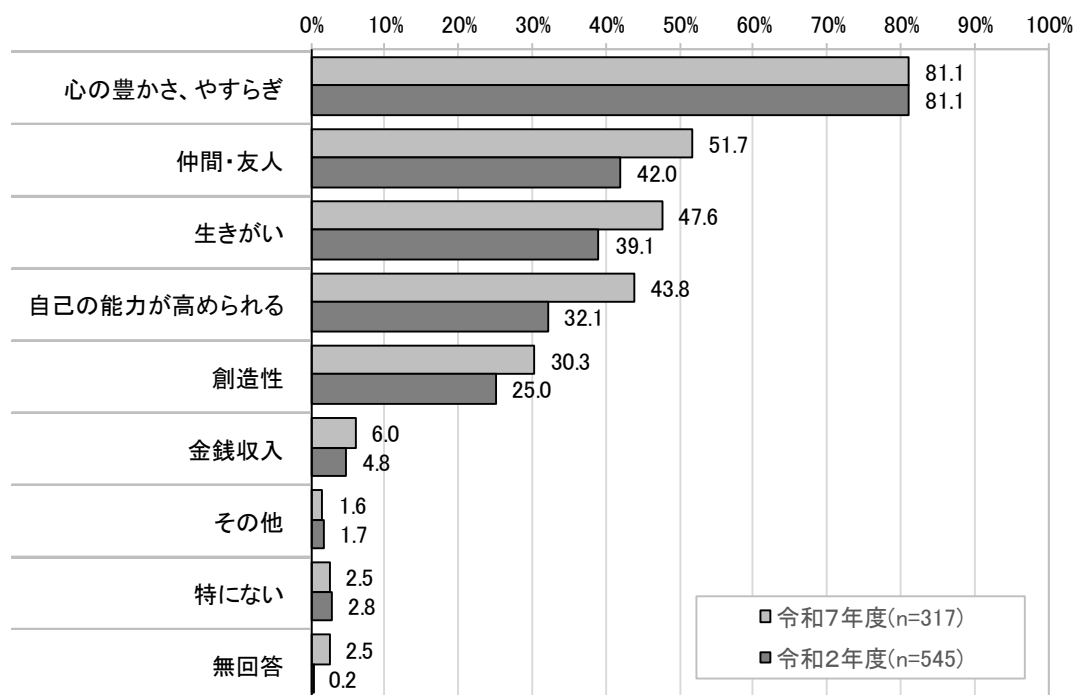
図表3-7-1 活動から得たもの(該当者全体)



【経年比較】

前回調査との比較では、1位の「心の豊かさ、やすらぎ」に変化はみられないが、「自己の能力が高められる」は11.7ポイント、「仲間・友人」は9.7ポイント、「生きがい」は8.5ポイント、「創造性」は5.3ポイント、それぞれ増加している。(図表3-7-2)

図表3-7-2 活動から得たもの(経年比較)



【性別・年代別・居住地域別】

性別では、「創造性」は男性が女性より5.4ポイント高く、「仲間・友人」は女性が男性より5.0ポイント高くなっている。

年代別では、「仲間・友人」は70歳以上（63.9%）が6割台半ばで高く、「創造性」は30歳代（54.8%）が5割台半ば、20歳代（51.4%）が5割強で高くなっている。

居住地域別では、「心の豊かさ、やすらぎ」は西部地域（91.7%）で9割強となっている。

（図表3-7-3）

図表3-7-3 活動から得たもの（性別・年代別・居住地域別）

		n	心の豊かさ、やすらぎ	仲間・友人	生きがい	自己の能力が高められる	創造性	金銭収入	その他	特にない	無回答
全体		317	81.1	51.7	47.6	43.8	30.3	6.0	1.6	2.5	2.5
性別	男性	102	81.4	49.0	49.0	44.1	34.3	7.8	1.0	1.0	1.0
	女性	211	81.0	54.0	46.9	44.1	28.9	5.2	1.9	3.3	2.8
	その他	1	100.0	-	-	100.0	-	-	-	-	-
年代別	18・19歳	6	100.0	66.7	33.3	16.7	50.0	-	-	-	-
	20歳代	35	82.9	57.1	51.4	48.6	51.4	11.4	-	-	-
	30歳代	31	90.3	32.3	48.4	51.6	54.8	12.9	6.5	3.2	-
	40歳代	41	80.5	46.3	48.8	48.8	39.0	14.6	2.4	7.3	2.4
	50歳代	40	77.5	37.5	55.0	35.0	30.0	5.0	-	5.0	2.5
	60歳代	54	83.3	50.0	42.6	46.3	22.2	3.7	-	1.9	3.7
	70歳以上	108	77.8	63.9	46.3	42.6	16.7	0.9	1.9	0.9	2.8
居住地域別	南部地域	36	80.6	30.6	33.3	38.9	38.9	5.6	-	2.8	-
	南西部地域	29	86.2	51.7	48.3	44.8	41.4	3.4	-	-	3.4
	西部地域	36	91.7	58.3	50.0	47.2	33.3	5.6	2.8	-	-
	県央地域	25	84.0	64.0	48.0	56.0	32.0	12.0	-	-	-
	秩父地域	4	75.0	50.0	75.0	50.0	25.0	-	-	-	-
	県北地域	27	81.5	48.1	44.4	40.7	18.5	3.7	-	-	3.7
	東部地域	43	69.8	46.5	46.5	37.2	30.2	7.0	2.3	9.3	2.3
	利根地域	29	79.3	58.6	62.1	41.4	20.7	6.9	3.4	3.4	-
	川越比企地域	26	84.6	53.8	57.7	50.0	42.3	11.5	-	-	3.8
さいたま地域	58	79.3	56.9	41.4	44.8	20.7	3.4	3.4	3.4	5.2	

(8) 活動による金銭収入（プロの芸術家）の有無

◎「はい(プロの芸術家)」は6.6%

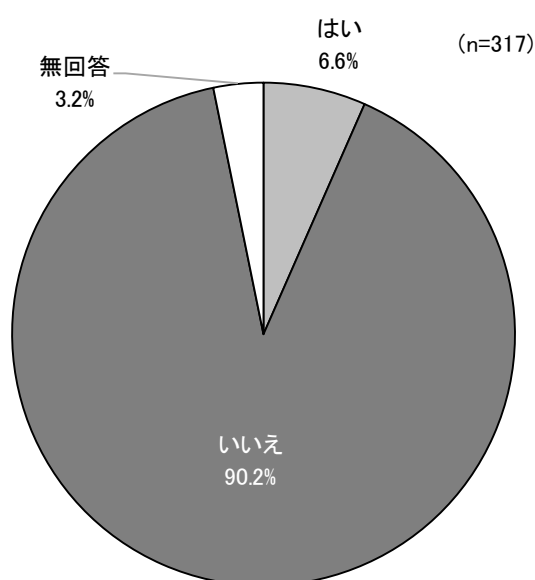
※問3でこの1年間に「1 活動と鑑賞をともに行った」又は「2 活動のみ行った」と回答した方のみ

問9 あなたはプロの芸術家（文化芸術活動を行うことで金銭収入を得ている）ですか。該当する番号1つに○を付けてください。

この1年間に活動を行った方（317人）では、「はい」が6.6%、「いいえ」が90.2%となっている。

（図表3-8-1）

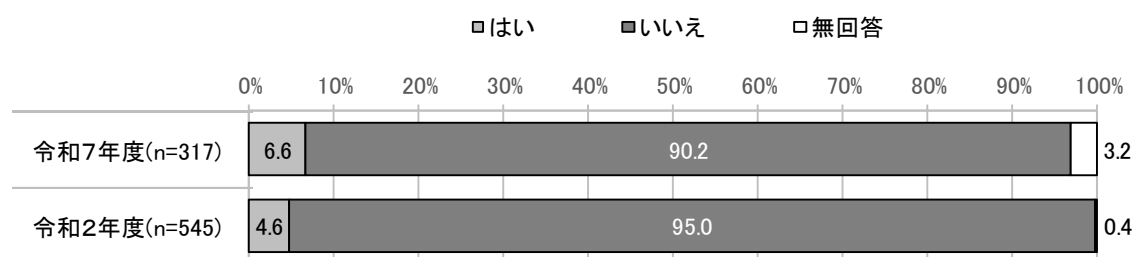
図表3-8-1 活動による金銭収入（プロの芸術家）の有無（該当者全体）



【経年比較】

前回調査から大きな変化はみられない。（図表3-8-2）

図表3-8-2 活動による金銭収入（プロの芸術家）の有無（経年比較）



【性別・年代別・居住地域別】

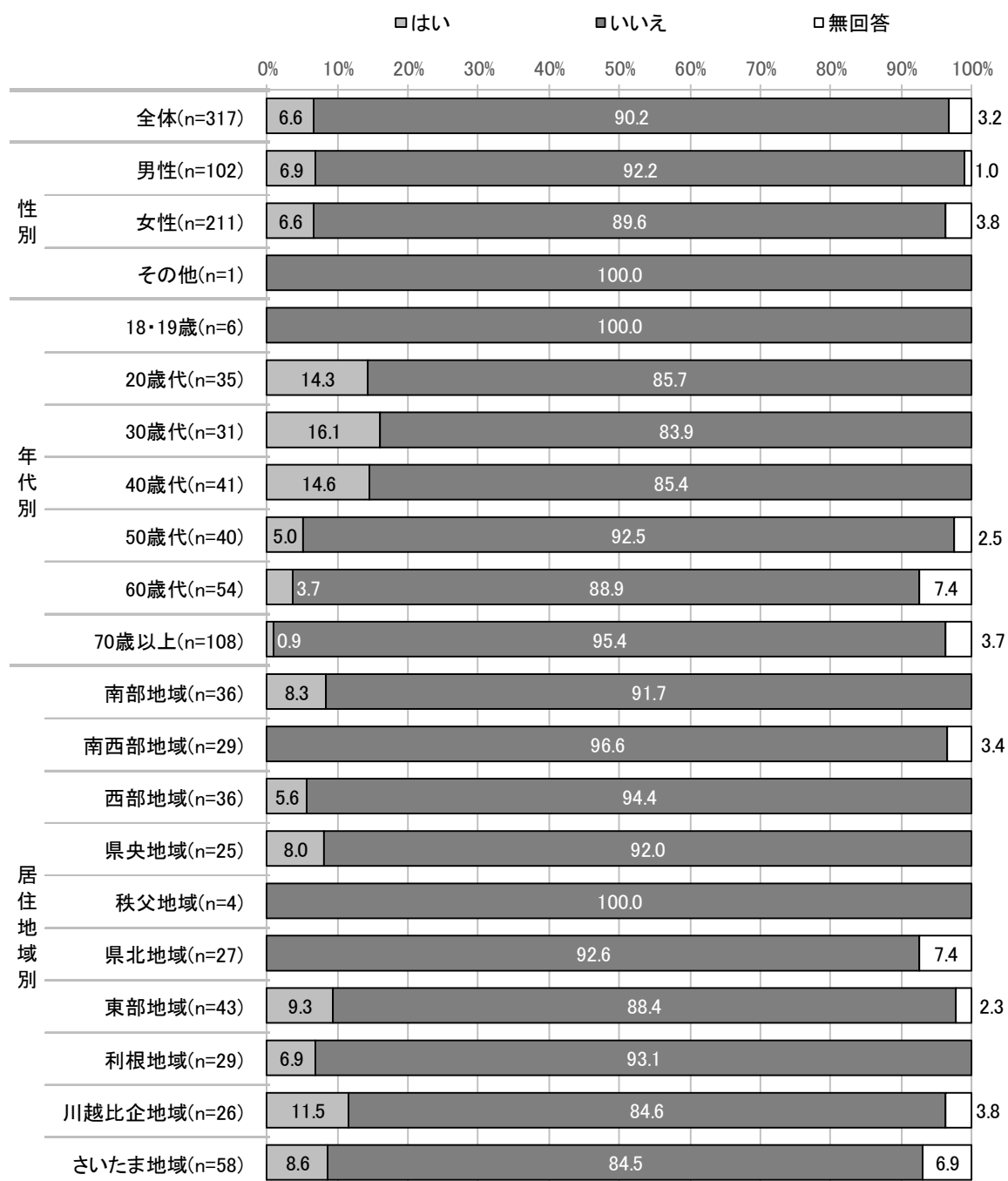
性別では、大きな傾向の違いはみられない。

年代別では、「はい」は、30歳代（16.1%）、40歳代（14.6%）、20歳代（14.3%）で1割台半ばと高くなっている。

居住地域別では、大きな傾向の違いはみられない。

(図表3-8-3)

図表3-8-3 活動による金銭収入（プロの芸術家）の有無（性別・年代別・居住地域別）



(9) 団体への所属有無

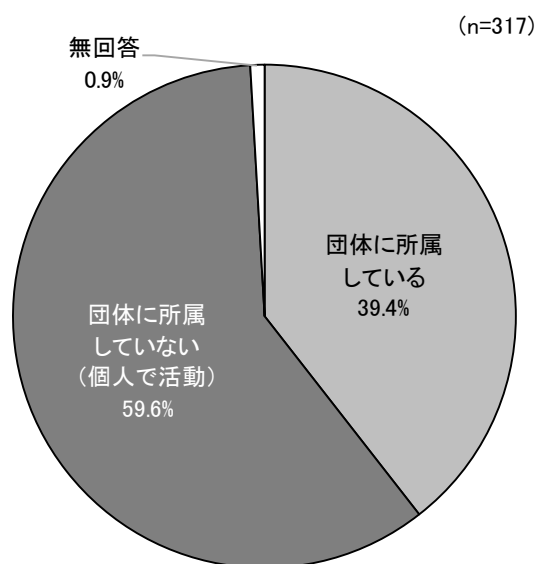
◎「団体に所属している」は約4割

※問3でこの1年間に「1 活動と鑑賞をともに行った」又は「2 活動のみ行った」と回答した方のみ

問10 あなたは、文化芸術活動の団体に所属していますか。該当する番号1つに○を付けてください。

この1年間に活動を行った方(317人)では、「団体に所属している」が39.4%、「団体に所属していない(個人で活動)」が59.6%となっている。(図表3-9-1)

図表3-9-1 団体への所属有無(該当者全体)

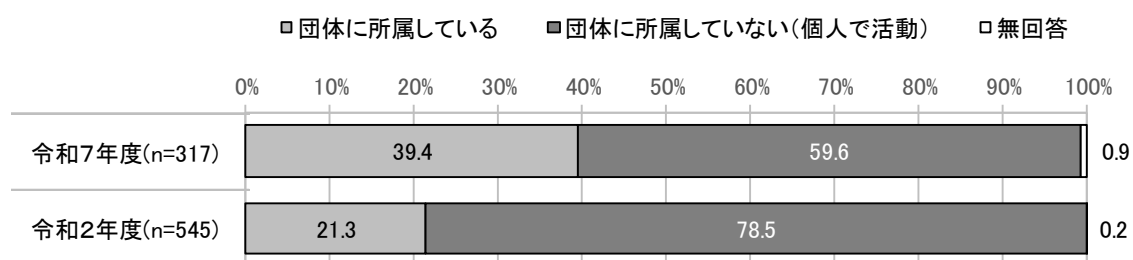


【経年比較】

前回調査との比較では、「団体に所属している」が18.1ポイント増加している。

(図表3-9-2)

図表3-9-2 団体への所属有無(経年比較)



【性別・年代別・居住地域別】

性別では、「団体に所属している」は女性が男性より14.1ポイント高くなっている。

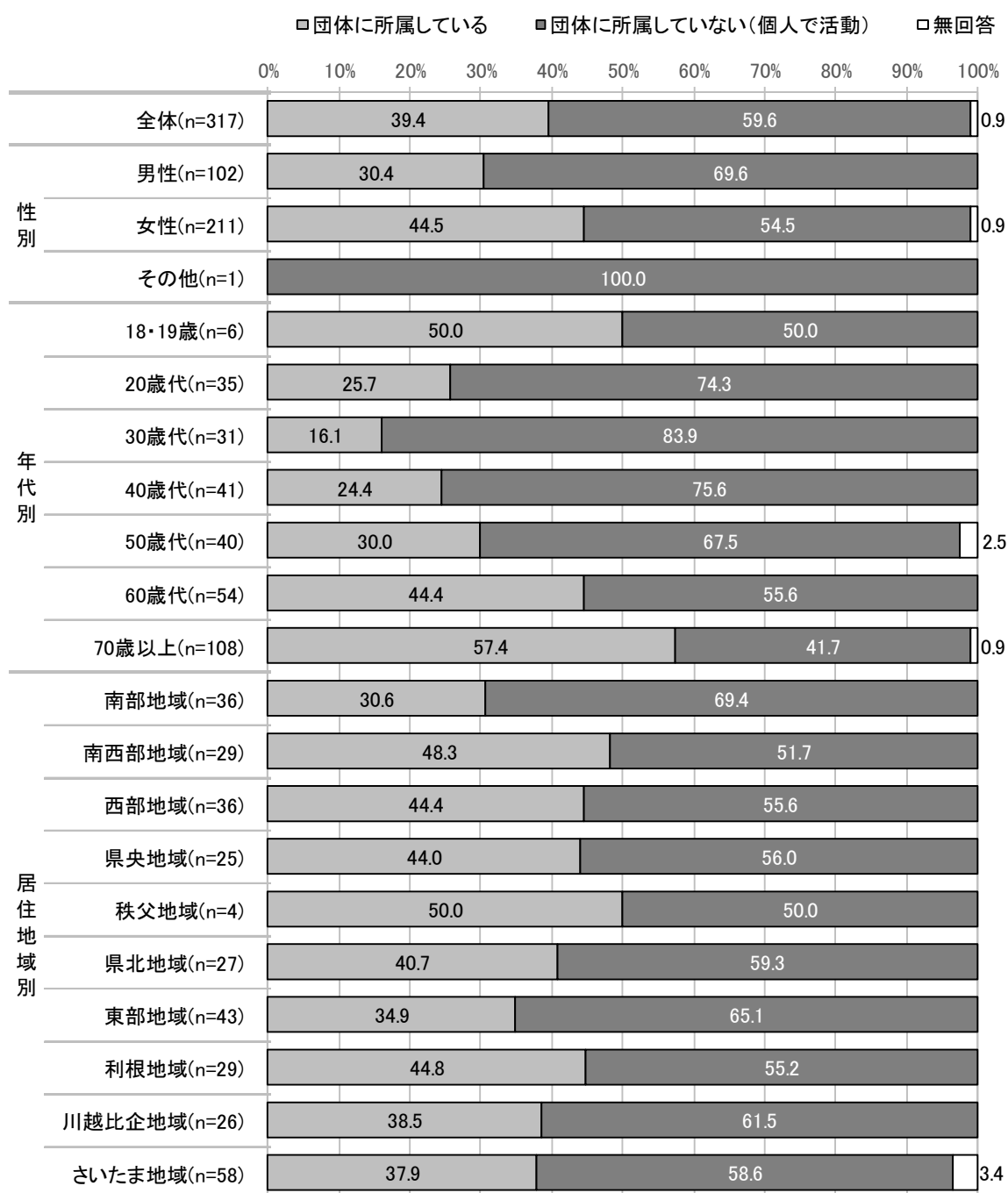
年代別では、「団体に所属している」は40歳代以降年代が上がるに従い増加する傾向がみられ、70歳以上（57.4%）が6割弱で最も高くなっている。

一方「団体に所属していない（個人で活動）」は30歳代（83.9%）が8割台半ばで最も高くなっている。

居住地域別では、大きな傾向の違いはみられない。

(図表3-9-3)

図表3-9-3 団体への所属有無（性別・年代別・居住地域別）



(10) 所属団体の規模

◎「11人以上50人未満」が5割強で最も高い

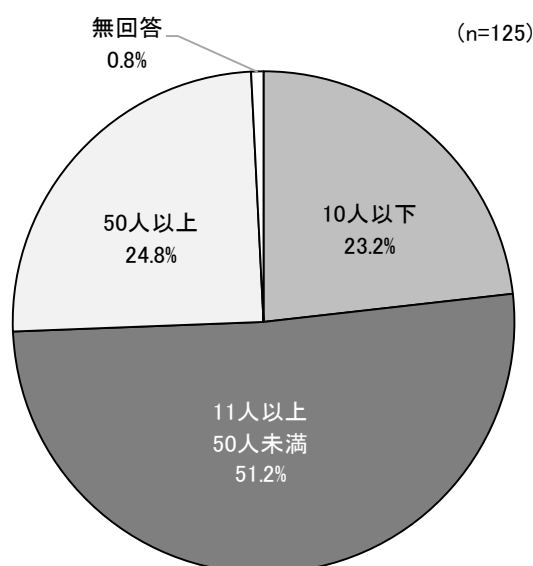
※問3でこの1年間に「1 活動と鑑賞をともに行った」又は「2 活動のみ行った」と回答した方で、問10で「1 団体に所属している」と回答した方のみ

問11 あなたが所属している団体の規模はどの程度ですか。主に活動している団体について、該当する番号1つに○を付けてください。

この1年間に活動を行った方で団体に所属している方（125人）では、「11人以上50人未満」が51.2%で最も高く、次いで「50人以上」（24.8%）、「10人以下」（23.2%）となっている。

(図表3-10-1)

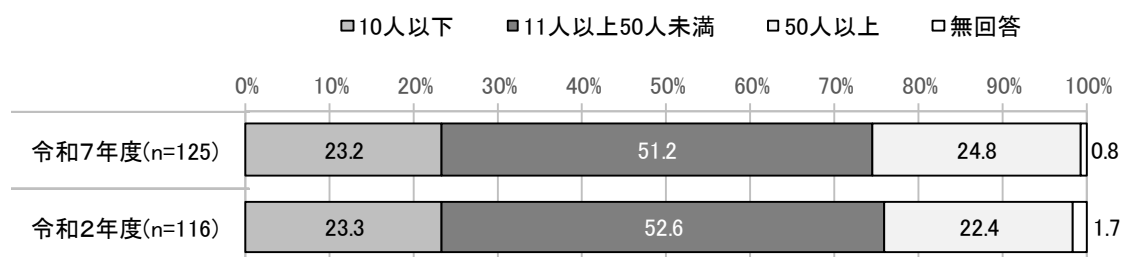
図表3-10-1 所属団体の規模（該当者全体）



【経年比較】

前回調査から大きな変化はみられない。（図表3-10-2）

図表3-10-2 所属団体の規模（経年比較）



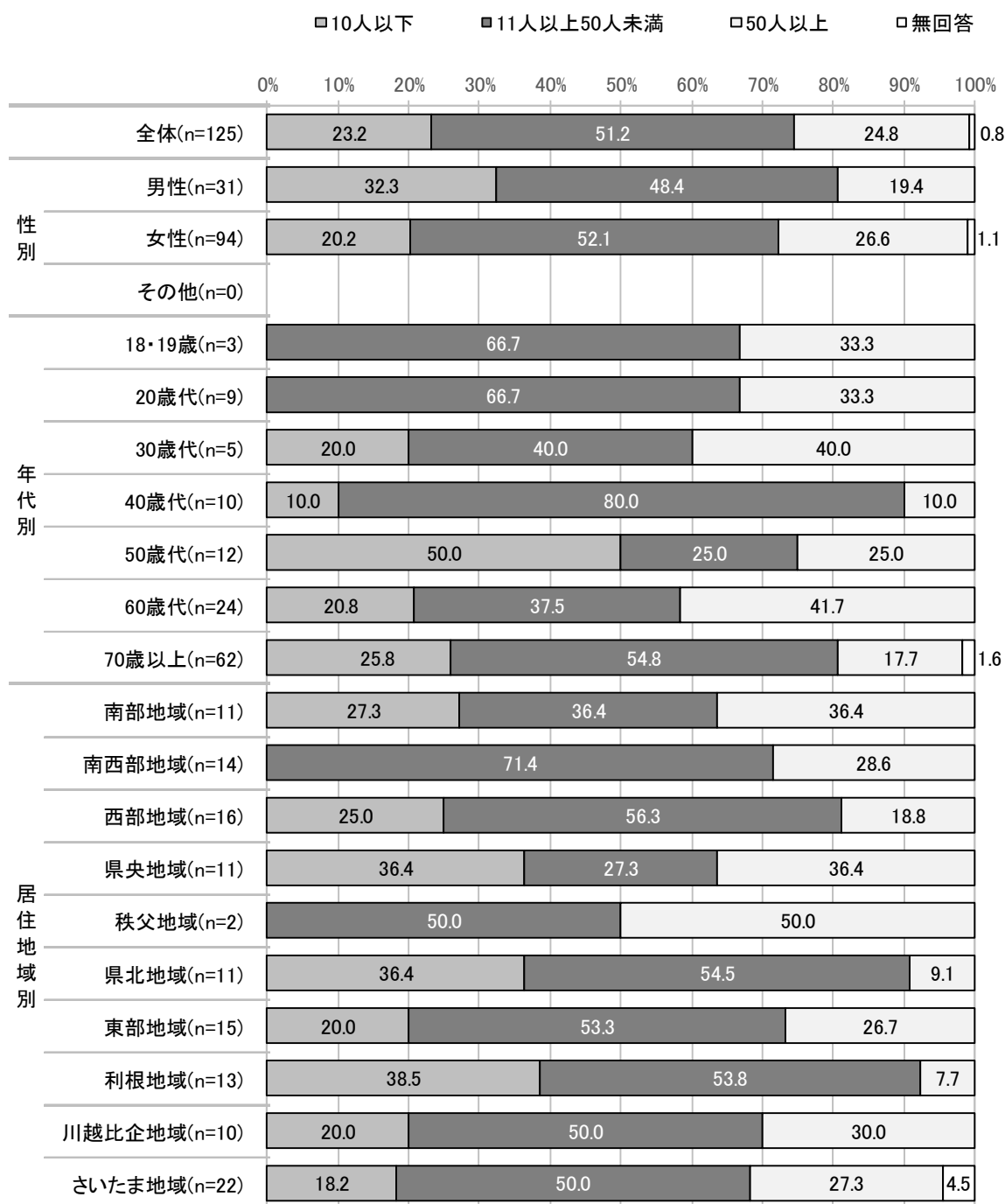
【性別・年代別・居住地域別】

性別では、「10人以下」は男性が女性より12.1ポイント高く、「50人以上」は女性が男性よりも7.2ポイント高くなっている。

年代別、居住地域別では、大きな傾向の違いはみられない。

(図表3-10-3)

図表3-10-3 所属団体の規模（性別・年代別・居住地域別）



(11) 所属団体のメンバー構成

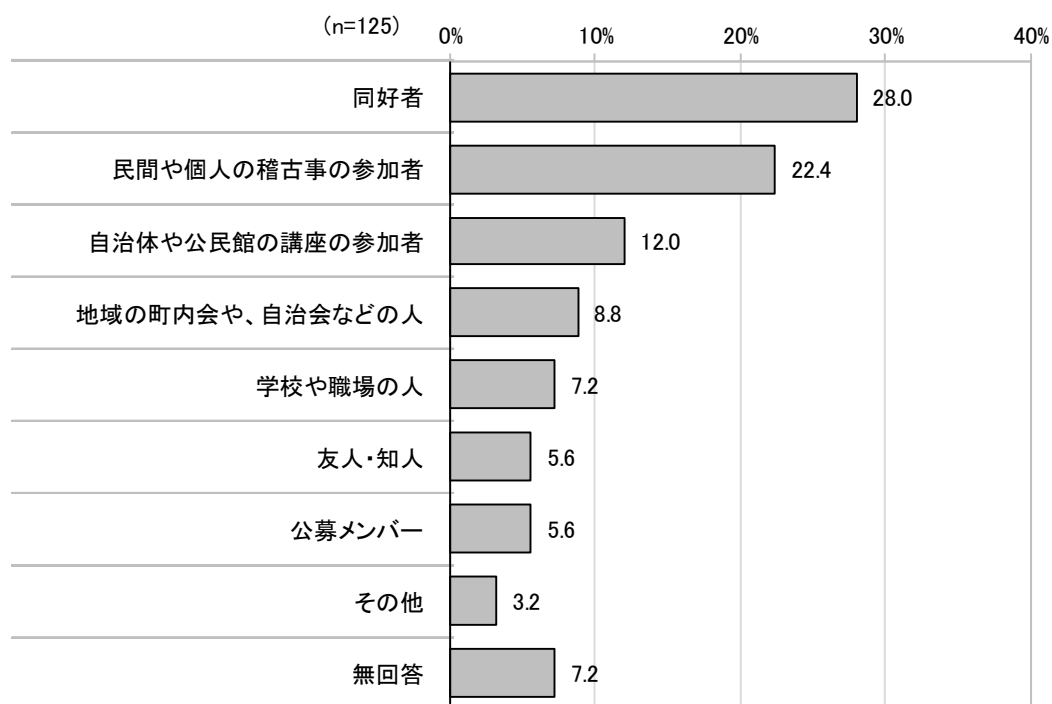
◎「同好者」が3割弱で最も高い

※問3でこの1年間に「1 活動と鑑賞をともに行った」又は「2 活動のみ行った」と回答した方で、問10で「1 団体に所属している」と回答した方のみ

問12 あなたが所属している団体は、どのようなメンバーを中心に構成していますか。主に活動している団体について、該当する番号1つに○を付けてください。

この1年間に活動を行った方で団体に所属している方（125人）では、「同好者」が28.0%で最も高く、次いで「民間や個人の稽古事の参加者」（22.4%）、「自治体や公民館の講座の参加者」（12.0%）と続いている。（図表3-11-1）

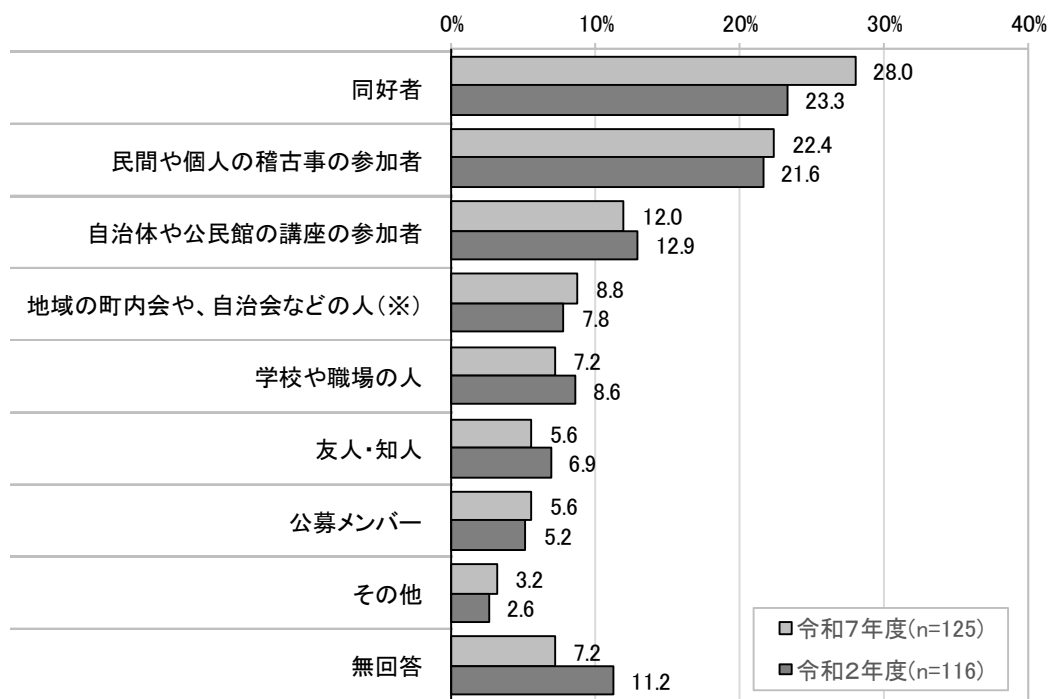
図表3-11-1 所属団体のメンバー構成（該当者全体）



【経年比較】

前回調査との比較では、「同好者」が4.7ポイント増加している。(図表3-11-2)

図表3-11-2 所属団体のメンバー構成（経年比較）



※ 令和2年度は「地域の青年団・婦人会・自治会などの人」

【性別・年代別・居住地域別】

性別では、「地域の町内会や、自治会などの人」は22.6ポイント、「同好者」は14.2ポイント、それぞれ男性が女性より高くなっている。

「民間や個人の稽古事の参加者」は21.2ポイント、「自治体や公民館の講座の参加者」は11.7ポイント、それぞれ女性が男性よりも高くなっている。

年代別、居住地域別では、大きな傾向の違いはみられない。

(図表3-11-3)

図表3-11-3 所属団体のメンバー構成（性別・年代別・居住地域別）

		n	同好者	民間や個人の稽古事の参加者	自治体や公民館の講座の参加者	地域の町内会や、自治会などの人	学校や職場の人	友人・知人	公募メンバー	その他	無回答
全体		125	28.0	22.4	12.0	8.8	7.2	5.6	5.6	3.2	7.2
性別	男性	31	38.7	6.5	3.2	25.8	3.2	6.5	6.5	3.2	6.5
	女性	94	24.5	27.7	14.9	3.2	8.5	5.3	5.3	3.2	7.4
	その他	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年代別	18・19歳	3	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-
	20歳代	9	11.1	33.3	-	11.1	33.3	11.1	-	-	-
	30歳代	5	20.0	60.0	-	-	-	-	-	-	20.0
	40歳代	10	30.0	20.0	-	-	10.0	20.0	20.0	-	-
	50歳代	12	25.0	8.3	33.3	8.3	16.7	8.3	-	-	-
	60歳代	24	37.5	20.8	8.3	8.3	-	4.2	4.2	12.5	4.2
	70歳以上	62	29.0	22.6	14.5	11.3	-	3.2	6.5	1.6	11.3
居住地域別	南部地域	11	18.2	-	36.4	9.1	9.1	9.1	-	9.1	9.1
	南西部地域	14	42.9	21.4	-	14.3	7.1	-	7.1	-	7.1
	西部地域	16	6.3	43.8	12.5	-	6.3	12.5	6.3	6.3	6.3
	県央地域	11	9.1	27.3	9.1	18.2	18.2	9.1	9.1	-	-
	秩父地域	2	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-
	県北地域	11	27.3	18.2	18.2	9.1	9.1	-	-	-	18.2
	東部地域	15	46.7	13.3	-	13.3	-	6.7	20.0	-	-
	利根地域	13	46.2	15.4	-	7.7	23.1	-	-	-	7.7
	川越比企地域	10	20.0	40.0	10.0	10.0	-	-	10.0	-	10.0
さいたま地域	22	27.3	18.2	22.7	4.5	-	9.1	-	9.1	9.1	

(12) 所属団体の活動上の問題・課題

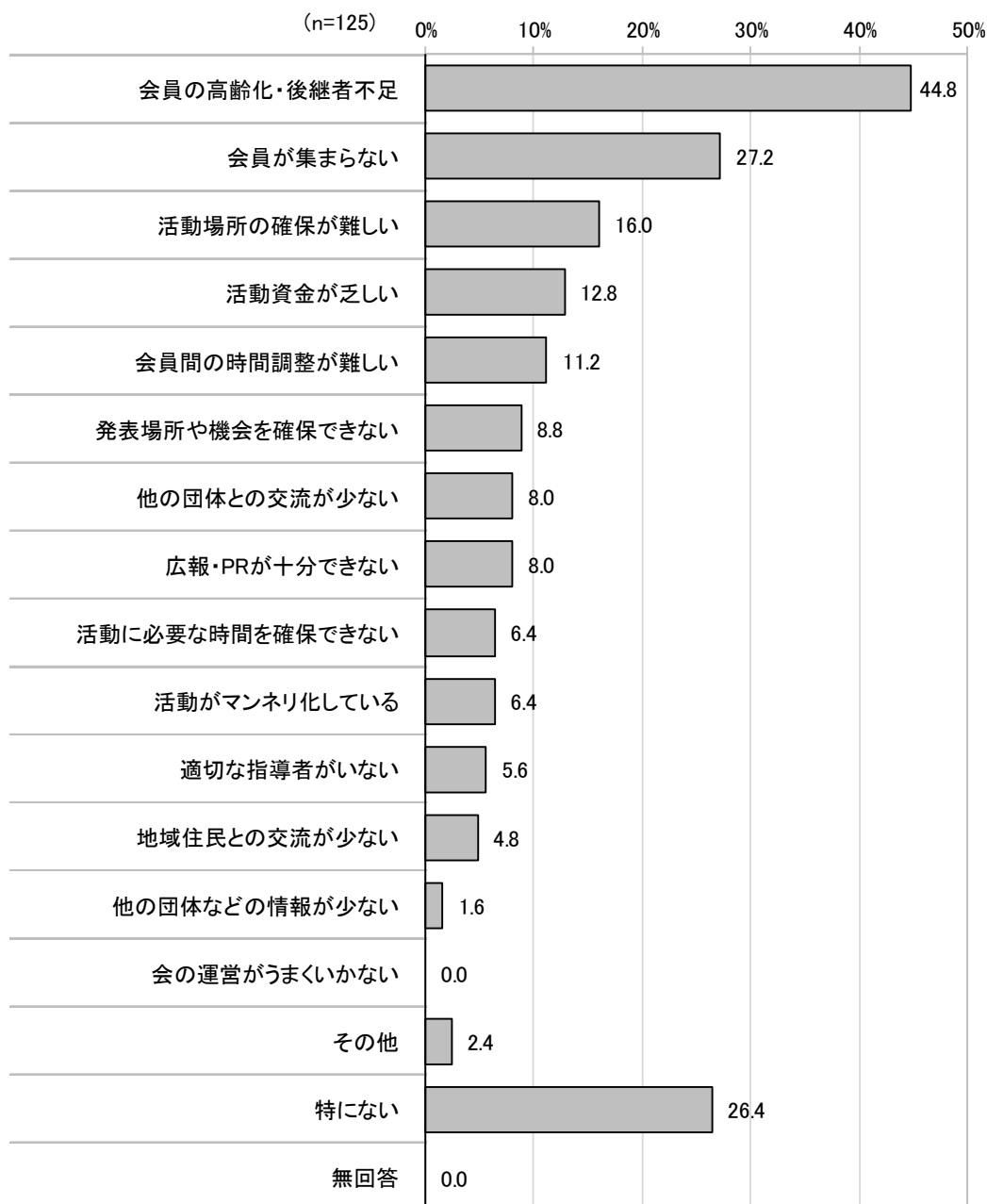
◎「会員の高齢化・後継者不足」が4割台半ばで最も高い

※問3でこの1年間に「1 活動と鑑賞をともに行った」又は「2 活動のみ行った」と回答した方で、問10で「1 団体に所属している」と回答した方のみ
 問13 あなたが所属している団体の活動上の問題・課題は何ですか。該当する番号すべてに○を付けてください。

この1年間に活動を行った方で団体に所属している方（125人）では、「会員の高齢化・後継者不足」が44.8%で最も高く、次いで「会員が集まらない」（27.2%）、「活動場所の確保が難しい」（16.0%）と続いている。

また、「特にない」は26.4%となっている。（図表3-12-1）

図表3-12-1 所属団体の活動上の問題・課題（該当者全体）

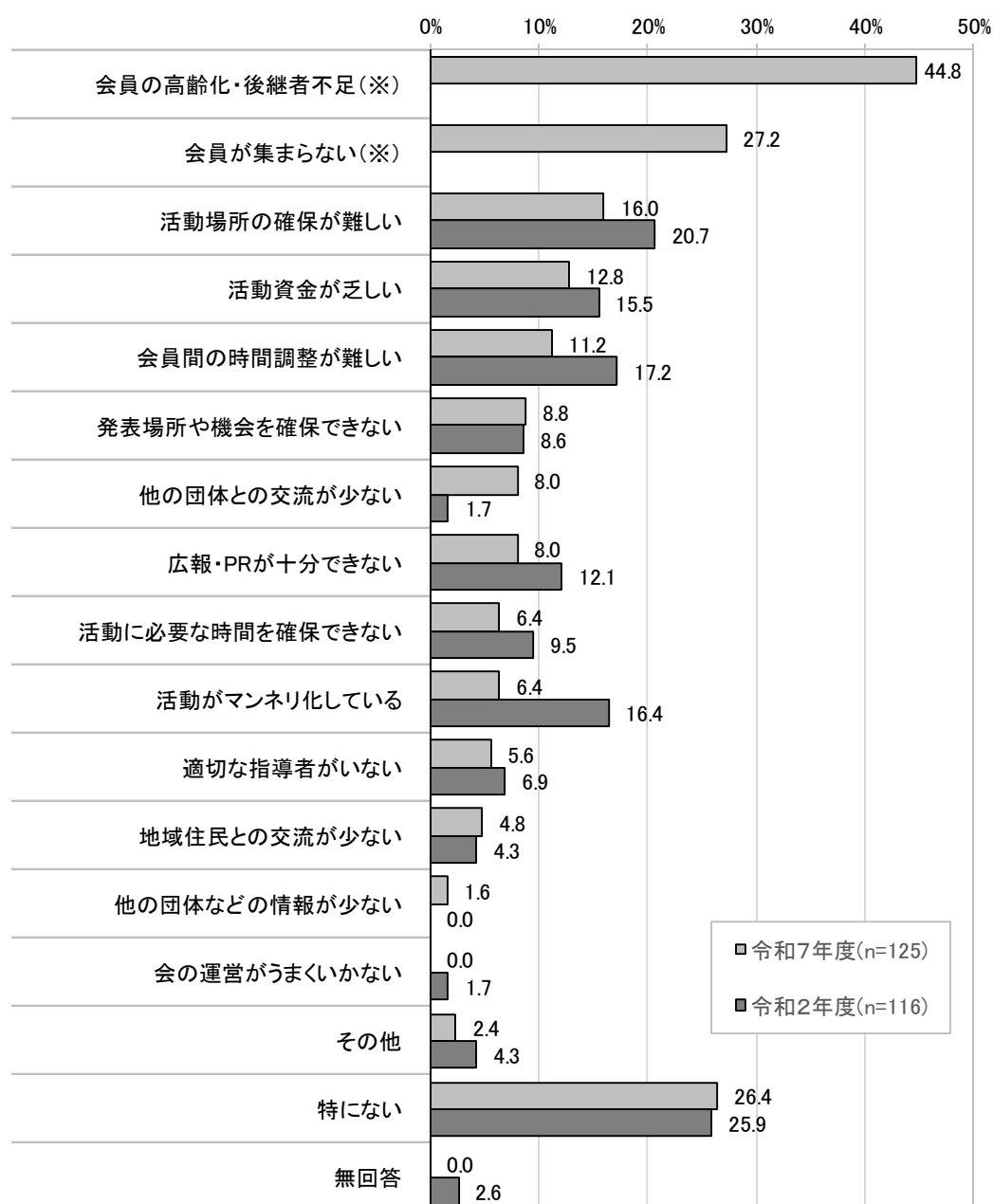


【経年比較】

前回調査との比較では、項目変更が発生しているため参考として図示するにとどめる。

(図表3-12-2)

図表3-12-2 所属団体の活動上の問題・課題（経年比較）



※令和2年度の選択肢「会員が集まらない・後継者がいない」を分割して実施

【性別・年代別・居住地域別】

性別では、「会員の高齢化・後継者不足」で21.9ポイント、「活動資金が乏しい」で21.6ポイント、「会員が集まらない」で19.6ポイント、それぞれ男性が女性より高くなっている。

「特にない」は女性が男性より18.0ポイント高くなっている。

年代別、居住地域別では、大きな傾向の違いはみられない。

(図表3-12-3)

図表3-12-3 所属団体の活動上の問題・課題（性別・年代別・居住地域別）

	n	会員の高齢化・後継者不足	会員が集まらない	活動場所の確保が難しい	活動資金が乏しい	会員間の時間調整が難しい	発表場所や機会を確保できない	他の団体との交流が少ない	広報・PRが十分できない	活動に必要な時間を確保できない	活動がマンネリ化している	適切な指導者がいない	地域住民との交流が少ない	他の団体などの情報が少ない	会の運営がうまくいかない	その他	特にない	無回答	
全体	125	44.8	27.2	16.0	12.8	11.2	8.8	8.0	8.0	6.4	6.4	5.6	4.8	1.6	-	2.4	26.4	-	
性別	男性	31	61.3	41.9	12.9	29.0	16.1	6.5	6.5	12.9	6.5	9.7	6.5	6.5	-	-	3.2	12.9	-
	女性	94	39.4	22.3	17.0	7.4	9.6	9.6	8.5	6.4	6.4	5.3	5.3	4.3	2.1	-	2.1	30.9	-
	その他	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年代別	18・19歳	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	66.7	-
	20歳代	9	11.1	22.2	11.1	-	11.1	22.2	-	11.1	22.2	33.3	22.2	11.1	-	-	-	11.1	-
	30歳代	5	40.0	20.0	-	40.0	40.0	-	-	20.0	20.0	-	-	-	-	-	20.0	20.0	-
	40歳代	10	50.0	30.0	50.0	70.0	20.0	10.0	10.0	40.0	10.0	-	-	-	-	-	-	20.0	-
	50歳代	12	33.3	33.3	8.3	-	16.7	16.7	8.3	8.3	8.3	-	8.3	-	-	-	8.3	33.3	-
	60歳代	24	45.8	8.3	25.0	12.5	20.8	8.3	8.3	4.2	8.3	4.2	4.2	-	-	-	-	29.2	-
	70歳以上	62	53.2	35.5	11.3	6.5	3.2	6.5	9.7	3.2	1.6	6.5	4.8	8.1	3.2	-	-	25.8	-
居住地域別	南部地域	11	45.5	27.3	9.1	-	27.3	9.1	18.2	-	27.3	9.1	9.1	9.1	9.1	-	-	9.1	-
	南西部地域	14	28.6	14.3	14.3	7.1	7.1	7.1	7.1	-	-	7.1	-	-	-	-	-	42.9	-
	西部地域	16	25.0	18.8	6.3	6.3	6.3	6.3	18.8	6.3	6.3	-	12.5	6.3	6.3	-	-	37.5	-
	県央地域	11	72.7	45.5	9.1	9.1	9.1	9.1	-	18.2	9.1	-	9.1	9.1	-	-	9.1	18.2	-
	秩父地域	2	100.0	50.0	50.0	50.0	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	県北地域	11	54.5	36.4	18.2	18.2	18.2	9.1	18.2	9.1	9.1	27.3	9.1	9.1	-	-	-	9.1	-
	東部地域	15	60.0	33.3	13.3	20.0	6.7	6.7	-	13.3	-	-	-	-	-	-	-	26.7	-
	利根地域	13	46.2	38.5	15.4	15.4	7.7	15.4	-	7.7	-	-	-	-	-	-	7.7	23.1	-
	川越比企地域	10	60.0	30.0	20.0	30.0	20.0	10.0	-	20.0	-	-	10.0	10.0	-	-	10.0	10.0	-
さいたま地域	22	27.3	13.6	27.3	9.1	9.1	9.1	4.5	4.5	9.1	13.6	4.5	4.5	-	-	-	40.9	-	

(13) 団体に加入していない理由

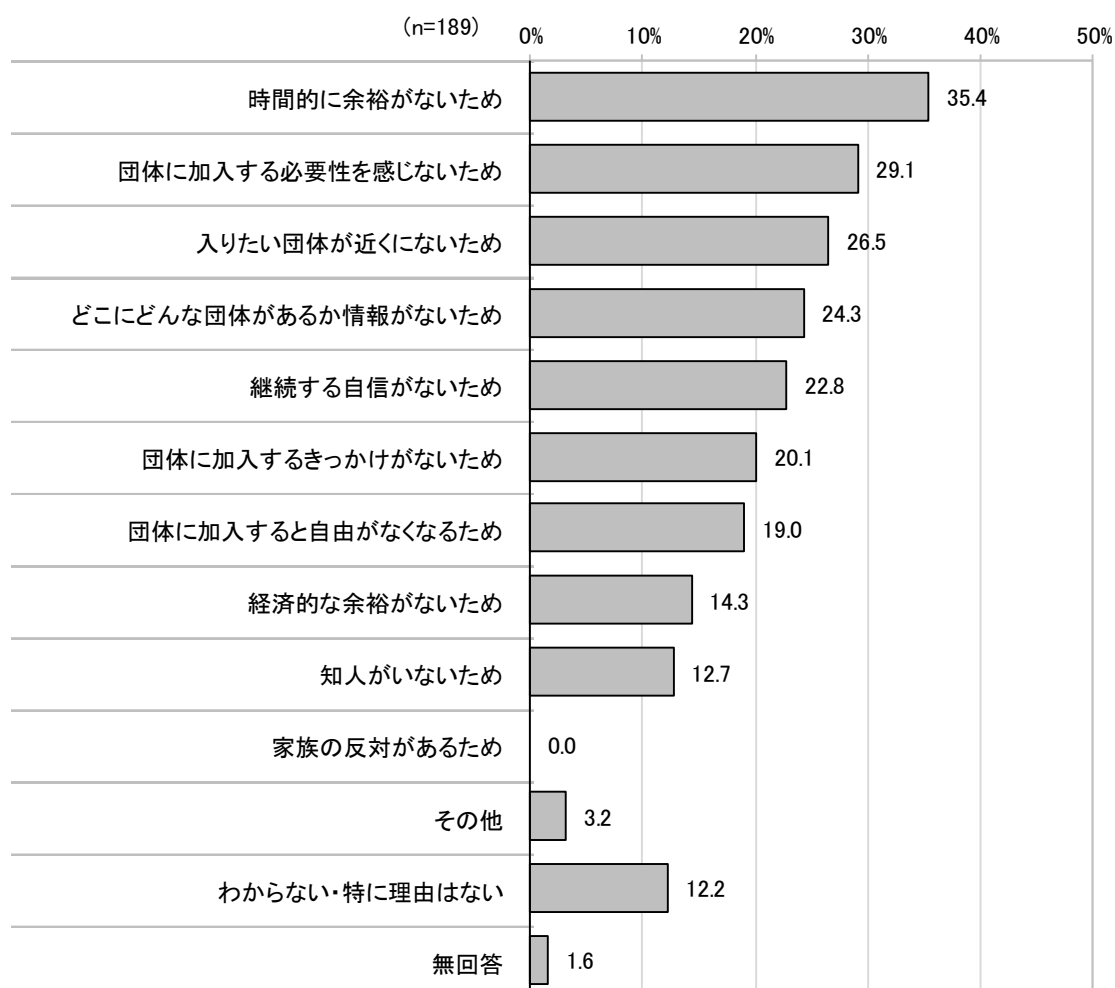
◎「時間的に余裕がないため」が3割台半ばで最も高い

※問3でこの1年間に「1 活動と鑑賞をともに行った」又は「2 活動のみ行った」と回答した方で、問10で「2 団体に所属していない」と回答した方のみ
 問14 あなたが団体に加入していない理由は何ですか。該当する番号すべてに○を付けてください。

この1年間に活動を行った方で団体に所属していない方（189人）では、「時間的に余裕がないため」が35.4%で最も高く、次いで「団体に加入する必要性を感じないため」（29.1%）、「入りたい団体が近くにないため」（26.5%）と続いている。

また、「わからない・特に理由はない」は12.2%となっている。（図表3-13-1）

図表3-13-1 団体に加入していない理由（該当者全体）

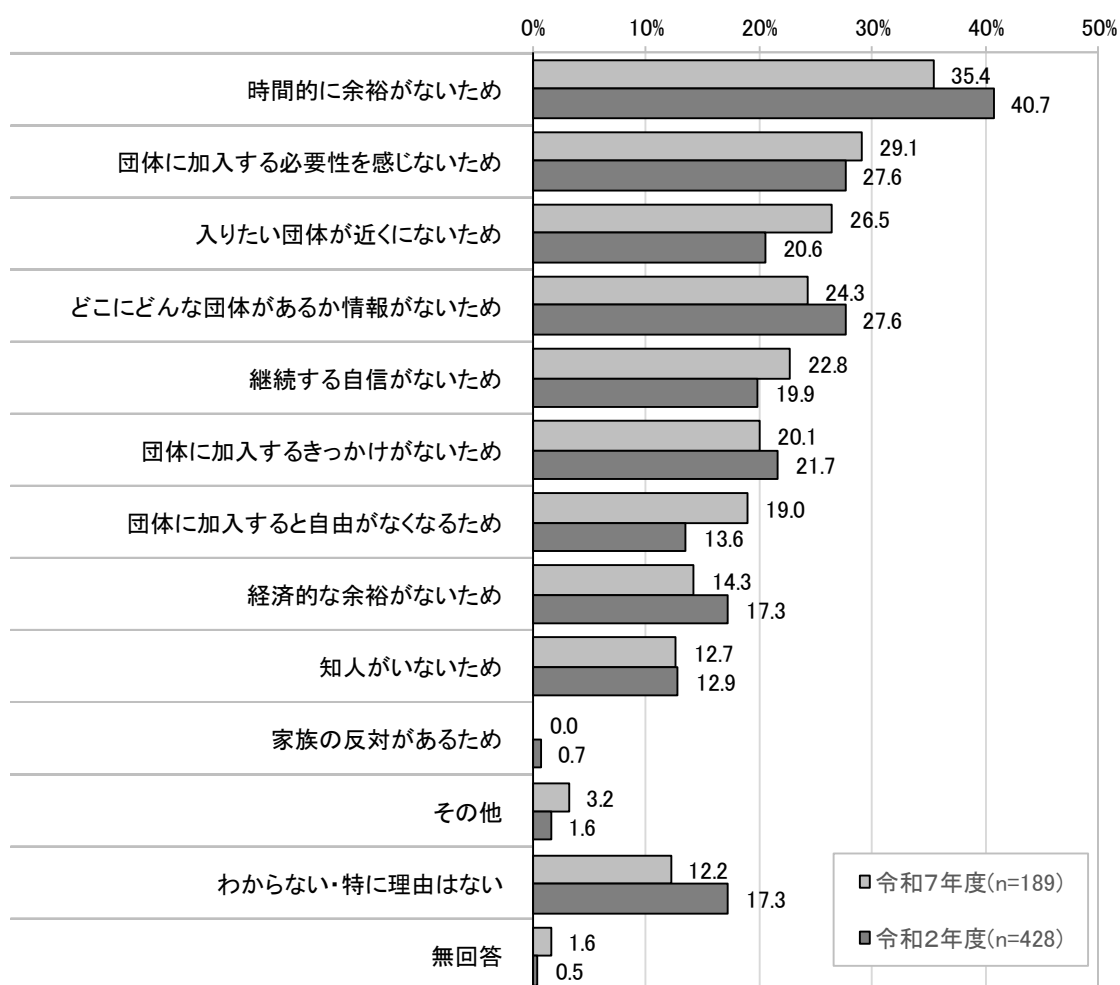


【経年比較】

前回調査との比較では、「入りたい団体が近くにないため」が5.9ポイント、「団体に加入すると自由がなくなるため」が5.4ポイント、それぞれ増加している。

「時間的に余裕がないため」が5.3ポイント、「わからない・特に理由はない」が5.1ポイント、それぞれ減少している。(図表3-13-2)

図表3-13-2 団体に加入していない理由（経年比較）



【性別・年代別・居住地域別】

性別では、「継続する自信がないため」は9.2ポイント、「時間的に余裕がないため」は7.3ポイント、「知人がいないため」は7.2ポイント、それぞれ女性が男性より高くなっている。

また、「わからない・特に理由はない」は男性が女性より7.3ポイント高くなっている。

年代別、居住地域別では、大きな傾向の違いはみられない。

(図表3-13-3)

図表3-13-3 団体に加入していない理由（性別・年代別・居住地域別）

	n	時間的に余裕がないため	団体に加入する必要性を感じないため	入りたい団体が近くにないため	どこにどんな団体があるか情報が	継続する自信がないため	団体に加入するきっかけがないため	団体に加入すると自由がなくなるため	経済的な余裕がないため	知人がいないため	家族の反対があるため	その他	わからない・特に理由はない	無回答	
全体	189	35.4	29.1	26.5	24.3	22.8	20.1	19.0	14.3	12.7	-	3.2	12.2	1.6	
性別	男性	71	31.0	31.0	25.4	21.1	16.9	21.1	15.5	11.3	8.5	-	4.2	16.9	2.8
	女性	115	38.3	28.7	26.1	27.0	26.1	20.0	21.7	15.7	15.7	-	2.6	9.6	0.9
	その他	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年代別	18・19歳	3	33.3	-	-	-	33.3	-	-	-	33.3	-	-	66.7	-
	20歳代	26	46.2	19.2	34.6	26.9	30.8	26.9	34.6	26.9	19.2	-	3.8	15.4	-
	30歳代	26	53.8	42.3	34.6	34.6	46.2	30.8	26.9	23.1	23.1	-	7.7	-	3.8
	40歳代	31	32.3	35.5	35.5	12.9	16.1	25.8	19.4	16.1	6.5	-	-	12.9	-
	50歳代	27	48.1	22.2	25.9	22.2	18.5	18.5	3.7	11.1	7.4	-	3.7	14.8	-
	60歳代	30	33.3	16.7	20.0	23.3	16.7	10.0	13.3	6.7	10.0	-	6.7	13.3	3.3
	70歳以上	45	13.3	37.8	17.8	28.9	13.3	15.6	20.0	6.7	11.1	-	-	11.1	2.2
居住地域別	南部地域	25	36.0	32.0	40.0	32.0	32.0	12.0	28.0	12.0	20.0	-	4.0	16.0	-
	南西部地域	15	26.7	40.0	13.3	-	13.3	20.0	26.7	33.3	13.3	-	-	6.7	6.7
	西部地域	20	40.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	20.0	15.0	10.0	-	-	15.0	-
	県央地域	14	35.7	21.4	42.9	35.7	28.6	28.6	21.4	-	21.4	-	-	7.1	-
	秩父地域	2	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	県北地域	16	43.8	31.3	18.8	18.8	18.8	18.8	18.8	18.8	-	-	6.3	18.8	-
	東部地域	28	32.1	14.3	28.6	17.9	17.9	21.4	17.9	10.7	17.9	-	-	7.1	7.1
	利根地域	16	37.5	50.0	43.8	37.5	25.0	6.3	6.3	6.3	12.5	-	12.5	12.5	-
	川越比企地域	16	31.3	12.5	18.8	25.0	12.5	18.8	12.5	25.0	12.5	-	6.3	18.8	-
さいたま地域	34	35.3	32.4	14.7	26.5	23.5	23.5	20.6	11.8	8.8	-	2.9	8.8	-	

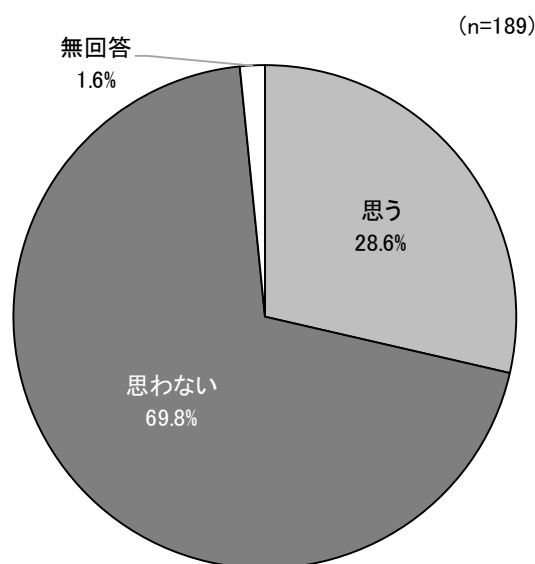
(14) 団体への参加意向の有無

◎「思う(参加意向あり)」は3割弱

※問3でこの1年間に「1 活動と鑑賞をともに行った」又は「2 活動のみ行った」と回答した方で、問10で「2 団体に所属していない」と回答した方のみ
 問15 あなたは今後、団体に参加して活動したいと思いますか。該当する番号1つに○を付けてください。

この1年間に活動を行った方で団体に所属していない方(189人)では、「思う」は28.6%となっている。一方「思わない」は69.8%となっている。(図表3-14-1)

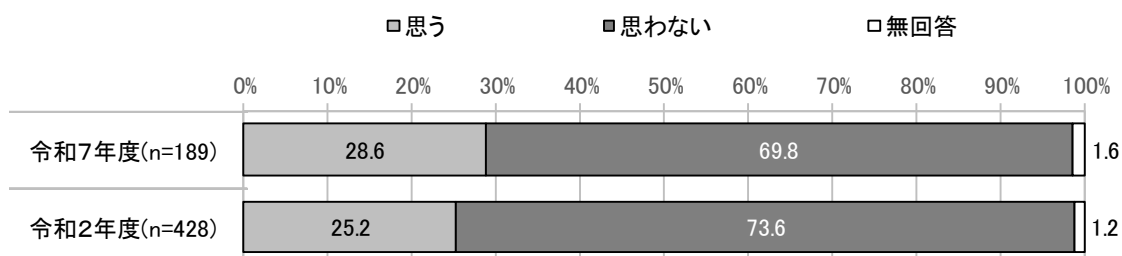
図表3-14-1 団体への参加意向の有無(該当者全体)



【経年比較】

前回調査から大きな変化はみられない。(図表3-14-2)

図表3-14-2 団体への参加意向の有無(経年比較)

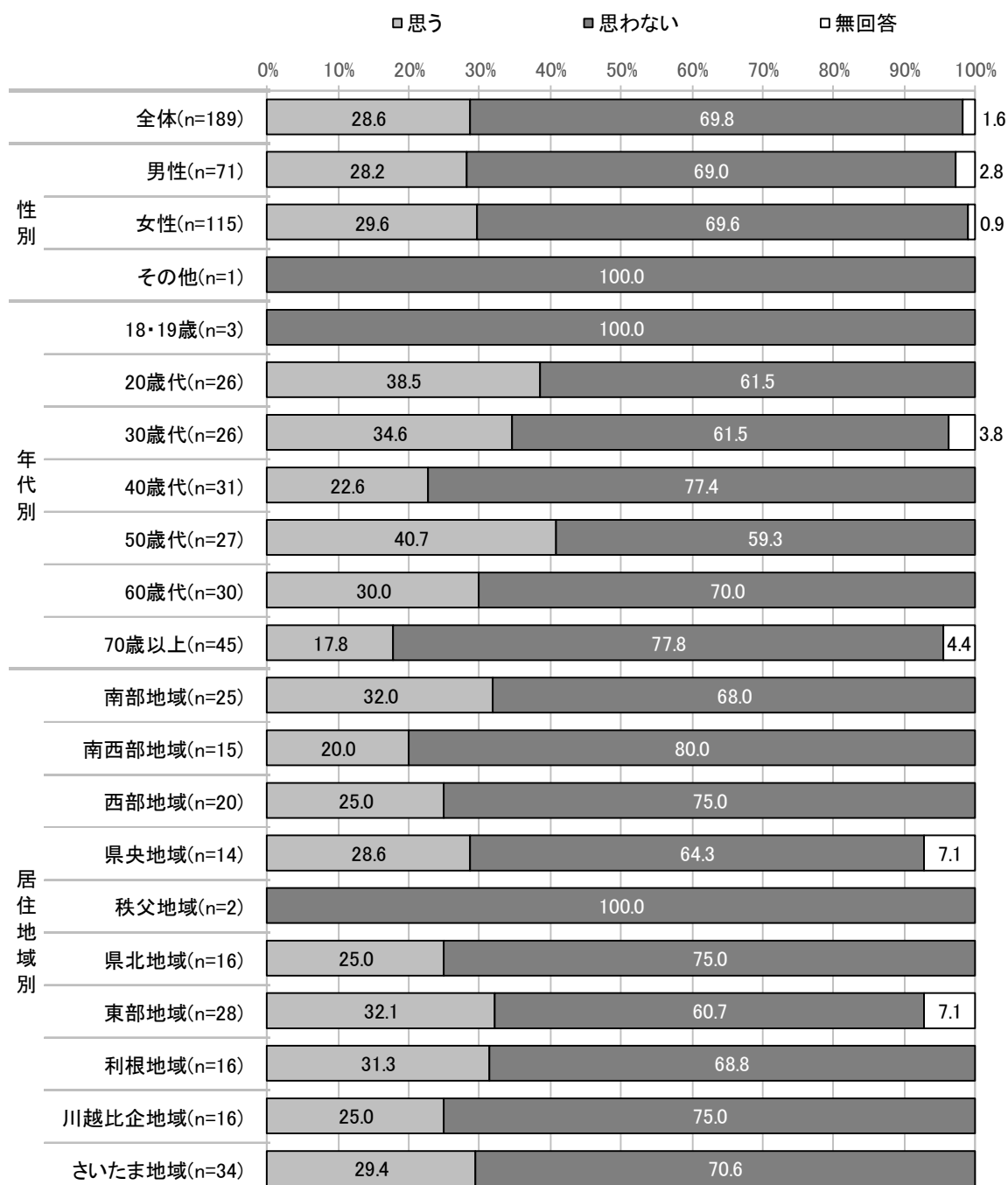


【性別・年代別・居住地域別】

性別、年代別、居住地域別で大きな傾向の違いはみられない。

(図表3-14-3)

図表3-14-3 団体への参加意向の有無（性別・年代別・居住地域別）



(15) 鑑賞頻度

◎「年に数回」が6割強で最も高い

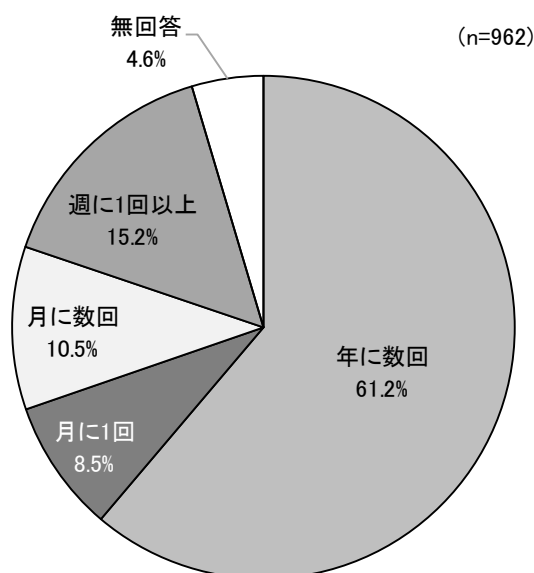
※問3でこの1年間に「1 活動と鑑賞をともに行った」又は「3 鑑賞のみ行った」と回答した方のみ

問16 あなたはこの1年間、どれくらいの頻度で文化芸術に関する鑑賞を行いましたか。また、その場所はどこですか。

問16-1 文化芸術の鑑賞を行った頻度について、該当する番号1つに○を付けてください。

この1年間に鑑賞を行った方(962人)では、「年に数回」が61.2%で最も高く、次いで「週に1回以上」(15.2%)、「月に数回」(10.5%)と続いている。(図表3-15-1)

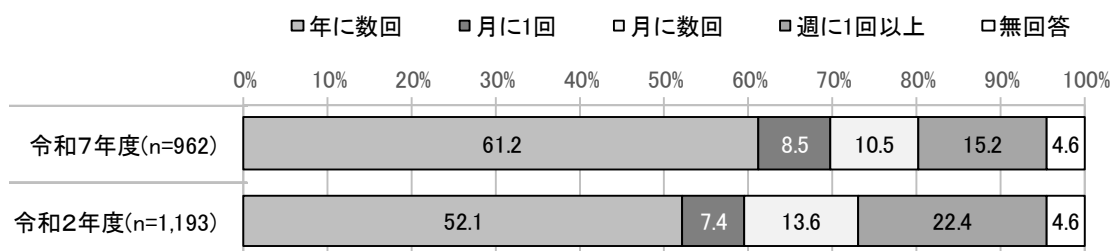
図表3-15-1 鑑賞頻度(該当者全体)



【経年比較】

前回調査との比較では、「年に数回」は前回から9.1ポイント増加し、「週に1回以上」は前回から7.2ポイント減少している。(図表3-15-2)

図表3-15-2 鑑賞頻度(経年比較)



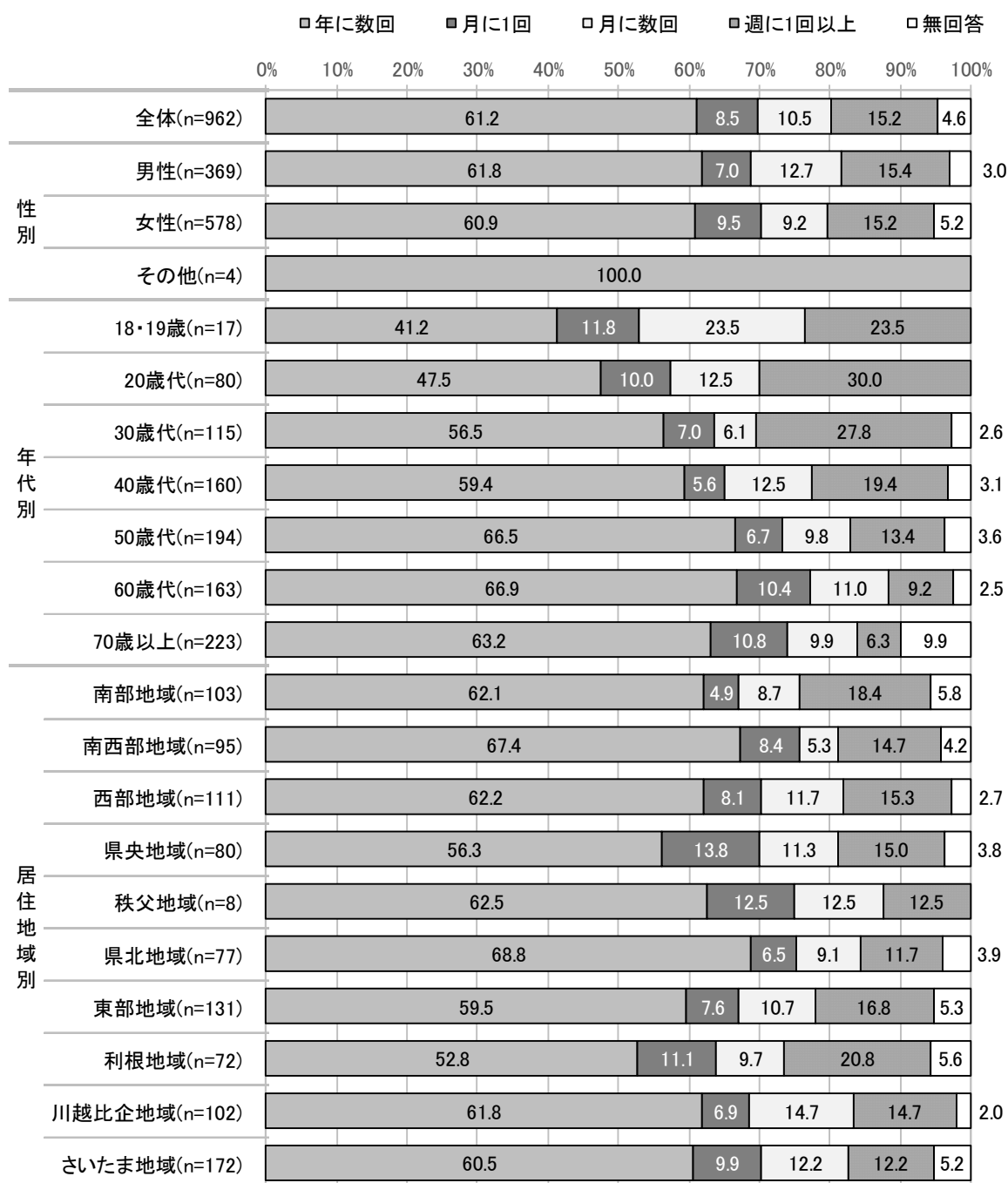
【性別・年代別・居住地域別】

性別では、大きな傾向の違いはみられない。

年代別では、「週に1回以上」は、20歳代（30.0%）が3割、30歳代（27.8%）が3割弱で高くなっている。

居住地域別では、大きな傾向の違いはみられない。（図表3-15-3）

図表3-15-3 鑑賞頻度（性別・年代別・居住地域別）



(16) 鑑賞場所

◎「県内施設」が5割台半ばで最も高い

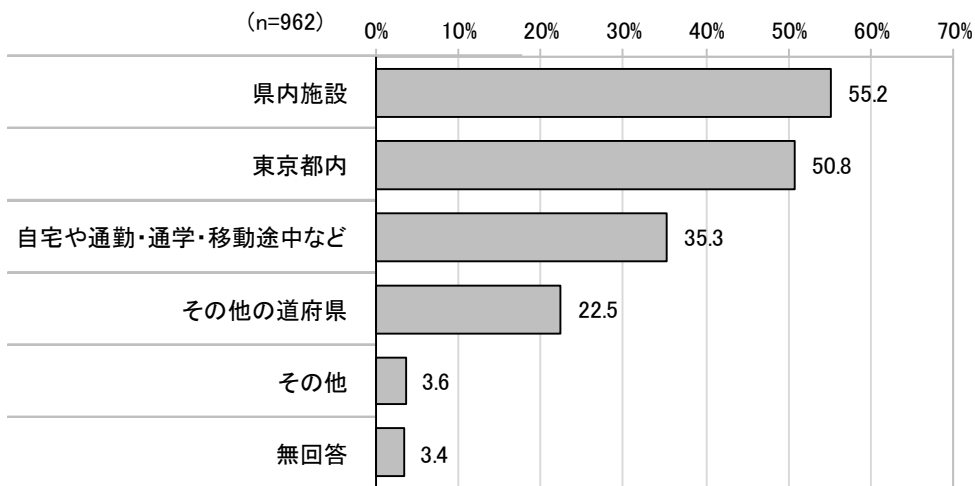
※問3でこの1年間に「1 活動と鑑賞をともに行った」又は「3 鑑賞のみ行った」と回答した方のみ

問16 あなたはこの1年間、どれくらいの頻度で文化芸術に関する鑑賞を行いましたか。また、その場所はどこですか。

問16-2 文化芸術の鑑賞を行った場所について、該当する番号すべてに○を付けてください。

この1年間に鑑賞を行った方(962人)では、「県内施設」が55.2%で最も高く、次いで「東京都内」(50.8%)、「自宅や通勤・通学・移動途中など」(35.3%)と続いている。(図表3-16-1)

図表3-16-1 鑑賞場所(該当者全体)

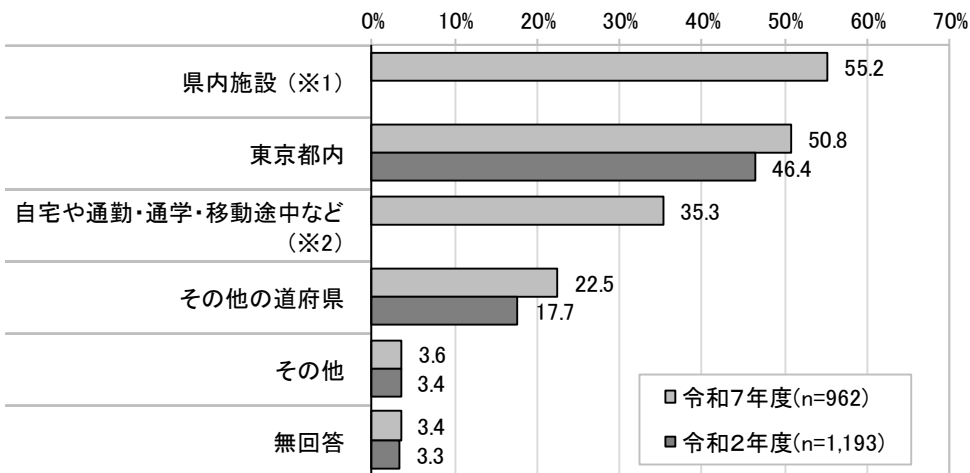


【経年比較】

前回調査との比較では、項目変更が発生しているため参考として図示するにとどめる。

(図表3-16-2)

図表3-16-2 鑑賞場所(経年比較)



※1: 令和2年度は「県内(自宅以外)」で実施

※2: 令和2年度は「自宅」で実施

【性別・年代別・居住地域別】

性別では、「自宅や通勤・通学・移動途中など」は男性が女性より5.9ポイント高くなっている。

「東京都内」は女性が男性より10.5ポイント高くなっている。

年代別では、「県内施設」は、60歳代（66.3%）が6割台半ばで高くなっている。

20歳代では「自宅や通勤・通学・移動途中など」（66.3%）、「東京都内」（62.5%）が6割台半ばでそれぞれ高くなっている。

居住地域別では、「東京都内」は南西部地域（63.2%）が6割台半ばで高くなっている。

（図表3-16-3）

図表3-16-3 鑑賞場所（性別・年代別・居住地域別）

		n	県内施設	東京都内	学 自 ・ 宅 ・ 移 動 途 中 ・ 通 ど	そ の 他 の 道 府 県	そ の 他	無 回 答
全体		962	55.2	50.8	35.3	22.5	3.6	3.4
性別	男性	369	54.5	44.7	39.3	22.5	3.3	1.9
	女性	578	55.5	55.2	33.4	22.3	4.0	4.0
	その他	4	75.0	25.0	-	25.0	-	-
年代別	18・19歳	17	41.2	47.1	58.8	5.9	-	-
	20歳代	80	41.3	62.5	66.3	28.8	5.0	-
	30歳代	115	48.7	48.7	51.3	27.0	2.6	0.9
	40歳代	160	55.0	47.5	46.9	16.3	2.5	1.9
	50歳代	194	51.0	58.8	30.9	30.9	3.6	2.1
	60歳代	163	66.3	51.5	27.6	22.1	4.9	1.8
	70歳以上	223	60.1	43.9	16.6	16.1	4.0	8.5
居住地域別	南部地域	103	54.4	57.3	35.9	25.2	4.9	4.9
	南西部地域	95	46.3	63.2	33.7	18.9	2.1	3.2
	西部地域	111	53.2	51.4	36.9	18.0	4.5	1.8
	県央地域	80	58.8	52.5	45.0	22.5	2.5	2.5
	秩父地域	8	75.0	-	25.0	37.5	-	-
	県北地域	77	58.4	42.9	31.2	28.6	3.9	3.9
	東部地域	131	54.2	51.9	33.6	24.4	3.8	3.8
	利根地域	72	55.6	44.4	38.9	26.4	1.4	2.8
	川越比企地域	102	57.8	44.1	34.3	19.6	2.0	2.0
	さいたま地域	172	57.0	52.3	34.3	19.8	5.8	3.5

(17) 鑑賞内容

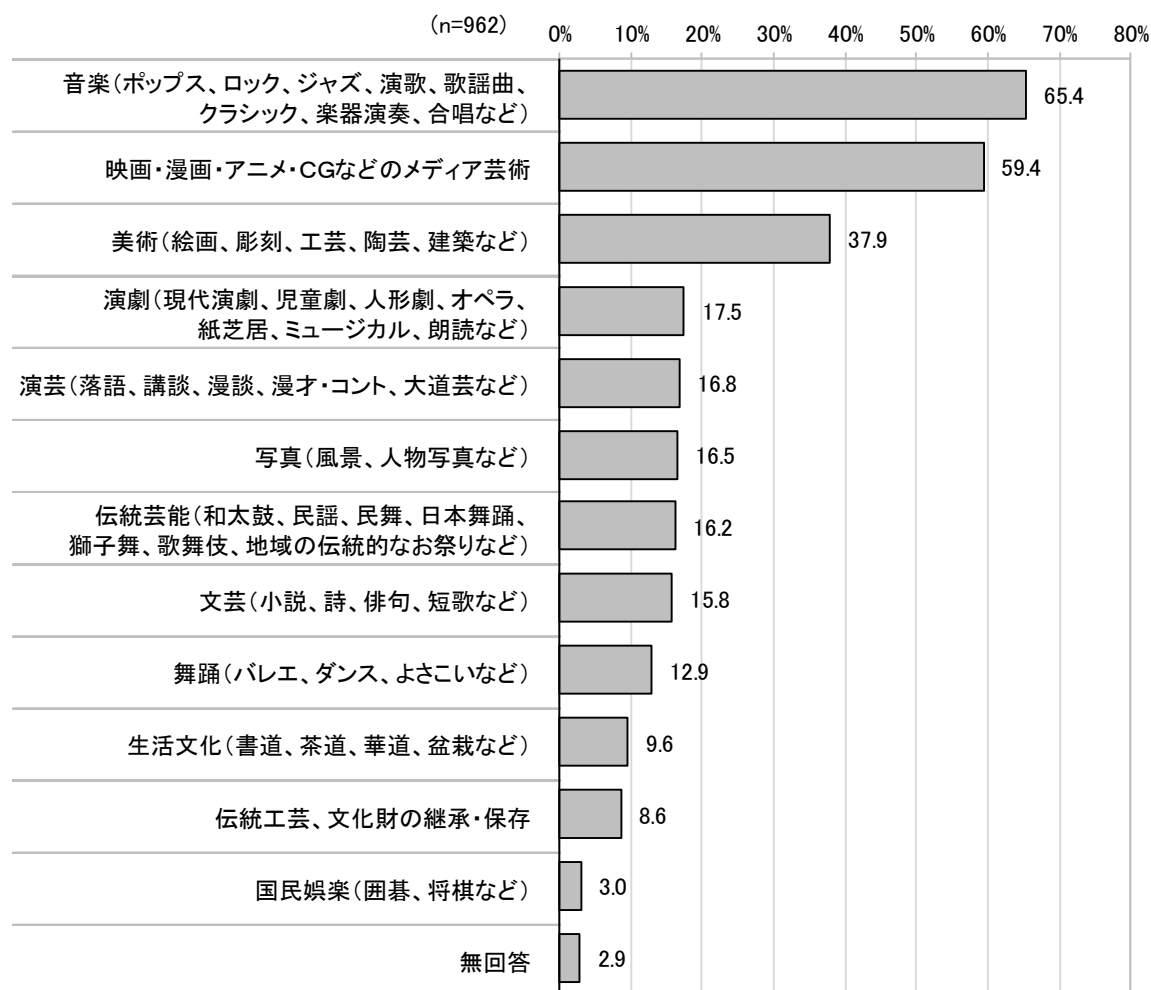
◎「音楽(ポップス、ロック、ジャズ、演歌、歌謡曲、クラシック、楽器演奏、合唱など)」が6割台半ばで最も高い

※問3でこの1年間に「1 活動と鑑賞をともに行った」又は「3 鑑賞のみ行った」と回答した方のみ

問17 この1年間に、あなたが行った文化芸術の鑑賞はどのような内容のものですか。鑑賞を行った分野すべてに○を付けてください。

この1年間に鑑賞を行った方(962人)では、「音楽(ポップス、ロック、ジャズ、演歌、歌謡曲、クラシック、楽器演奏、合唱など)」が65.4%で最も高く、次いで「映画・漫画・アニメ・CGなどのメディア芸術」(59.4%)、「美術(絵画、彫刻、工芸、陶芸、建築など)」(37.9%)と続いている。(図表3-17-1)

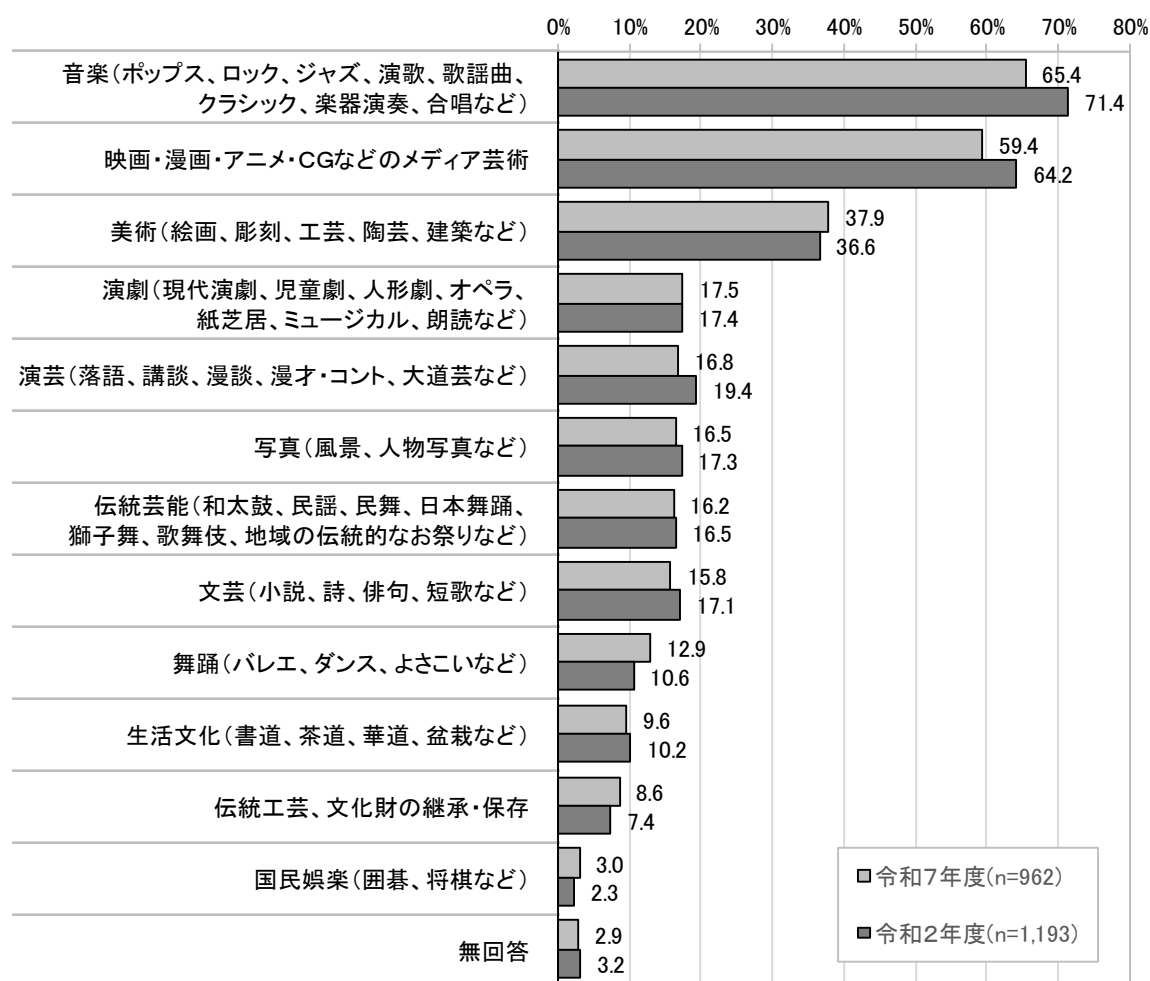
図表3-17-1 鑑賞内容(該当者全体)



【経年比較】

前回調査との比較では、「音楽（ポップス、ロック、ジャズ、演歌、歌謡曲、クラシック、楽器演奏、合唱など）」は6.0ポイント、「映画・漫画・アニメ・CGなどのメディア芸術」は4.8ポイント、それぞれ前回から減少している。（図表3-17-2）

図表3-17-2 鑑賞内容（経年比較）



【性別・年代別・居住地域別】

性別では、「舞踊（バレエ、ダンス、よさこいなど）」は8.4ポイント、「演劇（現代演劇、児童劇、人形劇、オペラ、紙芝居、ミュージカル、朗読など）」は7.2ポイント、「生活文化（書道、茶道、華道、盆栽など）」は5.6ポイントそれぞれ女性が男性に比べ高くなっている。

「写真（風景、人物写真など）」は男性が女性より4.8ポイント高くなっている。

年代別では、「音楽（ポップス、ロック、ジャズ、演歌、歌謡曲、クラシック、楽器演奏、合唱など）」は、20歳代（80.0%）が8割、40歳代（72.5%）が7割強で高くなっている。

「映画・漫画・アニメ・CGなどのメディア芸術」は、20歳代（72.5%）が7割代半ば、30歳代（72.2%）が7割強で高くなっている。

居住地域別では、「映画・漫画・アニメ・CGなどのメディア芸術」は、南部地域（68.9%）が7割弱で高くなっている。

（図表3-17-3）

図表3-17-3 鑑賞内容（性別・年代別・居住地域別）

	n	楽器演奏、合唱など	音楽（ポップス、ロック、ジャズ、演歌、歌謡曲、クラシック）	映画・漫画・アニメ・CGなどのメディア芸術	美術（絵画、彫刻、工芸、陶芸、建築など）	演劇（現代演劇、児童劇、人形劇、オペラ、紙芝居、ミュージカル、朗読など）	演芸（落語、講談、漫談、漫才、コント、大道芸など）	写真（風景、人物写真など）	日本舞踊、獅子舞、歌舞伎、地域の伝統的なお祭りなど	伝統芸能（和太鼓、民謡、民舞、文芸（小説、詩、俳句、短歌など）	舞踊（バレエ、ダンス、よさこいなど）	生活文化（書道、茶道、華道、盆栽など）	伝統工芸、文化財の継承・保存	国民娯楽（囲碁、将棋など）	無回答
全体	962	65.4	59.4	37.9	17.5	16.8	16.5	16.2	15.8	12.9	9.6	8.6	3.0	2.9	
性別	男性	369	64.5	62.3	35.5	13.0	19.5	19.5	14.9	14.9	7.9	6.2	10.3	5.7	1.6
	女性	578	66.4	58.1	40.0	20.2	15.4	14.7	17.1	16.6	16.3	11.8	7.6	1.2	3.1
	その他	4	25.0	50.0	-	25.0	25.0	-	-	-	-	-	-	25.0	-
年代別	18・19歳	17	58.8	82.4	23.5	5.9	5.9	23.5	-	23.5	17.6	5.9	5.9	-	-
	20歳代	80	80.0	72.5	35.0	22.5	17.5	21.3	8.8	20.0	13.8	7.5	12.5	3.8	1.3
	30歳代	115	66.1	72.2	41.7	20.0	15.7	20.0	12.2	20.9	13.9	7.8	8.7	1.7	0.9
	40歳代	160	72.5	66.3	30.0	16.3	14.4	16.3	19.4	14.4	18.1	7.5	5.6	5.6	1.3
	50歳代	194	68.6	60.8	35.6	17.0	17.0	13.4	12.9	14.9	10.3	7.7	8.2	1.5	2.1
	60歳代	163	62.6	64.4	43.6	20.9	17.8	16.6	17.8	15.3	14.7	9.2	10.4	1.8	1.2
	70歳以上	223	55.2	38.1	42.2	13.9	19.7	15.2	21.5	13.5	9.0	14.8	8.5	4.0	6.3
居住地域別	南部地域	103	63.1	68.9	38.8	15.5	14.6	18.4	14.6	14.6	12.6	8.7	12.6	1.0	3.9
	南西部地域	95	60.0	61.1	30.5	16.8	15.8	16.8	17.9	14.7	17.9	7.4	4.2	1.1	3.2
	西部地域	111	66.7	54.1	36.9	15.3	15.3	12.6	23.4	21.6	16.2	10.8	6.3	1.8	1.8
	県央地域	80	71.3	60.0	37.5	11.3	18.8	23.8	10.0	16.3	12.5	6.3	7.5	3.8	1.3
	秩父地域	8	75.0	37.5	25.0	12.5	25.0	-	25.0	12.5	12.5	12.5	25.0	-	-
	県北地域	77	61.0	49.4	44.2	18.2	24.7	16.9	23.4	10.4	6.5	13.0	7.8	2.6	5.2
	東部地域	131	69.5	62.6	35.1	16.8	19.1	10.7	15.3	13.7	16.0	7.6	9.2	1.5	3.1
	利根地域	72	72.2	61.1	48.6	13.9	16.7	20.8	15.3	16.7	6.9	11.1	15.3	6.9	1.4
	川越比企地域	102	69.6	65.7	32.4	20.6	14.7	9.8	18.6	13.7	12.7	7.8	7.8	4.9	1.0
さいたま地域	172	60.5	56.4	41.9	22.7	15.1	21.5	10.5	18.0	11.0	12.2	7.6	4.1	2.3	

(18) 鑑賞を始めたきっかけ

◎「個人的に興味湧いたため」が7割台半ばで最も高い

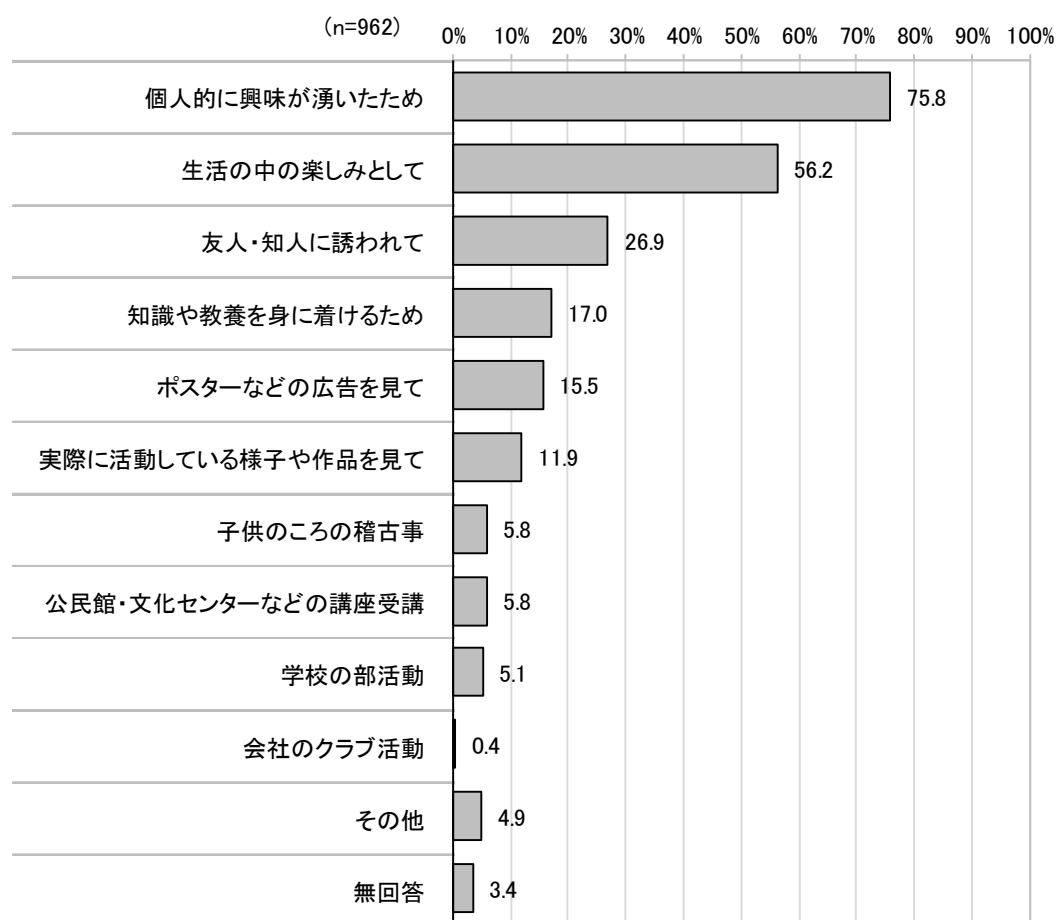
※問3でこの1年間に「1 活動と鑑賞をともに行った」又は「3 鑑賞のみ行った」と回答した方のみ

問18 あなたが文化芸術の鑑賞を始めたきっかけはどのような理由からですか。該当する番号すべてに○を付けてください。

この1年間に鑑賞を行った方（962人）では、「個人的に興味湧いたため」が75.8%で最も高く、次いで「生活の中の楽しみとして」（56.2%）、「友人・知人に誘われて」（26.9%）と続いている。

（図表3-18-1）

図表3-18-1 鑑賞を始めたきっかけ（該当者全体）

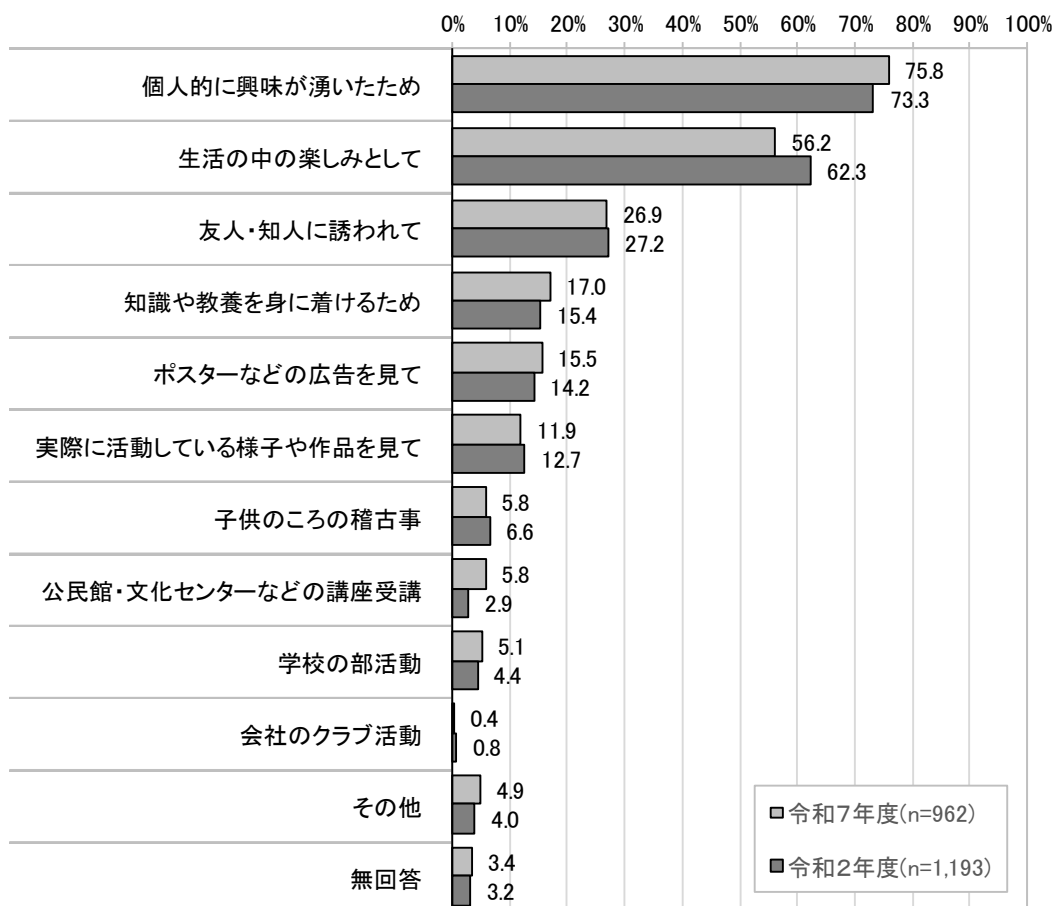


【経年比較】

前回調査との比較では、「生活の中の楽しみとして」は前回から6.1ポイント減少している。

(図表3-18-2)

図表3-18-2 鑑賞を始めたきっかけ（経年比較）



【性別・年代別・居住地域別】

性別では、「友人・知人に誘われて」は女性が男性より9.4ポイント高くなっている。

年代別では、「個人的に興味を湧いたため」は20歳代（88.8%）が9割弱で高くなっている。

「知識や教養を身に着けるため」は20歳代（31.3%）が3割強で他の年代に比べ高くなっている。

居住地域別では、「個人的に興味を湧いたため」は県央地域（83.8%）、川越比企地域（83.3%）が8割台半ばで高くなっている。

（図表3-18-3）

図表3-18-3 鑑賞を始めたきっかけ（性別・年代別・居住地域別）

		n	個人的に興味を湧いたため	生活の中の楽しみとして	友人・知人に誘われて	知識や教養を身に着けるため	ポスターなどの広告を見て	実際に活動している様子や作品を見て	子供のころの稽古事	受講 公民館・文化センターなどの講座	学校の部活動	会社のクラブ活動	その他	無回答
全体		962	75.8	56.2	26.9	17.0	15.5	11.9	5.8	5.8	5.1	0.4	4.9	3.4
性別	男性	369	78.9	53.7	21.4	19.2	16.0	9.2	3.0	5.1	4.6	0.3	4.3	2.2
	女性	578	74.6	58.3	30.8	16.1	15.6	13.7	7.6	6.2	5.5	0.3	5.2	3.6
	その他	4	50.0	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	25.0	-	-
年代別	18・19歳	17	88.2	47.1	17.6	5.9	5.9	5.9	-	-	29.4	-	5.9	-
	20歳代	80	88.8	57.5	26.3	31.3	11.3	10.0	8.8	-	12.5	-	6.3	-
	30歳代	115	81.7	55.7	23.5	13.9	18.3	16.5	7.0	1.7	7.8	-	3.5	1.7
	40歳代	160	76.9	51.9	21.9	16.3	14.4	13.8	7.5	3.8	5.0	0.6	6.9	1.3
	50歳代	194	79.4	58.2	26.3	14.4	12.4	10.8	5.2	2.6	2.6	1.0	3.1	2.1
	60歳代	163	77.9	57.7	27.6	17.8	16.0	14.1	4.3	8.6	3.7	0.6	7.4	1.2
	70歳以上	223	63.2	57.8	34.5	17.5	20.2	8.5	4.9	12.6	2.7	-	3.1	8.5
居住地域別	南部地域	103	76.7	51.5	22.3	12.6	21.4	10.7	1.9	4.9	2.9	-	5.8	3.9
	南西部地域	95	73.7	49.5	31.6	18.9	12.6	6.3	8.4	5.3	12.6	-	4.2	4.2
	西部地域	111	75.7	66.7	29.7	17.1	16.2	17.1	3.6	8.1	2.7	-	1.8	1.8
	県央地域	80	83.8	58.8	17.5	16.3	15.0	20.0	7.5	7.5	5.0	-	5.0	1.3
	秩父地域	8	62.5	62.5	12.5	37.5	25.0	-	12.5	12.5	-	-	12.5	-
	県北地域	77	72.7	53.2	29.9	14.3	6.5	10.4	7.8	10.4	6.5	1.3	3.9	3.9
	東部地域	131	73.3	58.8	27.5	20.6	12.2	7.6	6.9	3.8	4.6	-	7.6	3.8
	利根地域	72	73.6	58.3	26.4	23.6	15.3	15.3	9.7	2.8	9.7	1.4	4.2	1.4
	川越比企地域	102	83.3	54.9	28.4	6.9	21.6	9.8	2.0	4.9	2.0	2.0	-	2.9
さいたま地域	172	74.4	55.2	29.1	20.3	16.3	12.2	5.2	5.2	4.1	-	7.6	3.5	

(19) 鑑賞を行う上で困っていること

◎「鑑賞費用の出費」が約4割で最も高い

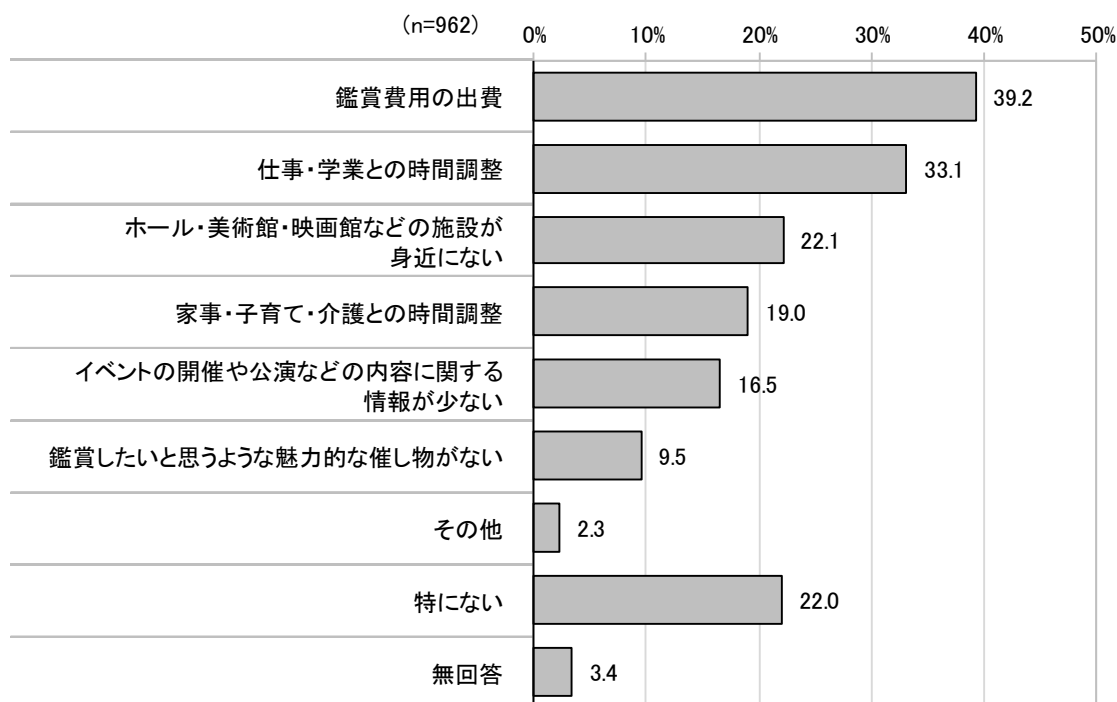
※問3でこの1年間に「1 活動と鑑賞をともに行った」又は「3 鑑賞のみ行った」と回答した方のみ

問19 あなたが鑑賞を行う上で困っていることは、どのようなことですか。該当する番号すべてに○を付けてください。

この1年間に鑑賞を行った方（962人）では、「鑑賞費用の出費」が39.2%で最も高く、次いで「仕事・学業との時間調整」（33.1%）、「ホール・美術館・映画館などの施設が身近にない」（22.1%）と続いている。

また、「特にない」は22.0%となっている。（図表3-19-1）

図表3-19-1 鑑賞を行う上で困っていること（該当者全体）



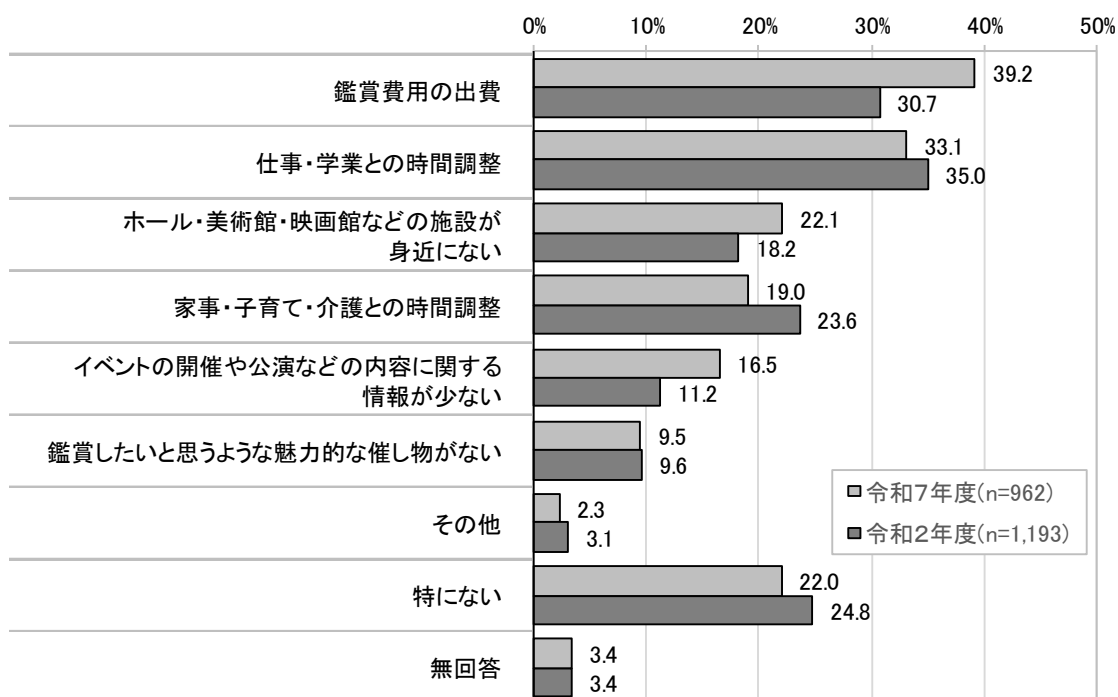
【経年比較】

前回調査との比較では、「鑑賞費用の出費」は前回から8.5ポイント、「イベントの開催や公演などの内容に関する情報が少ない」は前回から5.3ポイント、それぞれ増加している。

「家事・子育て・介護との時間調整」は前回から4.6ポイント減少している。

(図表3-19-2)

図表3-19-2 鑑賞を行う上で困っていること（経年比較）



【性別・年代別・居住地域別】

性別では、「家事・子育て・介護との時間調整」は16.1ポイント、「鑑賞費用の出費」は11.9ポイント、それぞれ女性が男性より高くなっている。

「特にない」は男性が女性よりも7.1ポイント高くなっている。

年代別では、「鑑賞費用の出費」は30歳代（50.4%）、20歳代（50.0%）が約5割で高くなっている。「仕事・学業との時間調整」は20歳代（53.8%）が5割台半ば、50歳代（47.4%）、40歳代（43.8%）が4割台半ばで高くなっている。

居住地域別では、大きな傾向の違いはみられない。

(図表3-19-3)

図表3-19-3 鑑賞を行う上で困っていること（性別・年代別・居住地域別）

	n	鑑賞費用の出費	仕事・学業との時間調整	ホール・美術館・映画館などの施設が身近にない	家事・子育て・介護との時間調整	イベントの開催や公演などの内容に関する情報が少ない	鑑賞したいと思うような魅力的な催し物がない	その他	特にない	無回答	
全体	962	39.2	33.1	22.1	19.0	16.5	9.5	2.3	22.0	3.4	
性別	男性	369	32.2	35.0	22.5	9.5	16.5	11.7	3.5	26.3	2.2
	女性	578	44.1	31.7	22.1	25.6	16.8	8.3	1.6	19.2	3.6
	その他	4	25.0	50.0	25.0	-	-	-	-	25.0	-
年代別	18・19歳	17	64.7	23.5	23.5	-	-	5.9	-	17.6	-
	20歳代	80	50.0	53.8	21.3	6.3	15.0	7.5	-	16.3	-
	30歳代	115	50.4	40.0	18.3	36.5	15.7	15.7	0.9	13.9	0.9
	40歳代	160	43.1	43.8	21.9	36.9	15.0	8.8	2.5	15.6	0.6
	50歳代	194	43.3	47.4	21.6	22.7	17.5	8.2	1.0	18.0	2.1
	60歳代	163	36.8	29.4	24.5	11.0	12.9	9.8	4.9	27.0	0.6
	70歳以上	223	23.8	4.9	23.8	6.7	22.0	9.0	3.1	33.2	9.9
居住地域別	南部地域	103	37.9	35.9	20.4	20.4	19.4	11.7	2.9	20.4	2.9
	南西部地域	95	42.1	34.7	20.0	20.0	11.6	7.4	2.1	26.3	3.2
	西部地域	111	40.5	29.7	24.3	22.5	18.0	10.8	0.9	19.8	1.8
	県央地域	80	41.3	32.5	30.0	23.8	22.5	12.5	1.3	21.3	3.8
	秩父地域	8	12.5	-	37.5	-	12.5	-	-	37.5	-
	県北地域	77	44.2	37.7	31.2	23.4	16.9	6.5	-	14.3	5.2
	東部地域	131	36.6	32.1	15.3	14.5	7.6	9.9	1.5	25.2	3.8
	利根地域	72	40.3	26.4	27.8	12.5	18.1	6.9	5.6	13.9	2.8
	川越比企地域	102	37.3	35.3	24.5	18.6	15.7	9.8	3.9	28.4	2.0
さいたま地域	172	39.0	34.3	16.9	19.8	21.5	9.9	2.9	22.7	2.9	

(20) 活動していない理由

◎「活動に参加するきっかけがない」が3割台半ばで最も高い

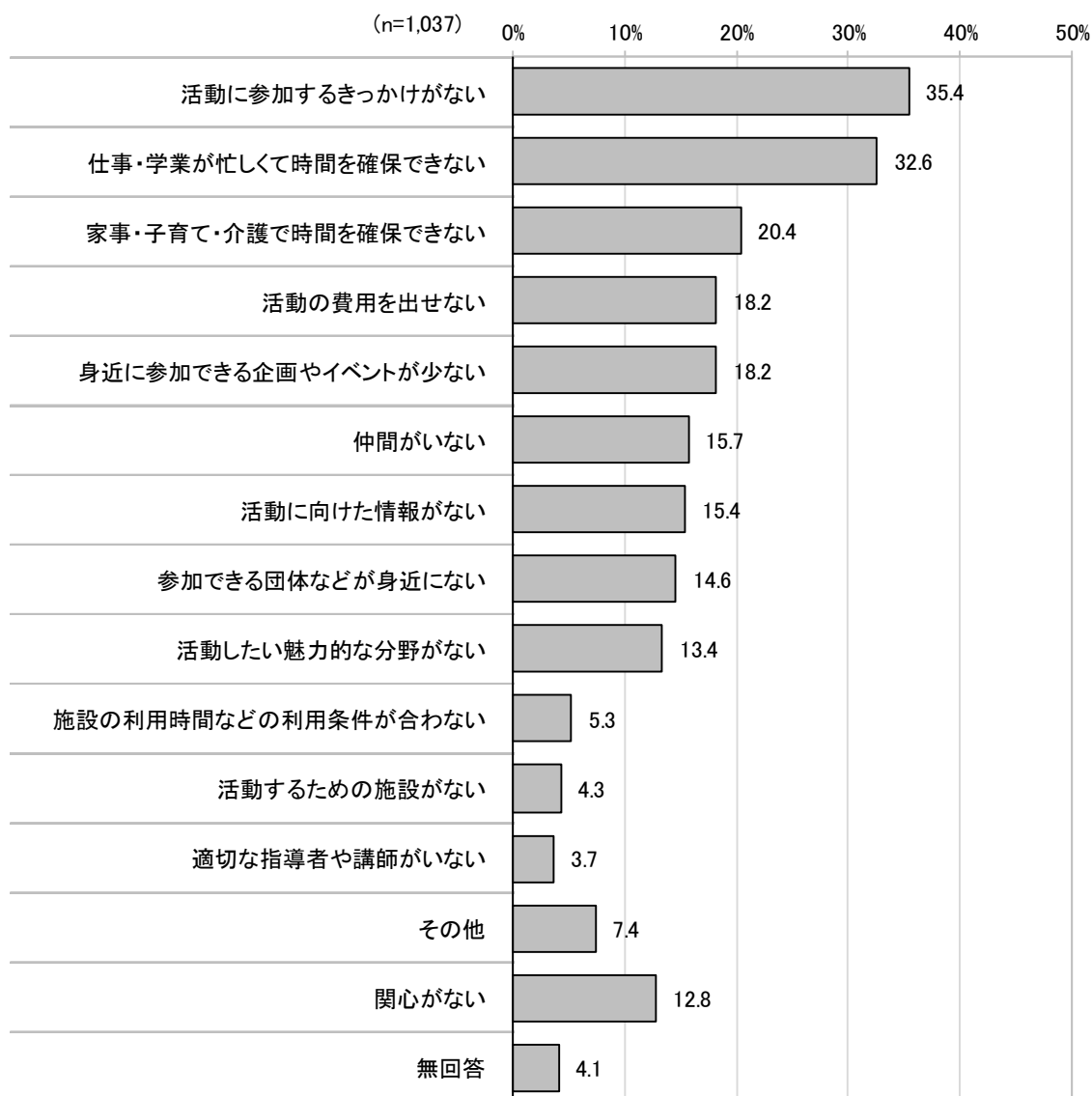
※問3でこの1年間に「3 鑑賞のみ行った」又は「4 活動や鑑賞をともに行わなかった」と回答した方のみ

問20 あなたが文化芸術活動をすることができない（していない）理由はどうしてですか。該当する番号すべてに○を付けてください。

この1年間に活動を行っていない方（1,037人）では、「活動に参加するきっかけがない」が35.4%で最も高く、次いで「仕事・学業が忙しくて時間を確保できない」（32.6%）、「家事・子育て・介護で時間を確保できない」（20.4%）と続いている。

また、「関心がない」は12.8%となっている。（図表3-20-1）

図表3-20-1 活動していない理由（該当者全体）



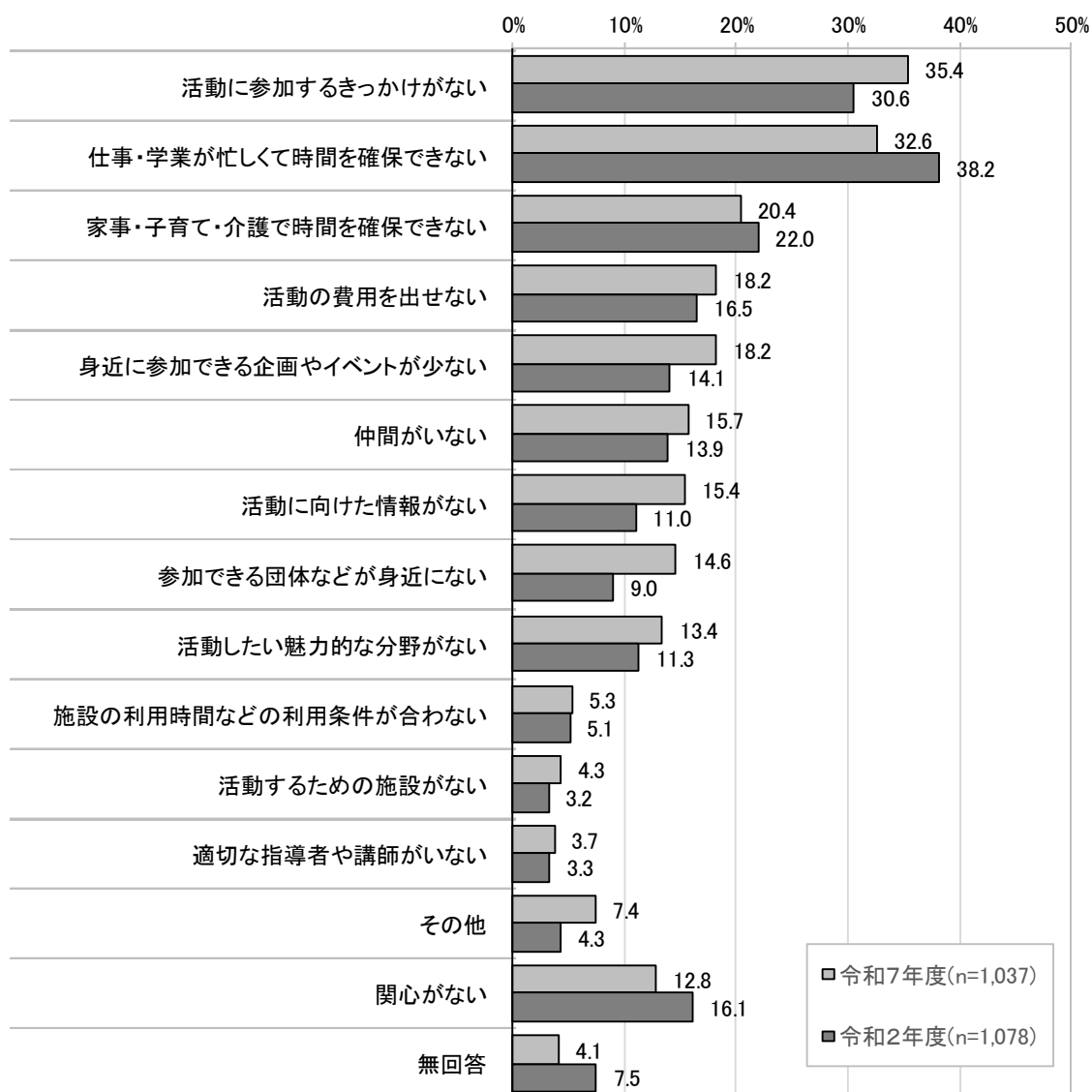
【経年比較】

前回調査との比較では、「参加できる団体などが身近にない」は5.6ポイント、「活動に参加するきっかけがない」は4.8ポイント、「活動に向けた情報がない」は4.4ポイント、「身近に参加できる企画やイベントが少ない」は4.1ポイント、それぞれ前回から増加している。

「仕事・学業が忙しくて時間を確保できない」は前回から5.6ポイント減少している。

(図表3-20-2)

図表3-20-2 活動していない理由（経年比較）



【性別・年代別・居住地域別】

性別では、「仲間がいない」は4.8ポイント、「仕事・学業が忙しくて時間を確保できない」は4.5ポイント、それぞれ男性が女性よりも高くなっている。

「家事・子育て・介護で時間を確保できない」は女性が男性よりも16.8ポイント高くなっている。

年代別では、40歳代は「仕事・学業が忙しくて時間を確保できない」(48.5%)が5割弱、「家事・子育て・介護で時間を確保できない」(43.6%)が4割台半ばで、それぞれ高くなっている。

居住地域別では、大きな傾向の違いはみられない。

(図表3-20-3)

図表3-20-3 活動していない理由（性別・年代別・居住地域別）

	n	活動に参加するきっかけがない	仕事・学業が忙しくて時間を確保できない	家事・子育て・介護で時間を確保できない	活動の費用を出せない	身近に参加できる企画やイベントが少くない	仲間がいない	活動に向けた情報がない	参加できる団体などが身近にない	活動したい魅力的な分野がない	施設の利用時間などの利用条件が合わない	活動するための施設がない	適切な指導者や講師がない	その他	関心がない	無回答	
全体	1,037	35.4	32.6	20.4	18.2	18.2	15.7	15.4	14.6	13.4	5.3	4.3	3.7	7.4	12.8	4.1	
性別	男性	463	35.0	35.2	11.4	17.7	18.6	18.4	16.0	14.3	14.5	6.0	5.6	4.8	8.0	16.4	2.8
	女性	557	35.7	30.7	28.2	18.9	18.0	13.6	15.3	15.1	12.6	4.7	3.4	2.9	7.2	9.5	4.8
	その他	4	50.0	50.0	25.0	25.0	25.0	25.0	-	25.0	-	-	-	-	-	-	-
年代別	18・19歳	15	40.0	53.3	-	13.3	20.0	6.7	13.3	33.3	20.0	-	-	6.7	6.7	20.0	-
	20歳代	60	28.3	45.0	6.7	21.7	18.3	16.7	6.7	10.0	13.3	6.7	5.0	5.0	5.0	16.7	5.0
	30歳代	115	40.0	40.9	33.9	19.1	19.1	16.5	7.0	9.6	13.9	5.2	2.6	3.5	1.7	12.2	5.2
	40歳代	165	28.5	48.5	43.6	26.7	10.3	13.9	10.3	7.9	9.1	4.2	2.4	0.6	4.2	9.1	2.4
	50歳代	209	34.9	43.1	21.1	18.7	15.3	15.8	15.8	15.3	16.3	5.3	2.9	3.3	7.2	11.0	2.9
	60歳代	183	37.2	32.8	13.1	17.5	24.0	14.8	24.6	21.3	19.1	6.6	6.0	3.3	9.8	10.9	3.3
	70歳以上	278	38.1	8.6	10.4	12.9	21.2	17.6	18.0	16.2	9.4	5.0	6.5	5.8	11.2	15.8	5.4
居住地域別	南部地域	113	31.9	31.9	19.5	16.8	17.7	16.8	11.5	18.6	15.9	6.2	5.3	4.4	5.3	15.0	3.5
	南西部地域	108	34.3	31.5	24.1	21.3	12.0	11.1	11.1	9.3	12.0	7.4	1.9	5.6	10.2	9.3	5.6
	西部地域	105	39.0	33.3	22.9	13.3	22.9	13.3	13.3	14.3	11.4	4.8	1.9	1.9	9.5	12.4	1.0
	県央地域	82	32.9	34.1	22.0	23.2	26.8	13.4	22.0	15.9	11.0	4.9	3.7	2.4	4.9	9.8	6.1
	秩父地域	10	10.0	20.0	10.0	30.0	10.0	-	10.0	10.0	10.0	10.0	-	-	30.0	40.0	-
	県北地域	79	31.6	36.7	20.3	12.7	16.5	19.0	12.7	12.7	17.7	7.6	7.6	2.5	3.8	10.1	6.3
	東部地域	147	34.0	37.4	21.1	20.4	15.6	11.6	17.7	16.3	12.9	4.8	6.1	6.1	8.8	12.9	4.1
	利根地域	78	44.9	30.8	20.5	21.8	23.1	23.1	24.4	23.1	14.1	3.8	7.7	3.8	6.4	12.8	1.3
	川越比企地域	113	36.3	33.6	15.9	20.4	20.4	16.8	15.0	11.5	10.6	5.3	4.4	1.8	6.2	13.3	5.3
さいたま地域	190	36.8	28.9	21.1	16.3	16.3	19.5	15.3	13.7	14.7	4.2	3.2	3.7	7.9	13.2	3.2	

(21) 今後の活動意向の有無

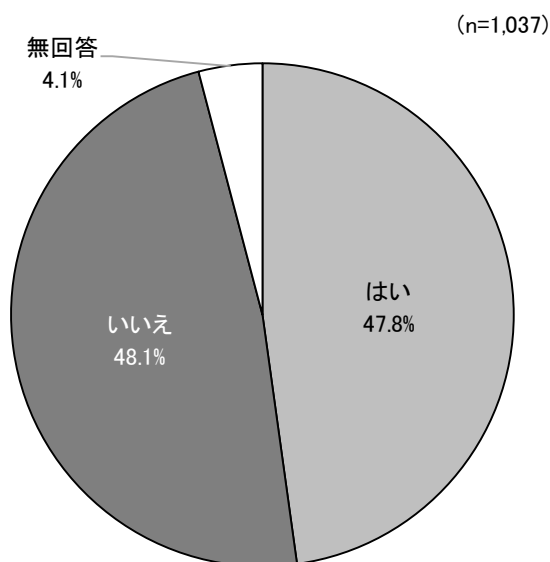
◎「はい(今後の活動意向あり)」は5割弱

※問3で「3 鑑賞のみ行った」又は「4 活動や鑑賞をともに行わなかった」と回答した方のみ

問21 あなたは、今後、文化芸術活動を行いたいと思いますか。該当する番号1つに○を付けてください。

この1年間に活動を行っていない方(1,037人)では、「はい」は47.8%となっている。一方「いいえ」は48.1%となっている。(図表3-21-1)

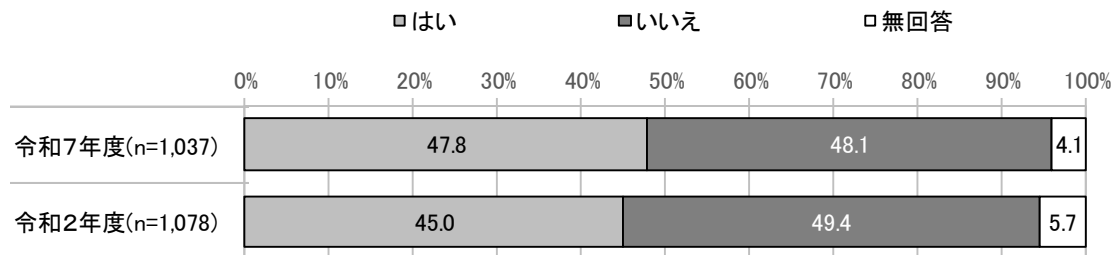
図表3-21-1 今後の活動意向の有無(該当者全体)



【経年比較】

前回調査から大きな変化はみられない。(図表3-21-2)

図表3-21-2 今後の活動意向の有無(経年比較)



【性別・年代別・居住地域別】

性別では、「はい」は女性が男性より7.2ポイント高くなっている。

一方「いいえ」は男性が女性よりも9.8ポイント高くなっている。

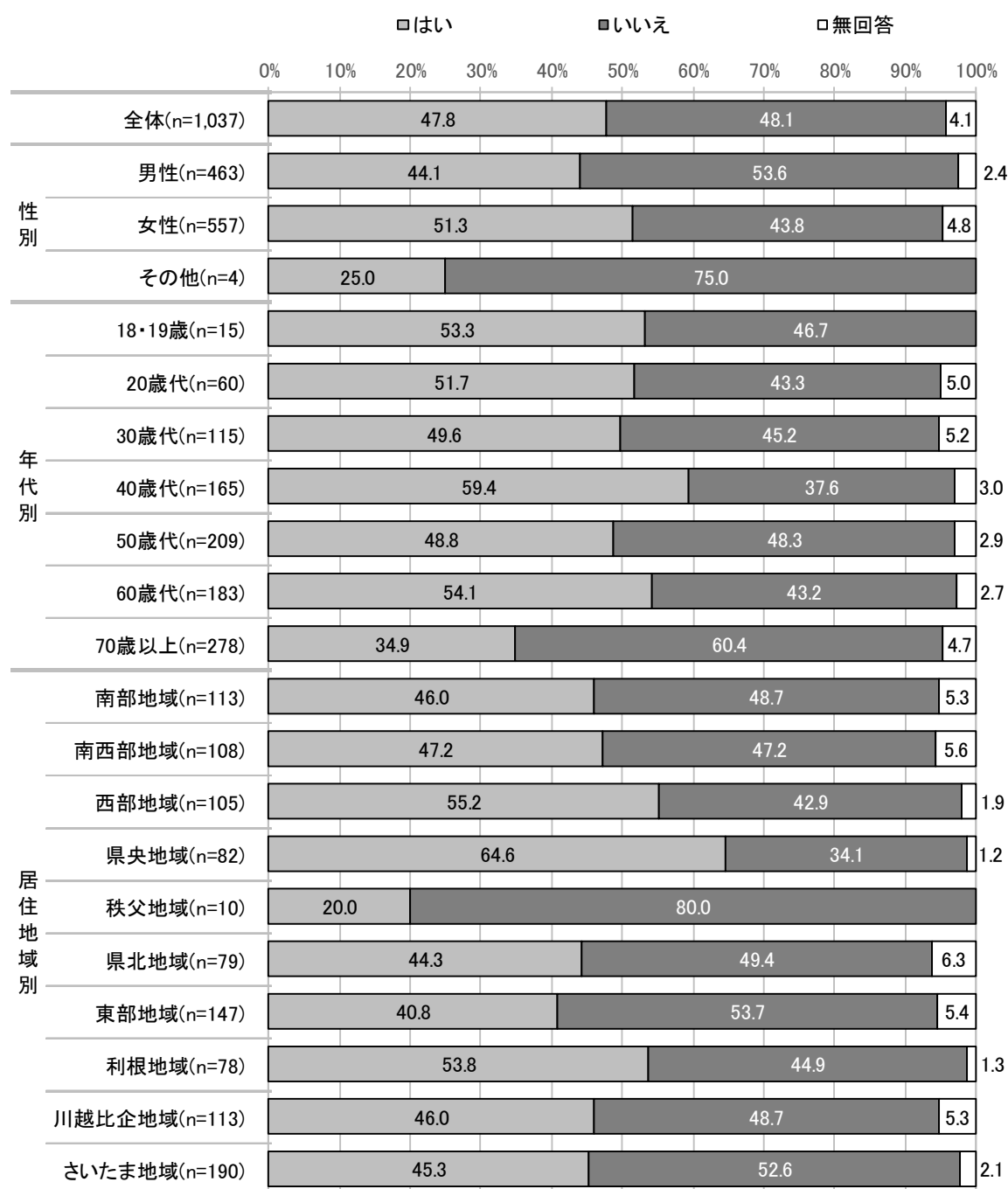
年代別では、「はい」は40歳代（59.4%）が約6割で高くなっている。

一方「いいえ」は70歳以上（60.4%）が約6割で高くなっている。

居住地域別では、「はい」は県央地域（64.6%）が6割台半ばで高くなっている。

（図表3-21-3）

図表3-21-3 今後の活動意向の有無（性別・年代別・居住地域別）



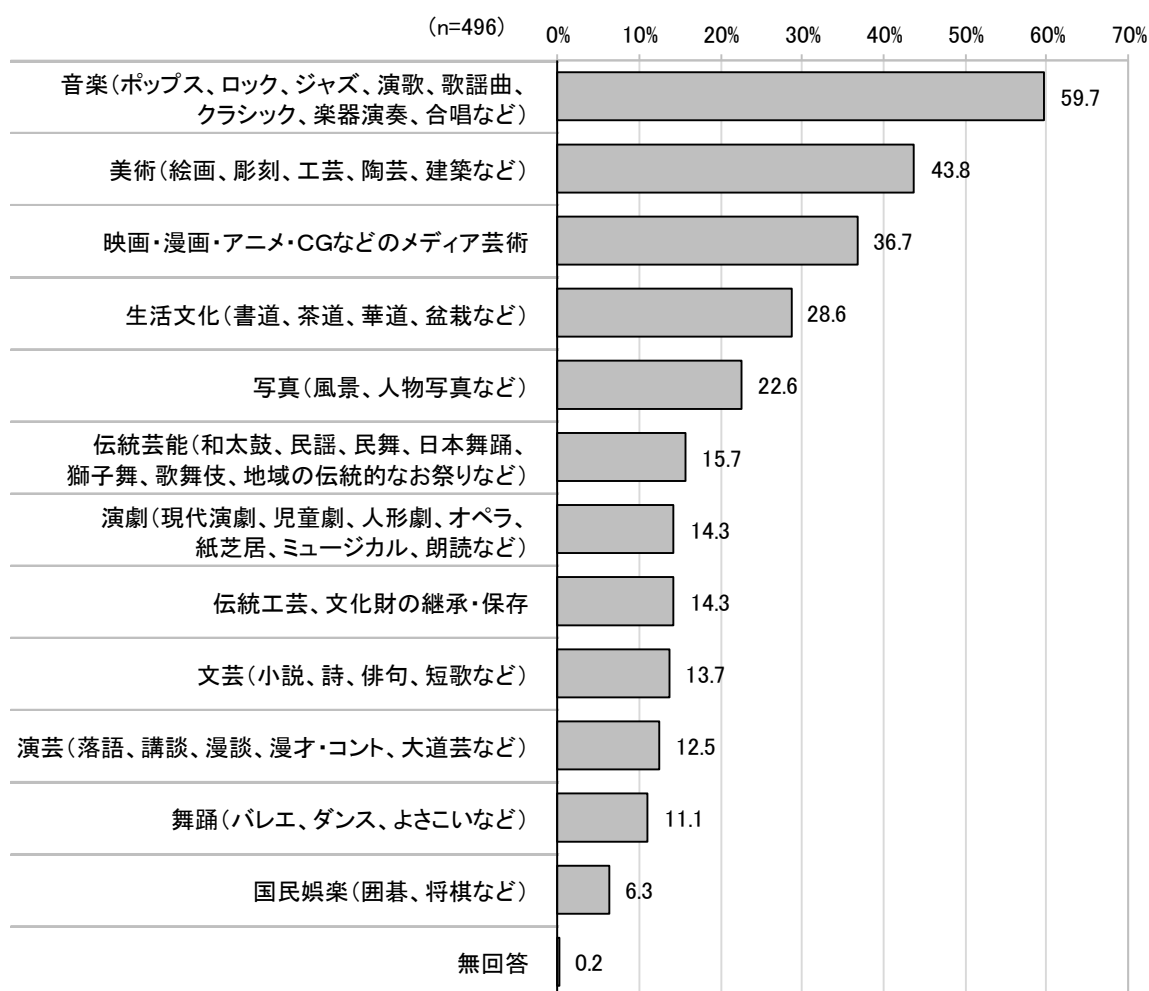
(22) 今後行いたい活動の分野

◎「音楽(ポップス、ロック、ジャズ、演歌、歌謡曲、クラシック、楽器演奏、合唱など)」が約6割で最も高い

※問3で「3 鑑賞のみ行った」又は「4 活動や鑑賞をともに行わなかった」と回答した方で、問21で「1 はい」と回答した方のみ
 問22 今後、行いたい文化芸術活動はどのようなものですか。興味がある分野すべてに○を付けてください。

この1年間に活動を行っていない方で今後の活動意向ありの方(496人)では、「音楽(ポップス、ロック、ジャズ、演歌、歌謡曲、クラシック、楽器演奏、合唱など)」が59.7%で最も高く、次いで「美術(絵画、彫刻、工芸、陶芸、建築など)」(43.8%)、「映画・漫画・アニメ・CGなどのメディア芸術」(36.7%)と続いている。(図表3-22-1)

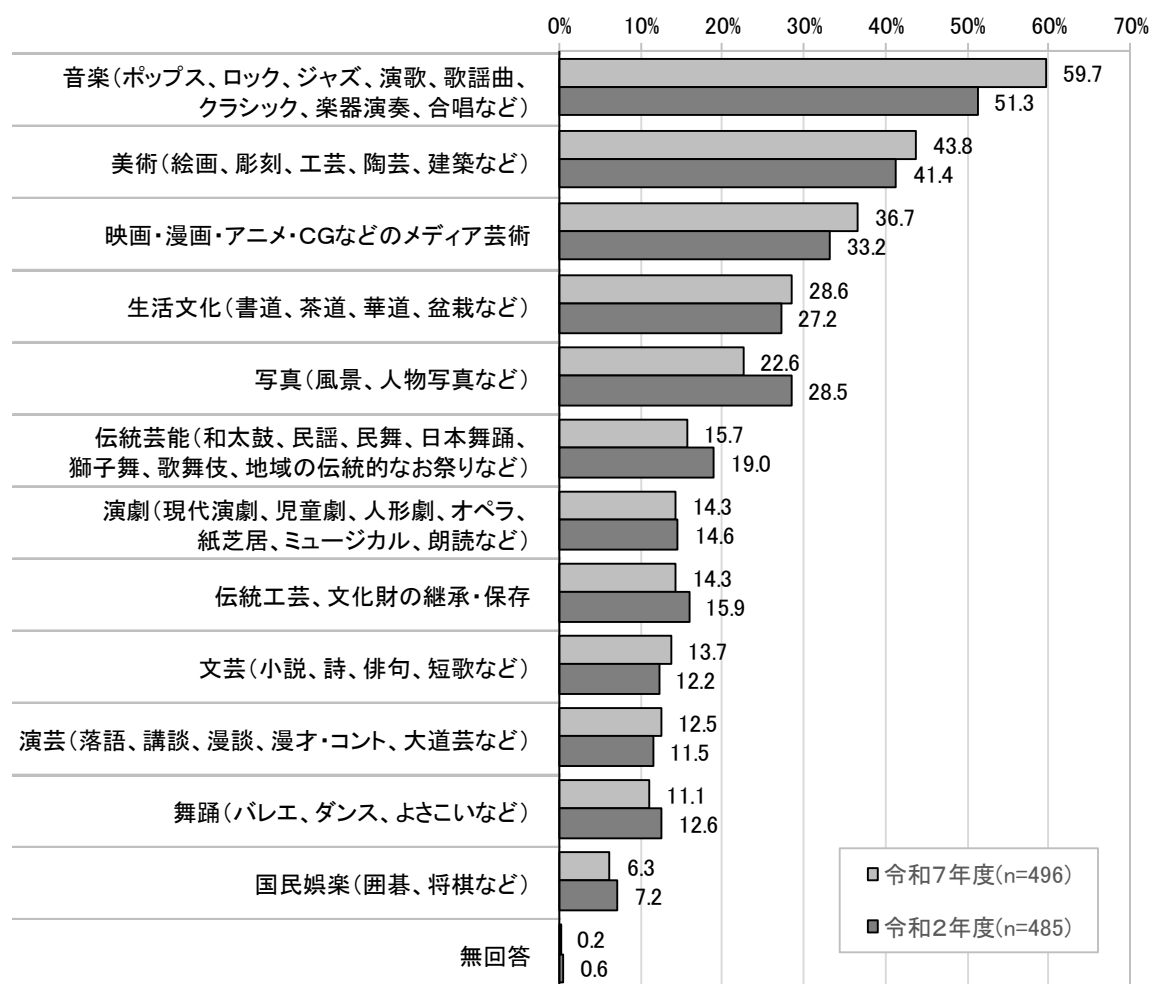
図表3-22-1 今後行いたい活動の分野(該当者全体)



【経年比較】

前回調査との比較では、「音楽（ポップス、ロック、ジャズ、演歌、歌謡曲、クラシック、楽器演奏、合唱など）」は前回から8.4ポイント増加し、「写真（風景、人物写真など）」は前回から5.9ポイント減少している。（図表3-22-2）

図表3-22-2 今後行いたい活動の分野（経年比較）



【性別・年代別・居住地域別】

性別では、「映画・漫画・アニメ・CGなどのメディア芸術」は17.2ポイント、「写真（風景、人物写真など）」は11.1ポイント、「演芸（落語、講談、漫談、漫才・コント、大道芸など）」は5.9ポイント、それぞれ男性が女性より高くなっている。

「生活文化（書道、茶道、華道、盆栽など）」は19.1ポイント、「舞踊（バレエ、ダンス、よさこいなど）」は13.4ポイント、「伝統芸能（和太鼓、民謡、民舞、日本舞踊、獅子舞、歌舞伎、地域の伝統的なお祭りなど）」は6.2ポイント、それぞれ女性が男性より高くなっている。

年代別、居住地域別では、大きな傾向の違いはみられない。

(図表3-22-3)

図表3-22-3 今後行いたい活動の分野（性別・年代別・居住地域別）

	n	楽器演奏、演奏、歌謡曲、クラシック、ジャズ、音楽（ポップス、ロック、ジャズなど）	美術（絵画、彫刻、工芸、陶芸、建築など）	映画・漫画・アニメ・CGなどのメディア芸術	生活文化（書道、茶道、華道、盆栽など）	写真（風景、人物写真など）	日本舞踊、獅子舞、歌舞伎、地域の伝統的なお祭りなど	伝統芸能（和太鼓、民謡、民舞、朗読など）	演劇（現代演劇、児童劇、人形劇、オペラ、紙芝居、ミュージカル）	伝統工芸、文化財の継承・保存	文芸（小説、詩、俳句、短歌など）	演芸（落語、講談、漫談、漫才・コント、大道芸など）	舞踊（バレエ、ダンス、よさこいなど）	国民娯楽（囲碁、将棋など）	無回答
全体	496	59.7	43.8	36.7	28.6	22.6	15.7	14.3	14.3	13.7	12.5	11.1	6.3	0.2	
性別	男性	204	60.3	41.7	46.6	17.6	28.9	12.3	11.8	15.2	14.2	15.7	3.4	9.3	-
	女性	286	59.4	45.1	29.4	36.7	17.8	18.5	15.4	13.3	13.3	9.8	16.8	3.8	0.3
	その他	1	-	100.0	100.0	-	-	-	100.0	100.0	-	100.0	-	100.0	-
年代別	18・19歳	8	75.0	12.5	75.0	12.5	-	-	12.5	12.5	-	12.5	-	-	-
	20歳代	31	58.1	35.5	22.6	29.0	32.3	12.9	3.2	6.5	16.1	6.5	9.7	6.5	-
	30歳代	57	63.2	45.6	47.4	17.5	24.6	14.0	17.5	10.5	10.5	10.5	12.3	5.3	-
	40歳代	98	62.2	38.8	43.9	30.6	19.4	18.4	14.3	10.2	13.3	14.3	16.3	5.1	-
	50歳代	102	58.8	49.0	35.3	37.3	18.6	12.7	11.8	17.6	12.7	15.7	12.7	6.9	1.0
	60歳代	99	60.6	43.4	36.4	28.3	28.3	13.1	16.2	15.2	13.1	11.1	11.1	4.0	-
	70歳以上	97	53.6	48.5	25.8	25.8	20.6	22.7	16.5	19.6	17.5	12.4	5.2	10.3	-
居住地域別	南部地域	52	61.5	46.2	46.2	23.1	23.1	15.4	15.4	17.3	13.5	9.6	11.5	7.7	-
	南西部地域	51	58.8	41.2	41.2	19.6	23.5	11.8	13.7	15.7	13.7	7.8	15.7	7.8	2.0
	西部地域	58	58.6	46.6	31.0	27.6	25.9	17.2	13.8	17.2	19.0	12.1	15.5	8.6	-
	県央地域	53	66.0	49.1	39.6	24.5	20.8	20.8	9.4	7.5	11.3	17.0	7.5	3.8	-
	秩父地域	2	-	-	-	100.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-
	県北地域	35	62.9	40.0	31.4	37.1	14.3	20.0	20.0	14.3	2.9	8.6	17.1	5.7	-
	東部地域	60	61.7	46.7	36.7	26.7	21.7	16.7	18.3	16.7	15.0	23.3	11.7	5.0	-
	利根地域	42	59.5	40.5	33.3	33.3	21.4	9.5	7.1	9.5	14.3	9.5	-	9.5	-
	川越比企地域	52	67.3	50.0	40.4	36.5	19.2	15.4	19.2	23.1	9.6	15.4	9.6	9.6	-
さいたま地域	86	50.0	38.4	31.4	30.2	26.7	15.1	12.8	10.5	17.4	9.3	11.6	2.3	-	

(23) 鑑賞していない理由

◎「仕事・学業が忙しくて時間を確保できない」が3割弱で最も高い

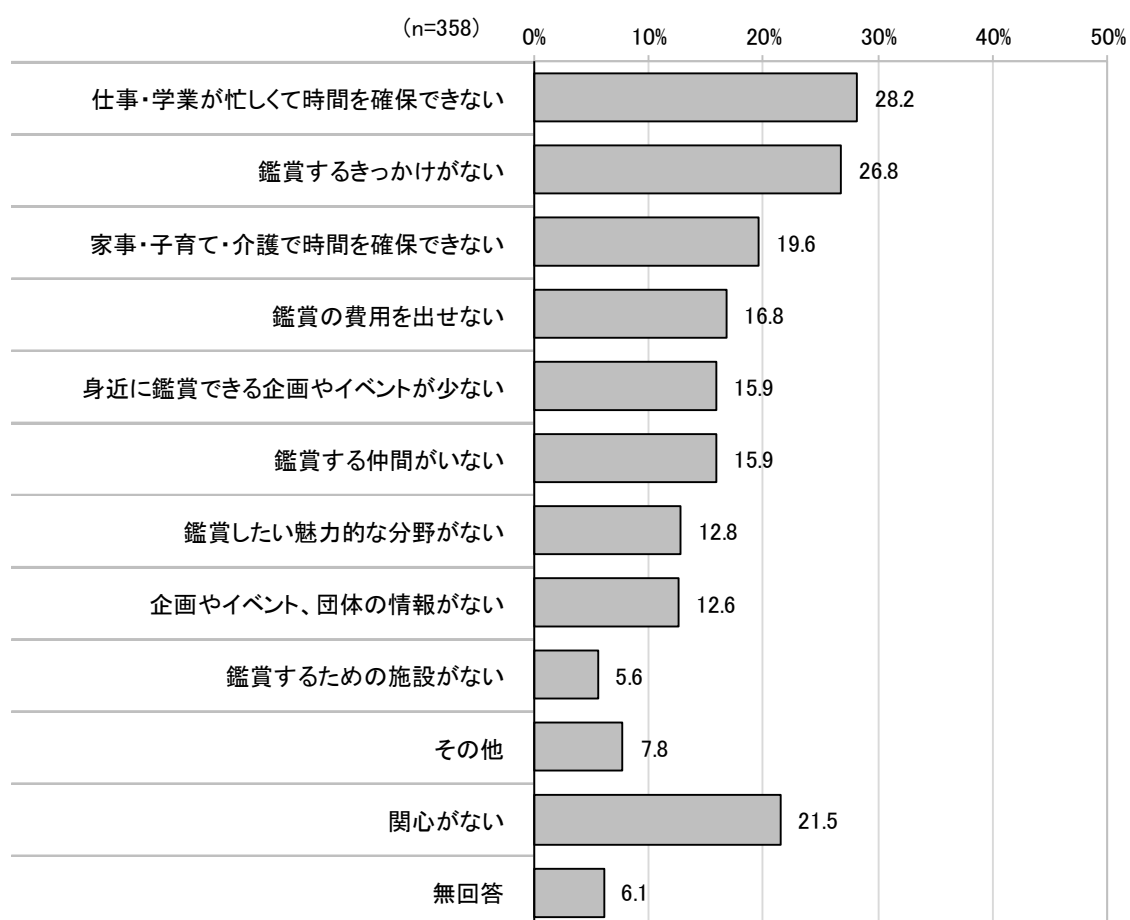
※問3で「4 活動や鑑賞をともに行わなかった」と回答した方のみ

問23 あなたが、文化芸術を鑑賞することができない（していない）理由はどうしてですか。
該当する番号すべてに○を付けてください。

この1年間に活動や鑑賞をともにを行わなかった方（358人）では、「仕事・学業が忙しくて時間を確保できない」が28.2%で最も高く、次いで「鑑賞するきっかけがない」（26.8%）、「家事・子育て・介護で時間を確保できない」（19.6%）と続いている。

また、「関心がない」は21.5%となっている。（図表3-23-1）

図表3-23-1 鑑賞していない理由（該当者全体）



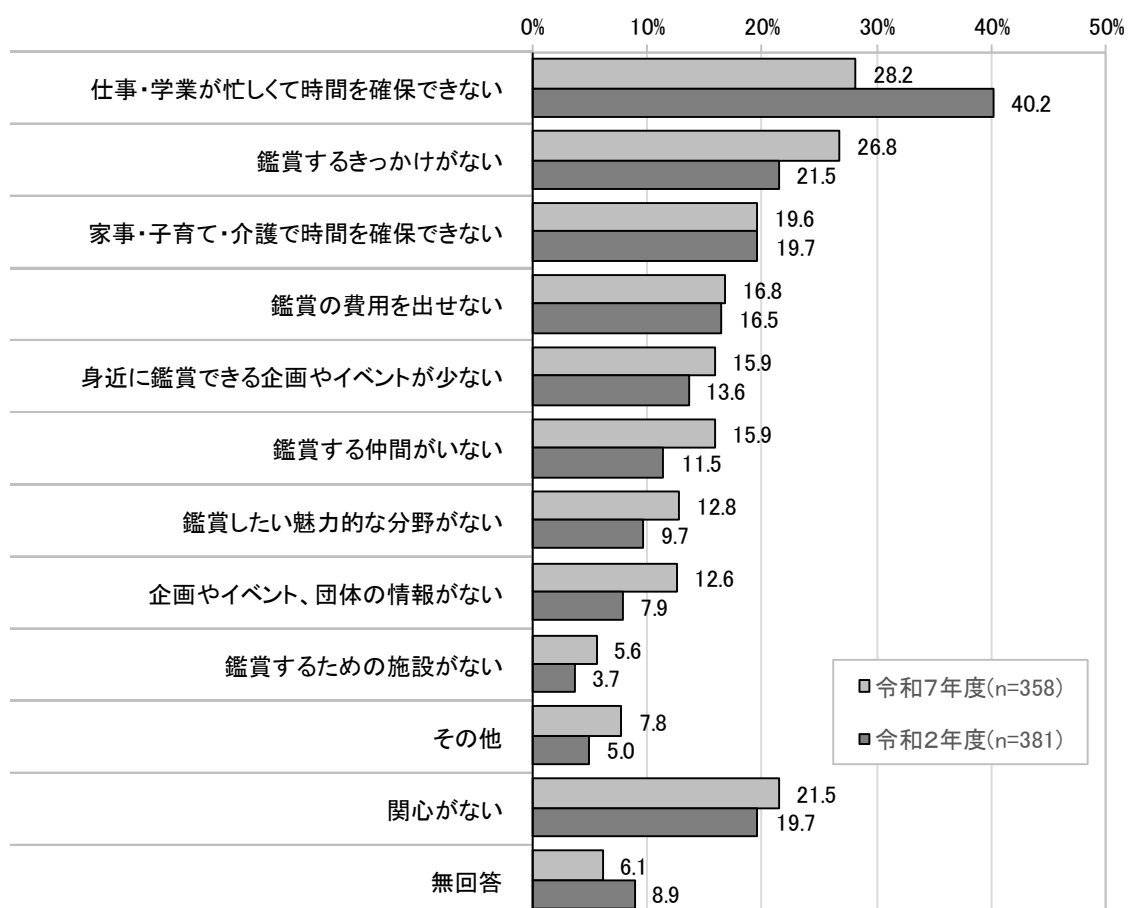
【経年比較】

前回調査との比較では、「鑑賞するきっかけがない」は5.3ポイント、「企画やイベント、団体の情報がない」は4.7ポイント、それぞれ前回から増加している。

「仕事・学業が忙しくて時間を確保できない」は前回から12.0ポイント減少している。

(図表3-23-2)

図表3-23-2 鑑賞していない理由（経年比較）



【性別・年代別・居住地域別】

性別では、「関心がない」は12.7ポイント、「仕事・学業が忙しくて時間を確保できない」は9ポイント、それぞれ男性が女性より高くなっている。

「家事・子育て・介護で時間を確保できない」は女性が男性より14.5ポイント高くなっている。

年代別では、「仕事・学業が忙しくて時間を確保できない」は40歳代（56.1%）が5割台半ば、50歳代（43.4%）が4割台半ばで高くなっている。

「家事・子育て・介護で時間を確保できない」は40歳代（41.5%）が4割強、30歳代（38.7%）が4割弱で高くなっている。

居住地域別では、大きな傾向の違いはみられない。

(図表3-23-3)

図表3-23-3 鑑賞していない理由（性別・年代別・居住地域別）

	n	仕事・学業が忙しくて時間を確保できない	鑑賞するきっかけがない	家事・子育て・介護で時間を確保できない	鑑賞の費用を出せない	身近に鑑賞できる企画やイベントが少ない	鑑賞する仲間がない	鑑賞したい魅力的な分野がない	企画やイベント、団体の情報がない	鑑賞するための施設がない	その他	関心がない	無回答	
全体	358	28.2	26.8	19.6	16.8	15.9	15.9	12.8	12.6	5.6	7.8	21.5	6.1	
性別	男性	180	32.8	28.3	12.2	17.8	17.8	16.1	12.8	12.8	5.0	5.6	27.8	3.3
	女性	172	23.8	26.2	26.7	15.7	14.0	16.3	12.8	12.8	6.4	10.5	15.1	8.1
	その他	1	100.0	-	100.0	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-
年代別	18・19歳	4	75.0	-	-	-	25.0	-	25.0	50.0	-	-	25.0	-
	20歳代	10	30.0	10.0	10.0	10.0	-	-	10.0	10.0	-	10.0	40.0	-
	30歳代	31	38.7	35.5	38.7	12.9	9.7	19.4	9.7	6.5	3.2	3.2	19.4	6.5
	40歳代	41	56.1	12.2	41.5	24.4	7.3	9.8	9.8	9.8	2.4	-	22.0	7.3
	50歳代	53	43.4	24.5	20.8	20.8	15.1	18.9	18.9	17.0	3.8	13.2	9.4	3.8
	60歳代	71	31.0	29.6	16.9	16.9	21.1	14.1	21.1	14.1	7.0	9.9	15.5	7.0
	70歳以上	144	10.4	31.3	11.8	14.6	18.8	18.8	8.3	11.8	7.6	8.3	27.8	5.6
居住地域別	南部地域	40	20.0	25.0	20.0	10.0	17.5	12.5	12.5	12.5	10.0	7.5	30.0	5.0
	南西部地域	40	37.5	30.0	25.0	25.0	7.5	15.0	12.5	7.5	7.5	10.0	12.5	5.0
	西部地域	25	24.0	36.0	12.0	8.0	32.0	16.0	20.0	24.0	12.0	4.0	32.0	-
	県央地域	26	30.8	23.1	23.1	23.1	19.2	7.7	3.8	19.2	3.8	7.7	26.9	3.8
	秩父地域	6	33.3	16.7	16.7	16.7	-	-	16.7	-	-	33.3	33.3	-
	県北地域	27	33.3	22.2	25.9	18.5	3.7	22.2	7.4	3.7	-	-	14.8	3.7
	東部地域	53	30.2	37.7	24.5	18.9	17.0	18.9	18.9	17.0	1.9	3.8	18.9	3.8
	利根地域	34	32.4	20.6	20.6	11.8	26.5	23.5	26.5	23.5	8.8	2.9	20.6	11.8
	川越比企地域	34	23.5	20.6	14.7	17.6	14.7	11.8	5.9	8.8	2.9	20.6	17.6	8.8
さいたま地域	69	26.1	26.1	14.5	15.9	14.5	17.4	8.7	7.2	5.8	8.7	21.7	7.2	

4. 今後の文化芸術全般について

(1) 情報入手方法

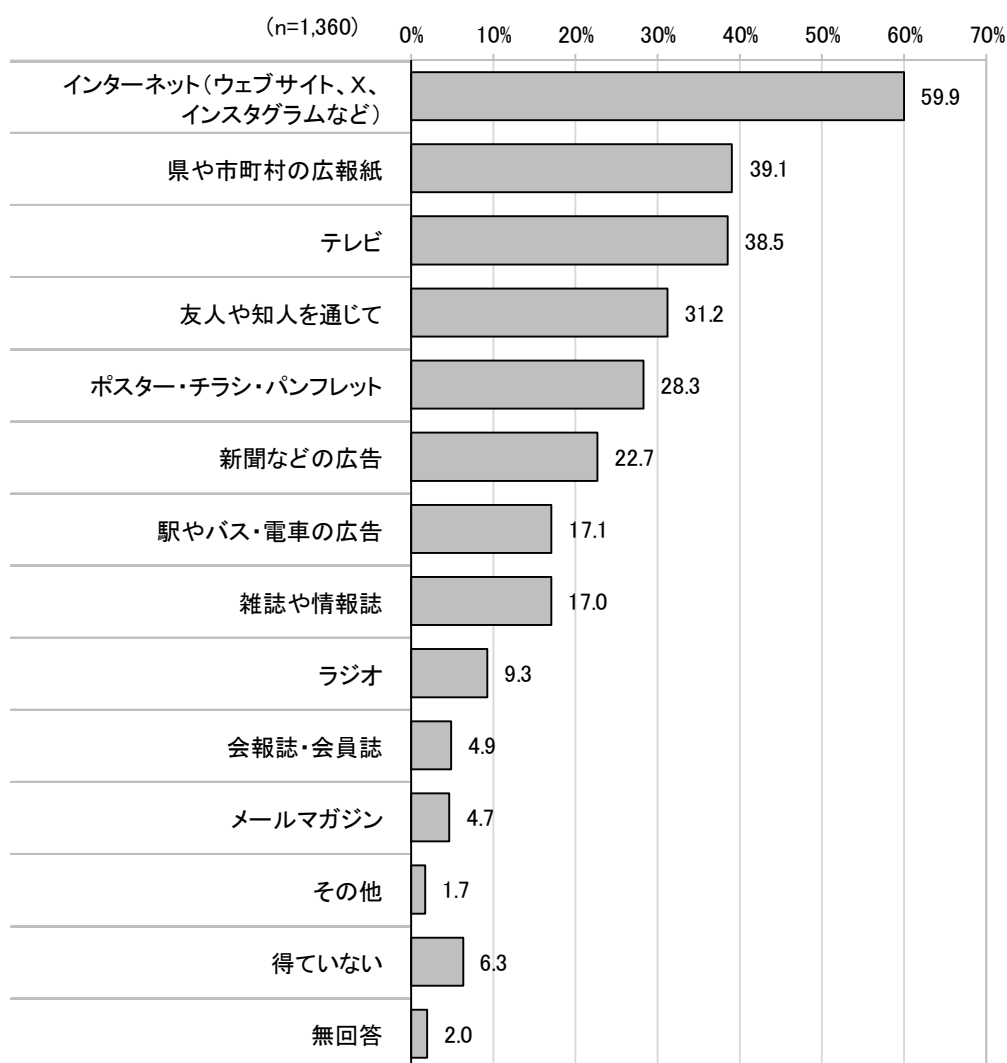
◎「インターネット(ウェブサイト、X、Instagramなど)」が約6割で最も高い

問24 あなたは文化芸術に関する情報をどのようにして得ていますか。該当する番号すべてに○を付けてください。

全体では、「インターネット(ウェブサイト、X、Instagramなど)」が59.9%で最も高く、次いで「県や市町村の広報紙」(39.1%)、「テレビ」(38.5%)と続いている。

また、「得ていない」は6.3%となっている。(図表4-1-1)

図表4-1-1 情報入手方法(全体)



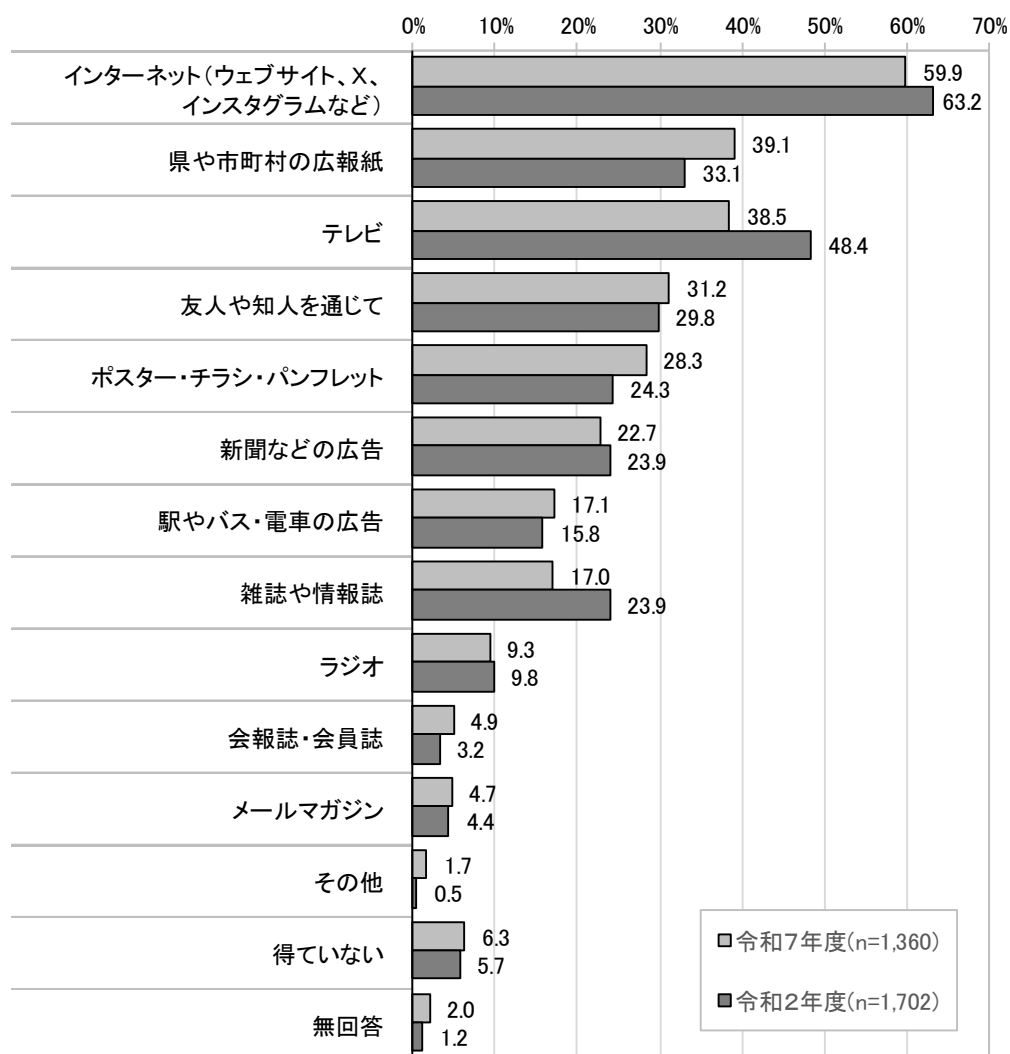
【経年比較】

前回調査との比較では、「県や市町村の広報紙」は6.0ポイント、「ポスター・チラシ・パンフレット」は4.0ポイント、それぞれ前回から増加している。

「テレビ」は9.9ポイント、「雑誌や情報誌」は6.9ポイント、それぞれ前回から減少している。

(図表4-1-2)

図表4-1-2 情報入手方法（経年比較）



【性別・年代別・居住地域別】

性別では、「友人や知人を通じて」は15.2ポイント「県や市町村の広報紙」は4.3ポイント、それぞれ女性が男性より高くなっている。

年代別では、「インターネット（ウェブサイト、X、インスタグラムなど）」は20歳代（88.5%）が9割弱、40歳代（81.1%）、30歳代（81.0%）が8割強で高くなっている。

「県や市町村の広報紙」は70歳以上（55.6%）が5割台半ばで高くなっている。

居住地域別では、「県や市町村の広報紙」は県北地域（51.9%）が5割強で高くなっている。

（図表4-1-3）

図表4-1-3 情報入手方法（性別・年代別・居住地域別）

	n	X、インターネット（ウェブサイト、インスタグラムなど）	県や市町村の広報紙	テレビ	友人や知人を通じて	ポスター・チラシ・パンフレット	新聞などの広告	駅やバス・電車の広告	雑誌や情報誌	ラジオ	会報誌・会員誌	メールマガジン	その他	得ていない	無回答	
全体	1,360	59.9	39.1	38.5	31.2	28.3	22.7	17.1	17.0	9.3	4.9	4.7	1.7	6.3	2.0	
性別	男性	567	61.9	36.9	38.8	22.6	26.8	24.2	16.8	17.6	10.6	4.2	4.1	1.6	7.9	0.7
	女性	770	59.1	41.2	38.6	37.8	29.7	21.9	17.3	16.8	8.3	5.5	5.2	1.8	4.9	2.1
	その他	5	60.0	80.0	60.0	40.0	20.0	20.0	40.0	20.0	-	20.0	-	-	-	-
年代別	18・19歳	21	76.2	-	19.0	42.9	28.6	-	14.3	-	4.8	-	-	-	9.5	-
	20歳代	96	88.5	18.8	33.3	31.3	16.7	7.3	29.2	9.4	5.2	3.1	5.2	-	3.1	1.0
	30歳代	147	81.0	25.9	29.3	34.7	25.9	4.8	26.5	15.0	5.4	2.0	3.4	1.4	7.5	2.7
	40歳代	206	81.1	34.5	33.0	25.7	27.2	9.7	18.4	13.1	12.1	2.4	4.9	1.5	8.3	1.0
	50歳代	250	77.2	37.2	39.2	37.2	27.6	18.4	18.4	21.2	8.8	7.2	9.2	2.0	4.0	0.8
	60歳代	237	59.1	40.5	42.6	29.5	32.1	30.8	14.3	21.9	11.4	5.5	7.2	2.1	5.9	0.4
	70歳以上	387	23.5	55.6	45.5	30.2	31.5	39.8	11.1	17.3	9.6	6.2	1.0	2.1	6.7	2.6
居住地域別	南部地域	149	61.1	43.6	39.6	26.2	23.5	25.5	19.5	16.1	10.1	1.3	2.7	0.7	7.4	2.0
	南西部地域	137	62.0	35.0	40.9	32.8	31.4	16.1	17.5	15.3	10.2	5.1	5.8	2.2	5.1	0.7
	西部地域	142	60.6	38.7	30.3	37.3	31.0	22.5	21.1	15.5	11.3	6.3	4.2	2.1	6.3	1.4
	県央地域	107	63.6	38.3	41.1	31.8	29.0	28.0	15.9	17.8	5.6	1.9	4.7	0.9	6.5	-
	秩父地域	14	42.9	21.4	42.9	21.4	28.6	35.7	14.3	14.3	7.1	-	-	7.1	14.3	-
	県北地域	106	57.5	51.9	33.0	33.0	34.9	26.4	16.0	19.8	10.4	8.5	8.5	-	1.9	1.9
	東部地域	191	63.4	34.0	46.6	29.3	24.6	19.9	20.4	21.5	11.0	4.7	5.8	1.6	6.8	1.0
	利根地域	108	59.3	44.4	37.0	33.3	31.5	25.9	14.8	17.6	3.7	8.3	1.9	0.9	5.6	0.9
	川越比企地域	140	61.4	42.1	45.7	30.0	27.1	23.6	12.9	12.1	11.4	7.1	5.0	1.4	5.7	0.7
さいたま地域	248	56.9	36.7	34.3	31.9	27.8	21.0	15.3	16.9	7.7	3.2	4.4	3.2	7.3	3.6	

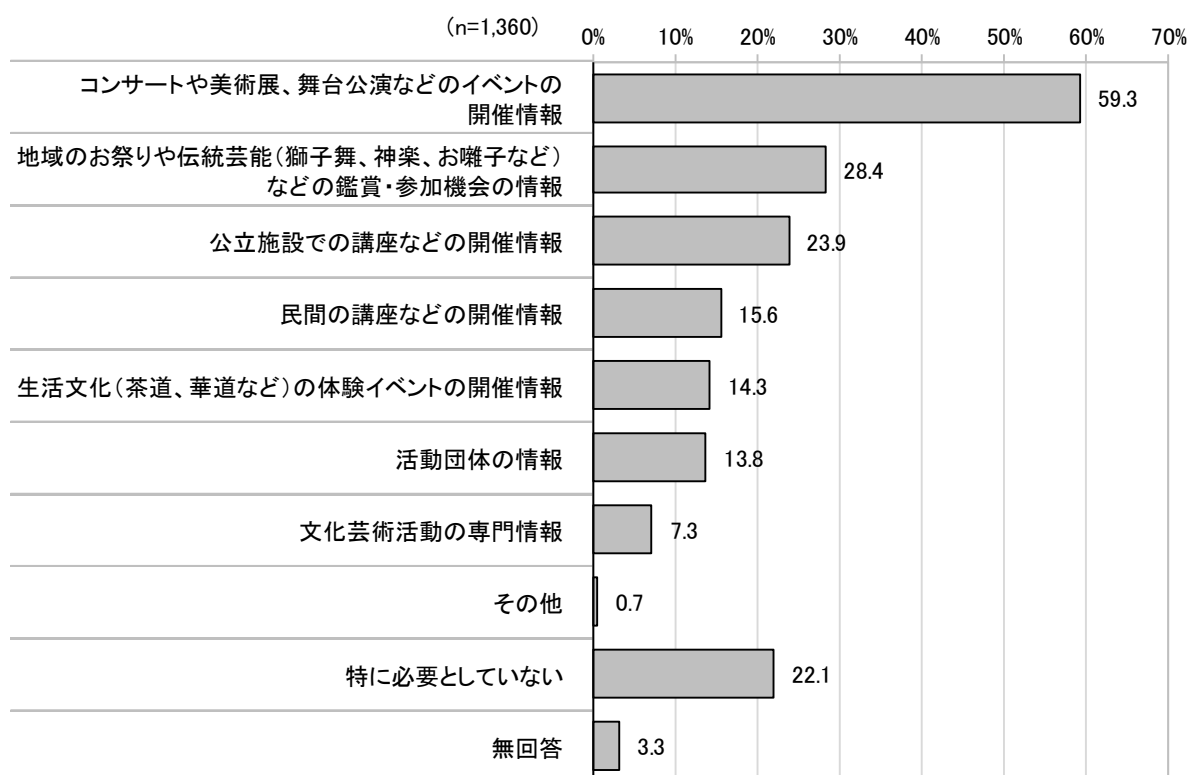
(2) 必要としている文化情報

◎「コンサートや美術展、舞台公演などのイベントの開催情報」が約6割で最も高い

問25 あなたが必要としている文化情報はどのようなものですか。該当する番号すべてに○を付けてください。

全体では、「コンサートや美術展、舞台公演などのイベントの開催情報」が59.3%で最も高く、次いで「地域のお祭りや伝統芸能（獅子舞、神楽、お囃子など）などの鑑賞・参加機会の情報」（28.4%）、「公立施設での講座などの開催情報」（23.9%）と続いている。また、「特に必要としていない」は22.1%となっている。（図表4-2-1）

図表4-2-1 必要としている文化情報（全体）

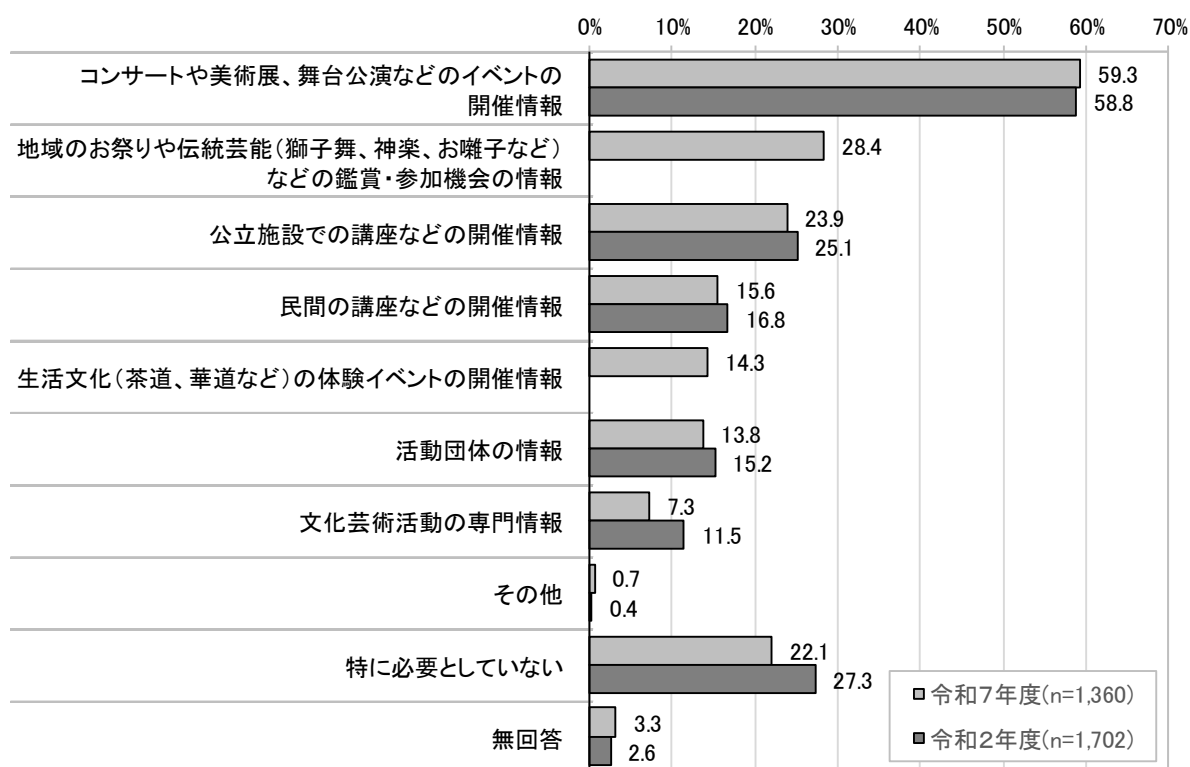


【経年比較】

前回調査との比較では、項目の追加が発生しているため参考として図示するにとどめる。

(図表4-2-2)

図表4-2-2 必要としている文化情報（経年比較）



※「地域のお祭りや伝統芸能（獅子舞、神楽、お囃子など）などの鑑賞・参加機会の情報」、「生活文化（茶道、華道など）の体験イベントの開催情報」は今回調査で追加

【性別・年代別・居住地域別】

性別では、「コンサートや美術展、舞台公演などのイベントの開催情報」は13.5ポイント、「生活文化（茶道、華道など）の体験イベントの開催情報」は11.9ポイント、「公立施設での講座などの開催情報」は9.2ポイント、「民間の講座などの開催情報」は5.9ポイント、それぞれ女性が男性より高くなっている。

「特に必要としていない」は、男性が女性より10.4ポイント高くなっている。

年代別では、「コンサートや美術展、舞台公演などのイベントの開催情報」は50歳代（71.2%）が7割強で高くなっている。

「地域のお祭りや伝統芸能（獅子舞、神楽、お囃子など）などの鑑賞・参加機会の情報」は40歳代（40.3%）が約4割で高くなっている。

居住地域別では、大きな傾向の違いはみられない。（図表4-2-3）

図表4-2-3 必要としている文化情報（性別・年代別・居住地域別）

	n	ど の コ ン サ ー ト や 美 術 展 、 舞 台 公 演 な ど の 開 催 情 報	賞 ・ 参 加 機 会 の 情 報	舞 ・ 神 楽 、 お 囃 子 な ど ） な ど の 鑑	地 域 の お 祭 り や 伝 統 芸 能 （ 獅 子 舞	公 立 施 設 で の 講 座 な ど の 開 催 情 報	民 間 の 講 座 な ど の 開 催 情 報	験 生 活 文 化 （ 茶 道 、 華 道 な ど ） の 体	活 動 団 体 の 情 報	文 化 芸 術 活 動 の 専 門 情 報	そ の 他	特 に 必 要 と し て い な い	無 回 答
全体	1,360	59.3	28.4	23.9	15.6	14.3	13.8	7.3	0.7	22.1	3.3		
性別	男性	567	51.7	31.0	18.9	12.3	7.6	12.0	7.2	0.7	28.2	1.9	
	女性	770	65.2	27.1	28.1	18.2	19.5	15.3	7.5	0.8	17.8	3.2	
	その他	5	100.0	20.0	-	20.0	-	-	-	-	-	-	
年代別	18・19歳	21	57.1	38.1	14.3	4.8	14.3	14.3	19.0	-	19.0	-	
	20歳代	96	65.6	28.1	12.5	9.4	19.8	8.3	6.3	1.0	20.8	-	
	30歳代	147	61.2	33.3	15.0	11.6	21.1	13.6	6.8	0.7	25.2	1.4	
	40歳代	206	60.2	40.3	19.4	14.1	17.5	14.1	7.8	0.5	20.4	1.0	
	50歳代	250	71.2	31.2	26.0	22.0	17.6	16.8	6.4	2.0	18.0	0.8	
	60歳代	237	62.0	23.2	28.7	17.3	12.2	11.4	10.1	0.4	21.5	2.5	
	70歳以上	387	48.6	22.2	29.5	15.5	8.0	15.0	5.9	0.3	25.3	6.2	
居住地域別	南部地域	149	53.0	28.9	22.1	13.4	13.4	15.4	7.4	1.3	30.2	2.0	
	南西部地域	137	56.9	28.5	24.1	16.8	11.7	12.4	5.8	2.2	23.4	2.2	
	西部地域	142	65.5	30.3	23.2	14.8	15.5	14.8	10.6	-	16.9	2.8	
	県央地域	107	60.7	35.5	29.9	18.7	21.5	20.6	6.5	-	21.5	0.9	
	秩父地域	14	35.7	28.6	7.1	7.1	7.1	7.1	-	-	35.7	14.3	
	県北地域	106	61.3	23.6	23.6	15.1	9.4	17.0	7.5	-	21.7	1.9	
	東部地域	191	59.2	26.2	17.8	9.9	16.2	13.1	6.8	0.5	21.5	3.7	
	利根地域	108	62.0	32.4	25.9	14.8	14.8	15.7	7.4	0.9	18.5	2.8	
	川越比企地域	140	65.7	28.6	28.6	22.1	13.6	10.7	6.4	0.7	20.0	1.4	
	さいたま地域	248	58.1	27.4	25.8	18.1	13.7	11.3	8.1	0.8	22.2	4.0	

(3) 埼玉県 of 文化的な環境の満足度

◎「満足している(計)」が約3割

新規調査

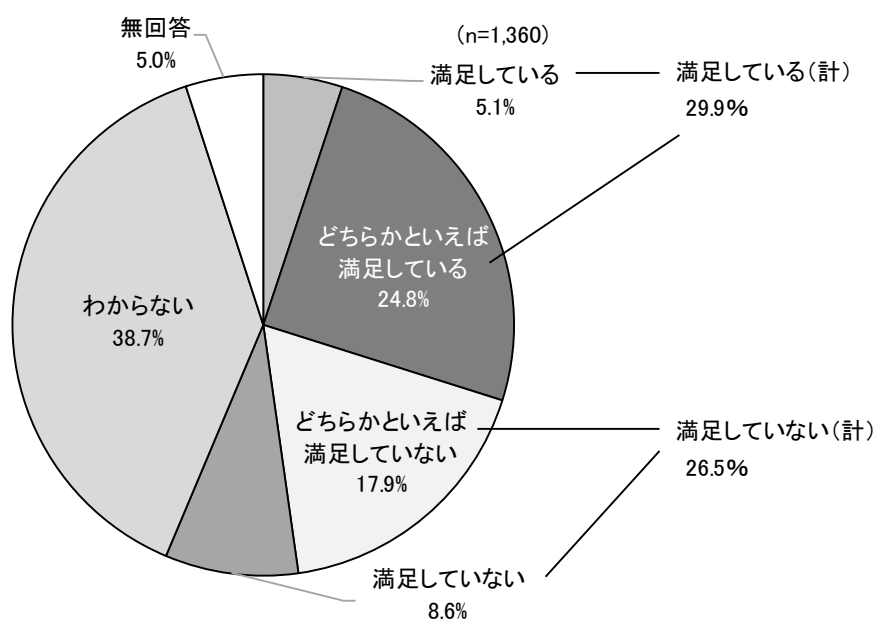
問26 あなたは、文化芸術を鑑賞したり習い事をしたりする機会や文化財・伝統的まちなみの保存・整備など、埼玉県の文化的な環境に満足していますか。該当する番号1つに○を付けてください。

全体では、「満足している」(5.1%)と「どちらかといえば満足している」(24.8%)をあわせた「満足している(計)」が29.9%となっている。

一方「満足していない」(8.6%)と「どちらかといえば満足していない」(17.9%)をあわせた「満足していない(計)」が26.5%となっている。

また、「わからない」は38.7%となっている。(図表4-3-1)

図表4-3-1 埼玉県の文化的な環境の満足度(全体)



【性別・年代別・居住地域別】

性別では、大きな傾向の違いはみられない。

年代別では、「満足している（計）」は20歳代（45.8%）が4割台半ばで高くなっている。

居住地域別では、「満足していない（計）」は利根地域（36.1%）が3割台半ばで高くなっている。

「わからない」は南西部地域（49.6%）で約5割で高くなっている。

（図表4-3-2）

図表4-3-2 埼玉県の文化的な環境の満足度（性別・年代別・居住地域別）

		<input type="checkbox"/> 満足している <input type="checkbox"/> どちらかといえば満足していない <input type="checkbox"/> わからない										<input type="checkbox"/> どちらかといえば満足している <input type="checkbox"/> 満足していない <input type="checkbox"/> 無回答			満足 して いる (計)	満足 して いない (計)		
		0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%						
性別	全体(n=1,360)	5.1	24.8	17.9	8.6				38.7			5.0				29.9	26.5	
	男性(n=567)	4.4	25.6	16.4	8.8				42.0			2.8				30.0	25.2	
	女性(n=770)	5.5	24.4	19.0	8.6				37.0			5.6				29.9	27.5	
	その他(n=5)	20.0		60.0								20.0				20.0	80.0	
年代別	18・19歳(n=21)	14.3	14.3	14.3	14.3				42.9							28.6	28.6	
	20歳代(n=96)	11.5	34.4			16.7	5.2	32.3								45.8	21.9	
	30歳代(n=147)	8.2	23.8	11.6	9.5				46.3			0.7				32.0	21.1	
	40歳代(n=206)	3.4	27.7	21.4	9.7				36.4			1.5				31.1	31.1	
	50歳代(n=250)	6.8	25.2	20.8	9.2				37.2			0.8				32.0	30.0	
	60歳代(n=237)	2.5	23.2	18.1	10.1				41.8			4.2				25.7	28.3	
居住地域別	70歳以上(n=387)	3.1	22.7	17.6	7.2				38.2			11.1				25.8	24.8	
	南部地域(n=149)	4.7	27.5	13.4	6.7				43.0			4.7				32.2	20.1	
	南西部地域(n=137)	4.4	19.0	16.8	6.6				49.6							3.6	23.4	23.4
	西部地域(n=142)	5.6	21.1	20.4	9.9				37.3			5.6				26.8	30.3	
	県央地域(n=107)	6.5	23.4	27.1	5.6				34.6			2.8				29.9	32.7	
	秩父地域(n=14)	35.7			7.1	14.3	42.9									35.7	21.4	
	県北地域(n=106)	4.7	22.6	19.8	8.5				40.6			3.8				27.4	28.3	
	東部地域(n=191)	6.3	23.0	20.4	7.9				37.2			5.2				29.3	28.3	
	利根地域(n=108)	0.9	26.9	19.4	16.7				30.6			5.6				27.8	36.1	
	川越比企地域(n=140)	6.4	30.0	19.3	9.3				33.6			1.4				36.4	28.6	
さいたま地域(n=248)	5.2	27.4	12.5	8.5				40.3			6.0				32.7	21.0		

(4) 埼玉県が積極的に取り組むべき分野

◎「公演やイベントの情報提供の充実」が5割弱で最も高い

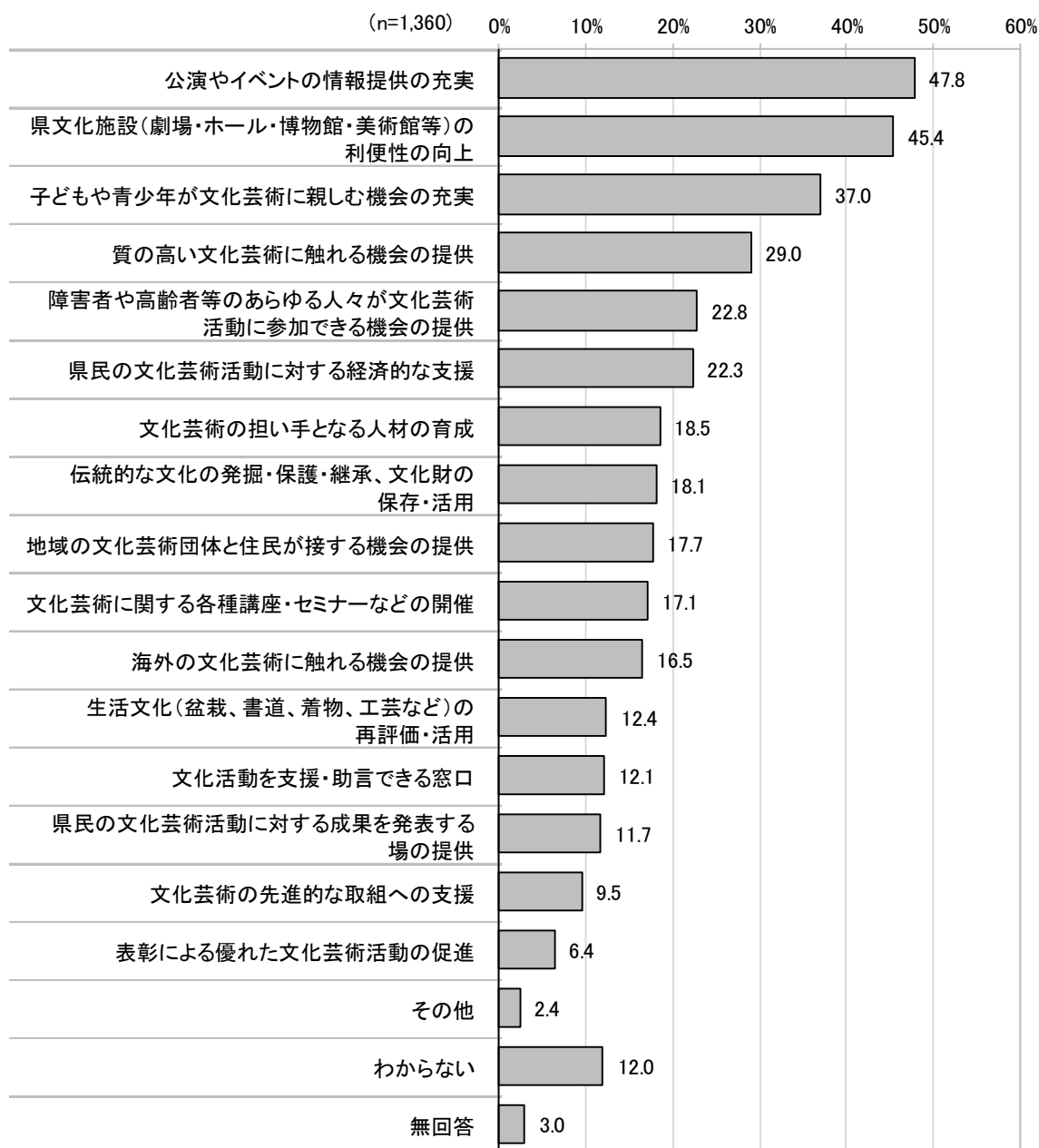
新規調査

問27 あなたは、県民が文化芸術の活動や鑑賞を行うことができるようにするために、県が積極的に取り組むべき分野はどのようなことだと思いますか。該当する番号すべてに○を付けてください。

全体では、「公演やイベントの情報提供の充実」が47.8%で最も高く、次いで「県文化施設（劇場・ホール・博物館・美術館等）の利便性の向上」（45.4%）、「子どもや青少年が文化芸術に親しむ機会の充実」（37.0%）と続いている。

また、「わからない」は12.0%となっている。（図表4-4-1）

図表4-4-1 埼玉県が積極的に取り組むべき分野（全体）



【性別・年代別・居住地域別】

性別では、「公演やイベントの情報提供の充実」は8.9ポイント、「県文化施設（劇場・ホール・博物館・美術館等）の利便性の向上」は8.4ポイント、「障害者や高齢者等のあらゆる人々が文化芸術活動に参加できる機会の提供」は7.7ポイント、それぞれ女性が男性より高くなっている。

年代別では、「公演やイベントの情報提供の充実」は50歳代（56.4%）が5割台半ばで高くなっている。

「県文化施設（劇場・ホール・博物館・美術館等）の利便性の向上」は50歳代（53.6%）が5割台半ばで高くなっている。

「子どもや青少年が文化芸術に親しむ機会の充実」は30歳代（54.4%）が5割台半ば、40歳代（51.5%）が5割強で高くなっている。

居住地域別では、「県文化施設（劇場・ホール・博物館・美術館等）の利便性の向上」は県央地域（55.1%）、県北地域（54.7%）、西部地域（54.2%）が5割台半ばで高くなっている。

（図表4-4-2）

図表4-4-2 埼玉県が積極的に取り組むべき分野（性別・年代別・居住地域別）

	n	公演やイベントの情報提供の充実	県文化施設（劇場・ホール・博物館・美術館等）の利便性の向上	会場の充実	子どもや青少年が文化芸術に親しむ機	質の高い文化芸術に触れる機会の提供	化芸術活動に参加できる機会の提供	障害者や高齢者等のあらゆる人々が文	支民の文化芸術活動に対する経済的な	文化芸術の担い手となる人材の育成	化財の保存・活用	伝統的な文化の発掘・保護・継承、文	地域の文化芸術団体と住民が接する機	などの開催	文化芸術に関する各種講座・セミナー	海外の文化芸術に触れる機会の提供	ど）の再評価・活用	生活文化（盆栽、書道、着物、工芸な	文化活動を支援・助言できる窓口	県民の文化芸術活動に対する成果を発	文化芸術の先進的な取組への支援	表彰による優れた文化芸術活動の促進	その他	わからない	無回答
全体	1,360	47.8	45.4	37.0	29.0	22.8	22.3	18.5	18.1	17.7	17.1	16.5	12.4	12.1	11.7	9.5	6.4	2.4	12.0	3.0					
性別	男性	567	43.2	41.1	34.2	30.5	18.7	20.3	19.0	19.2	17.6	14.6	16.0	10.2	9.7	10.2	10.4	6.7	3.7	15.2	1.6				
	女性	770	52.1	49.5	39.9	28.4	26.4	24.3	18.6	17.5	18.1	19.2	16.9	14.0	14.2	13.0	9.1	6.4	1.0	9.7	2.9				
	その他	5	40.0	20.0	-	20.0	-	20.0	-	40.0	20.0	-	20.0	40.0	-	20.0	-	-	20.0	20.0	-				
年代別	18・19歳	21	33.3	38.1	33.3	28.6	14.3	23.8	14.3	-	14.3	4.8	9.5	-	9.5	19.0	9.5	19.0	-	28.6	-				
	20歳代	96	42.7	42.7	35.4	32.3	11.5	25.0	27.1	19.8	13.5	9.4	24.0	15.6	13.5	12.5	15.6	10.4	2.1	12.5	-				
	30歳代	147	41.5	40.1	54.4	26.5	11.6	23.8	17.7	17.7	16.3	12.2	15.0	12.9	14.3	10.9	10.9	8.8	2.0	13.6	0.7				
	40歳代	206	48.5	46.1	51.5	32.0	19.9	22.8	24.3	18.9	15.5	15.0	19.9	14.1	12.6	9.7	6.8	7.8	4.4	10.2	1.0				
	50歳代	250	56.4	53.6	36.0	26.4	20.8	25.6	17.6	20.0	16.0	21.2	16.4	15.6	11.2	11.2	12.0	4.8	2.4	9.6	0.8				
	60歳代	237	51.5	48.9	30.4	32.1	28.3	24.1	16.0	17.3	17.3	19.8	18.1	11.8	11.4	10.5	9.7	5.5	2.5	11.0	2.1				
	70歳以上	387	45.7	41.9	29.5	28.2	30.7	18.3	16.8	18.3	22.5	18.6	13.2	9.8	12.4	14.0	7.5	4.9	1.3	13.7	5.4				
居住地域別	南部地域	149	47.7	46.3	41.6	24.2	22.8	22.1	17.4	22.8	18.8	18.1	14.8	14.1	13.4	14.8	11.4	6.7	4.0	12.1	0.7				
	南西部地域	137	44.5	43.8	34.3	24.8	27.0	22.6	18.2	18.2	17.5	15.3	15.3	14.6	13.1	14.6	10.9	5.8	1.5	13.9	3.6				
	西部地域	142	50.7	54.2	32.4	26.1	28.9	21.1	17.6	24.6	18.3	19.7	19.0	8.5	11.3	10.6	8.5	6.3	4.2	9.2	1.4				
	県央地域	107	56.1	55.1	38.3	39.3	21.5	28.0	17.8	18.7	27.1	21.5	23.4	15.9	10.3	10.3	12.1	6.5	2.8	11.2	0.9				
	秩父地域	14	28.6	14.3	28.6	21.4	7.1	21.4	14.3	7.1	21.4	-	14.3	14.3	21.4	-	-	14.3	-	21.4	7.1				
	県北地域	106	50.0	54.7	40.6	34.0	28.3	23.6	26.4	13.2	20.8	15.1	13.2	11.3	11.3	17.9	9.4	7.5	0.9	9.4	1.9				
	東部地域	191	46.1	46.1	32.5	29.3	18.3	19.9	18.8	16.8	16.8	15.2	14.1	8.9	11.5	8.4	6.8	6.8	1.6	12.6	2.6				
	利根地域	108	49.1	40.7	39.8	34.3	21.3	28.7	16.7	13.9	20.4	18.5	15.7	12.0	13.9	8.3	10.2	8.3	1.9	10.2	2.8				
	川越比企地域	140	49.3	39.3	37.1	25.7	25.7	25.0	22.9	14.3	20.0	18.6	15.7	15.0	15.0	13.6	10.7	7.9	-	17.1	1.4				
さいたま地域	248	47.2	41.5	41.5	30.2	20.2	19.0	16.5	19.8	10.1	16.5	18.5	13.3	10.9	11.3	9.3	4.0	2.8	10.9	4.0					

(5) 文化芸術に期待すること

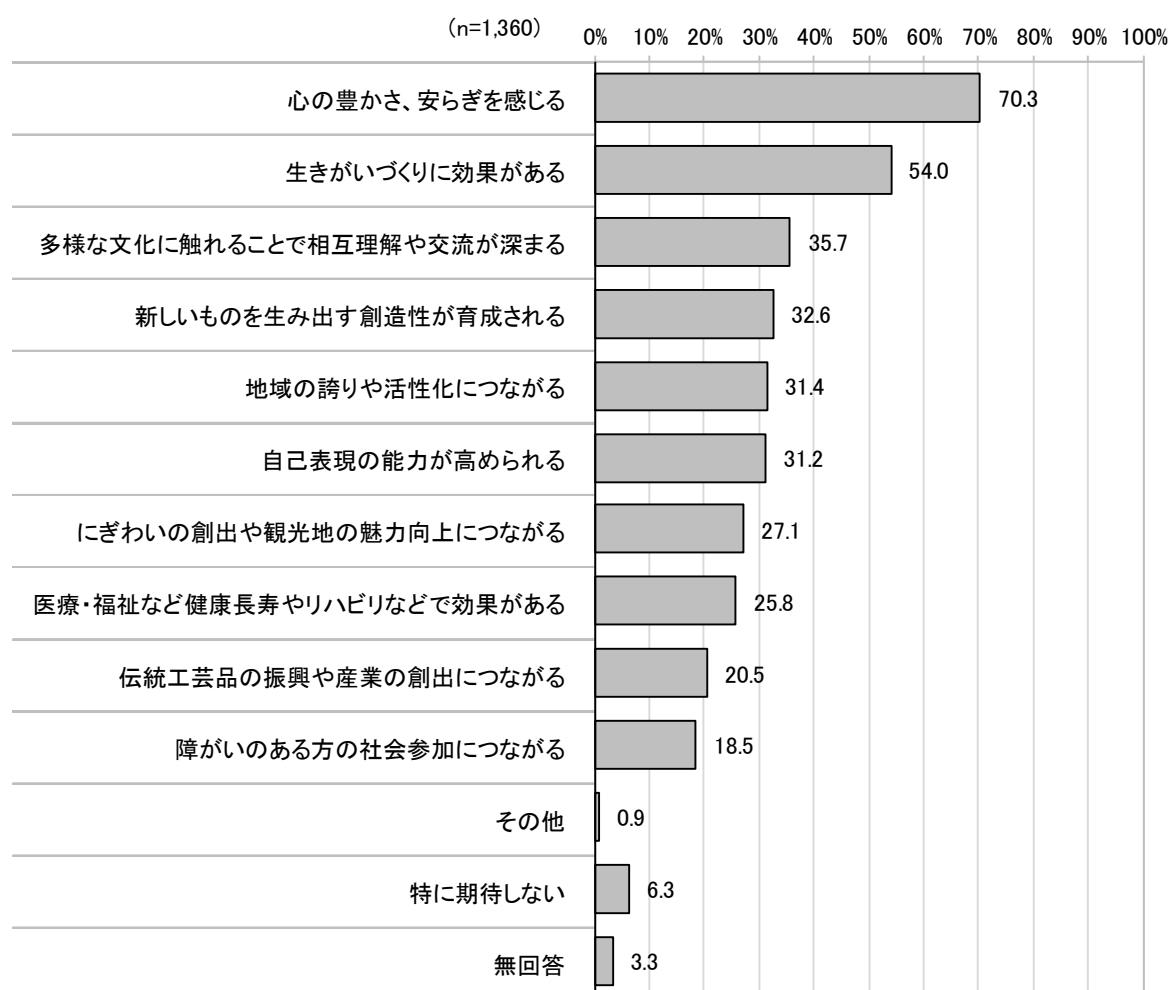
◎「心の豊かさ、安らぎを感じる」が約7割で最も高い

問28 近年、文化芸術には教育や産業など、様々な面での可能性が期待されています。あなたが文化芸術に期待するものは何ですか。該当する番号すべてに○を付けてください。

全体では、「心の豊かさ、安らぎを感じる」が70.3%で最も高く、次いで「生きがいがづくりに効果がある」(54.0%)、「多様な文化に触れることで相互理解や交流が深まる」(35.7%)と続いている。

また、「特に期待しない」は6.3%となっている。(図表4-5-1)

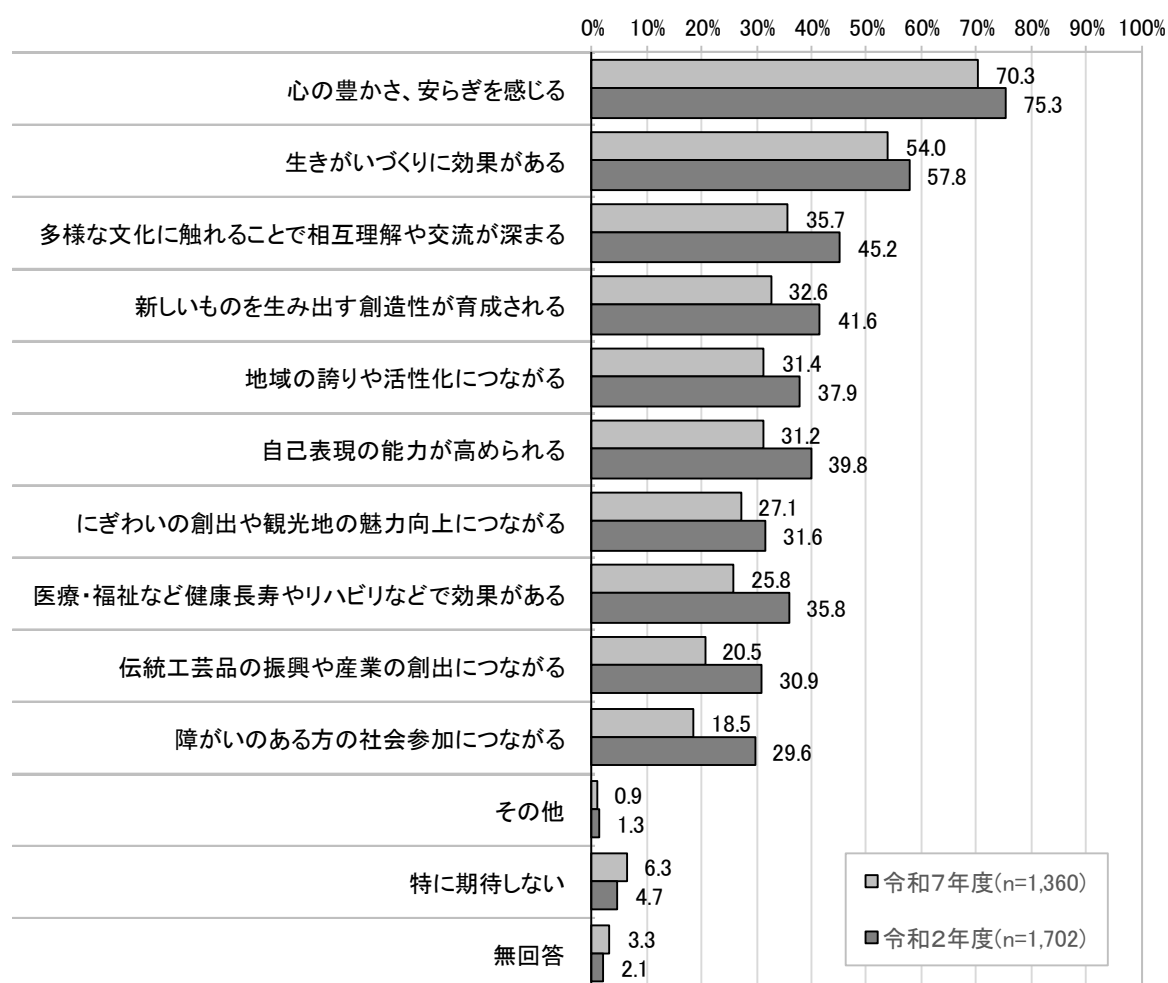
図表4-5-1 文化芸術に期待すること (全体)



【経年比較】

前回調査との比較では、すべての項目で前回から減少がみられるが、特に「障がいのある方の社会参加につながる」、「伝統工芸品の振興や産業の創出につながる」、「医療・福祉など健康長寿やリハビリなどで効果がある」は、それぞれ前回から10ポイント以上減少している。(図表4-5-2)

図表4-5-2 文化芸術に期待すること（経年比較）



【性別・年代別・居住地域別】

性別では、「医療・福祉など健康長寿やリハビリなどで効果がある」11.6ポイント、「生きがいくりに効果がある」は10.3ポイント、「障がいのある方の社会参加につながる」は6.8ポイント、それぞれそれぞれ女性が男性より高くなっている。

「地域の誇りや活性化につながる」は7.5ポイント、「特に期待しない」は4.7ポイント、それぞれ男性が女性より高くなっている。

年代別では、「心の豊かさ、安らぎを感じる」は50歳代（78.0%）が約8割で高くなっている。

「新しいものを生み出す創造性が育成される」は30歳代（45.6%）、20歳代（44.8%）が4割台半ばで高くなっている。

「自己表現の能力が高められる」は30歳代（46.3%）、20歳代（44.8%）が4割台半ばで高くなっている。

居住地域別では、「心の豊かさ、安らぎを感じる」は西部地域（77.5%）が7割台半ばで高くなっている。

(図表4-5-3)

図表4-5-3 文化芸術に期待すること（性別・年代別・居住地域別）

		n	心の豊かさ、安らぎを感じる	生きがいくりに効果がある	多様な文化に触れることで相互理解	成されるものを生み出す創造性が育	地域の誇りや活性化につながる	自己表現の能力が高められる	上にぎわいの創出や観光地の魅力向上	医療・福祉など健康長寿やリハビリなどで効果がある	伝統工芸品の振興や産業の創出につながる	障がいのある方の社会参加につながる	その他	特に期待しない	無回答
全体		1,360	70.3	54.0	35.7	32.6	31.4	31.2	27.1	25.8	20.5	18.5	0.9	6.3	3.3
性別	男性	567	68.8	48.5	33.9	32.5	36.2	29.3	28.9	19.4	19.9	14.8	1.8	9.0	1.9
	女性	770	72.2	58.8	37.8	33.6	28.7	33.2	26.6	31.0	21.6	21.6	0.1	4.3	3.0
	その他	5	80.0	40.0	40.0	20.0	20.0	40.0	-	20.0	-	40.0	20.0	-	-
年代別	18・19歳	21	81.0	52.4	42.9	42.9	33.3	47.6	33.3	9.5	14.3	4.8	-	-	-
	20歳代	96	70.8	55.2	40.6	44.8	29.2	44.8	30.2	24.0	21.9	10.4	-	5.2	1.0
	30歳代	147	73.5	49.7	34.7	45.6	34.7	46.3	35.4	23.1	24.5	19.7	0.7	6.1	0.7
	40歳代	206	66.5	53.4	40.3	41.7	36.9	40.8	31.6	21.4	22.3	18.4	1.9	4.4	1.0
	50歳代	250	78.0	60.8	38.8	32.4	32.8	31.6	30.0	26.0	17.6	21.6	2.4	4.0	0.4
	60歳代	237	66.7	60.8	32.5	27.8	27.4	24.1	23.6	28.7	22.4	18.1	-	8.9	1.3
	70歳以上	387	69.5	48.8	33.3	23.8	30.5	21.4	22.0	29.5	19.6	19.9	0.3	7.8	6.7
居住地域別	南部地域	149	66.4	46.3	38.3	38.3	32.2	33.6	27.5	23.5	25.5	18.8	-	6.0	2.7
	南西部地域	137	73.0	52.6	35.0	36.5	32.1	36.5	24.8	29.9	18.2	27.0	1.5	5.1	1.5
	西部地域	142	77.5	57.7	38.7	28.9	29.6	35.9	23.9	28.9	26.1	18.3	0.7	8.5	0.7
	県央地域	107	74.8	56.1	45.8	40.2	27.1	34.6	26.2	25.2	23.4	17.8	0.9	6.5	1.9
	秩父地域	14	78.6	71.4	21.4	28.6	28.6	14.3	14.3	28.6	21.4	7.1	-	7.1	-
	県北地域	106	67.0	54.7	35.8	28.3	36.8	23.6	31.1	31.1	16.0	17.0	-	7.5	1.9
	東部地域	191	68.6	58.6	31.4	31.9	29.3	29.3	27.7	25.1	18.3	16.8	0.5	5.2	4.2
	利根地域	108	68.5	54.6	34.3	32.4	35.2	31.5	36.1	23.1	18.5	16.7	2.8	3.7	2.8
	川越比企地域	140	72.1	57.9	37.1	30.0	41.4	31.4	30.7	27.1	21.4	22.9	0.7	8.6	1.4
さいたま地域	248	69.8	51.2	34.7	31.9	27.4	29.8	25.0	23.4	19.8	16.5	1.2	5.6	4.4	

(6) 埼玉県が誇れる文化芸術（自由記述）

◎『伝統芸能』分野が最も多い

問29 あなたが思う、埼玉県が誇れる文化芸術とはなんですか。自由に記述してください。（彩の国さいたま芸術劇場、音楽、美術、アニメ、伝統芸能、祭りなど）

埼玉県が誇れる文化芸術について、846人から延べ1,135件の回答が寄せられた。

分野別では、『伝統芸能』が304件で最も多く、次いで『映画・漫画・アニメ・CGなどのメディア芸術』（114件）、『伝統工芸、文化財の継承・保存』（65件）となっている。

個別では、「お祭り」（280件）、次いで「埼玉県内の施設」（202件）、「アニメ」（95件）と続いている。また、「わからない」が76件、「特になし」が115件となっている。（図表4-6-1）

図表4-6-1 埼玉県が誇れる文化芸術（自由記述）

[分野別結果・個別結果]

内容	人数
伝統芸能	304
お祭り（秩父夜祭、川越祭り、うちわ祭り、南越谷阿波踊り 等）	280
獅子舞	6
和太鼓	5
歌舞伎	3
能	2
民謡	1
流鏝馬	1
伝統芸能（固有名詞なし）	22
伝統芸能 その他	2
映画・漫画・アニメ・CGなどのメディア芸術等	114
アニメ（舞台となっている場所、クレヨンしんちゃん 等）	95
映画（翔んで埼玉、のぼうの城 等）	20
漫画	9
ゆるキャラ	5
映画・漫画・アニメ・CGなどのメディア芸術等 その他	2
伝統工芸、文化財の継承・保存	65
伝統工芸（雛人形、和紙、鋳物工芸、桐だんす 等）	33
小江戸川越	16
古墳	10
渋沢栄一	2
文化財の継承・保存（固有名詞なし）	4
伝統工芸、文化財の継承・保存 その他	6
生活文化	52
盆栽	32
食文化（うどん、せんべい、お茶、B級グルメ、ネギ、うなぎ 等）	8
田んぼアート	5
書道	3
園芸	2
生活文化 その他	3

(前ページからの続き)

[その他の個別結果]

内容	人数
埼玉県内の施設（彩の国さいたま芸術劇場、埼玉スーパーアリーナ 等）	202
音楽（吹奏楽・マーチングバンド、合唱 等）	37
美術（神社（氷川神社、三峯神社 等）・城（忍城、岩槻城）といった建築、絵画 等）	25
花火大会	15
舞踏（よさこい、ダンス 等）	14
演劇（蜷川幸雄、劇団、シェークスピア 等）	9
自然・風景	8
演芸（落語、漫才）	2
その他	55
わからない	76
特になし	115

(7) 文化芸術の必要性（コロナ禍を経て）の有無

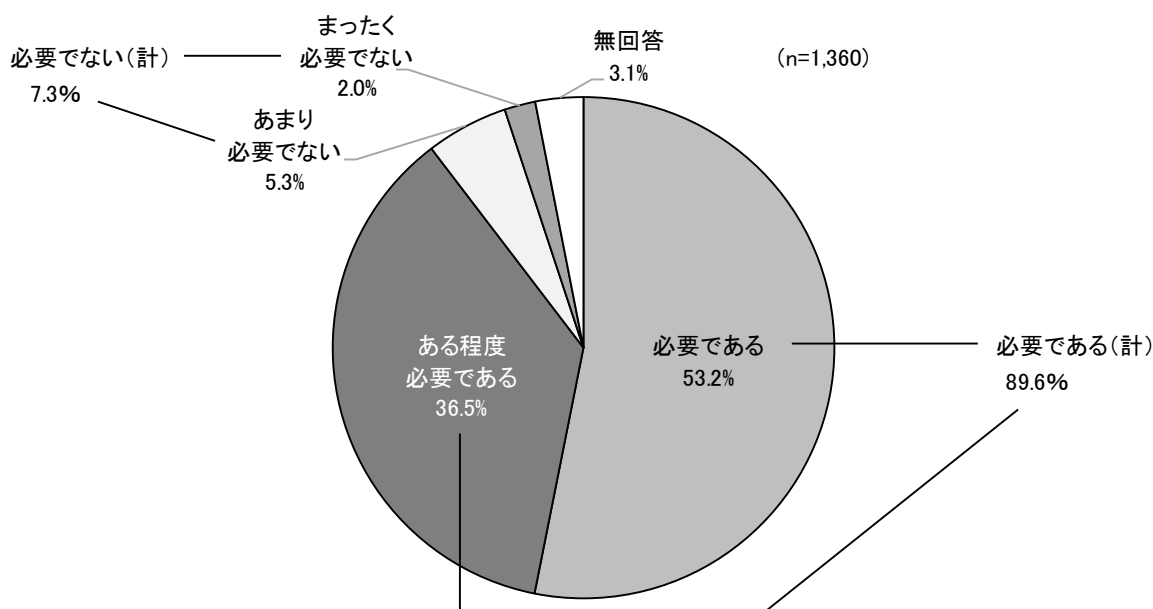
◎「必要である(計)」が約9割

問30 コロナ禍においては、文化芸術に関する活動や鑑賞する機会が制限されましたが、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、県民の文化芸術活動は再活性化しつつあります。
このような状況の変化を経験し、あらためて文化芸術が必要だと考えますか。
該当する番号1つに○を付けてください。

全体では、「必要である」(53.2%)と「ある程度必要である」(36.5%)をあわせた「必要である(計)」が89.6%となっている。

一方「あまり必要でない」(5.3%)と「まったく必要でない」(2.0%)をあわせた「必要でない(計)」が7.3%となっている。(図表4-7-1)

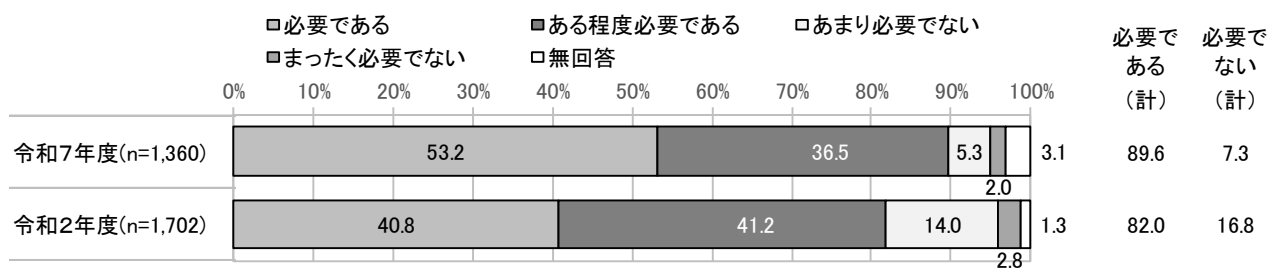
図表4-7-1 文化芸術の必要性（コロナ禍を経て）の有無（全体）



【経年比較】

前回調査との比較では、「必要である(計)」は7.6ポイント増加している。(図表4-7-2)

図表4-7-2 文化芸術の必要性（コロナ禍を経て）の有無（経年比較）



【性別・年代別・居住地域別】

性別では、「必要である（計）」は女性が男性より4.8ポイント高くなっている。

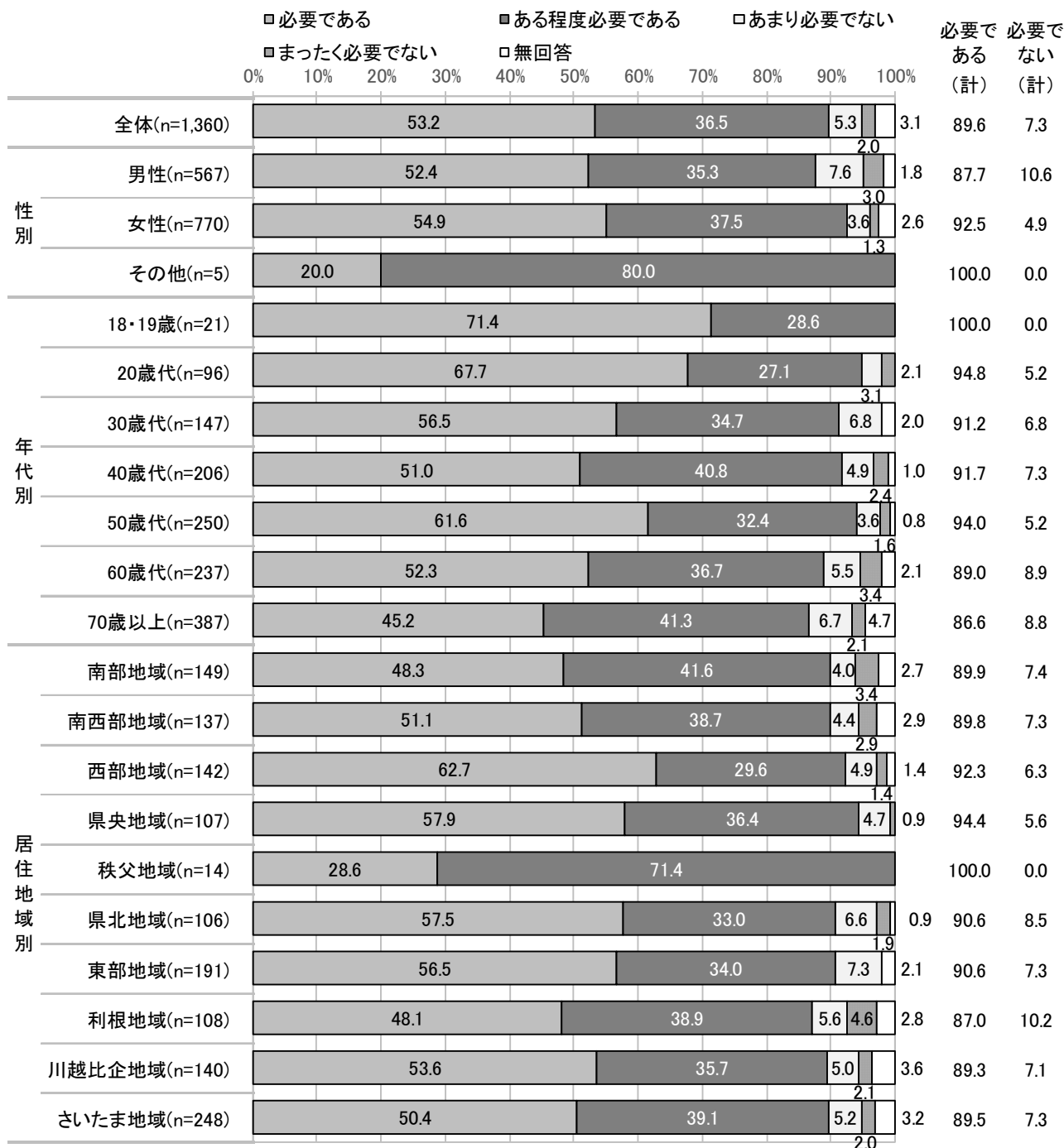
一方「必要でない（計）」は男性が女性よりも5.7ポイント高くなっている。

年代別では、「必要である」は、20歳代（67.7%）が7割弱で高くなっている。

居住地域別では、「必要である」は西部地域（62.7%）が6割強で高くなっている。

（図表4-7-3）

図表4-7-3 文化芸術の必要性（コロナ禍を経て）の有無（性別・年代別・居住地域別）



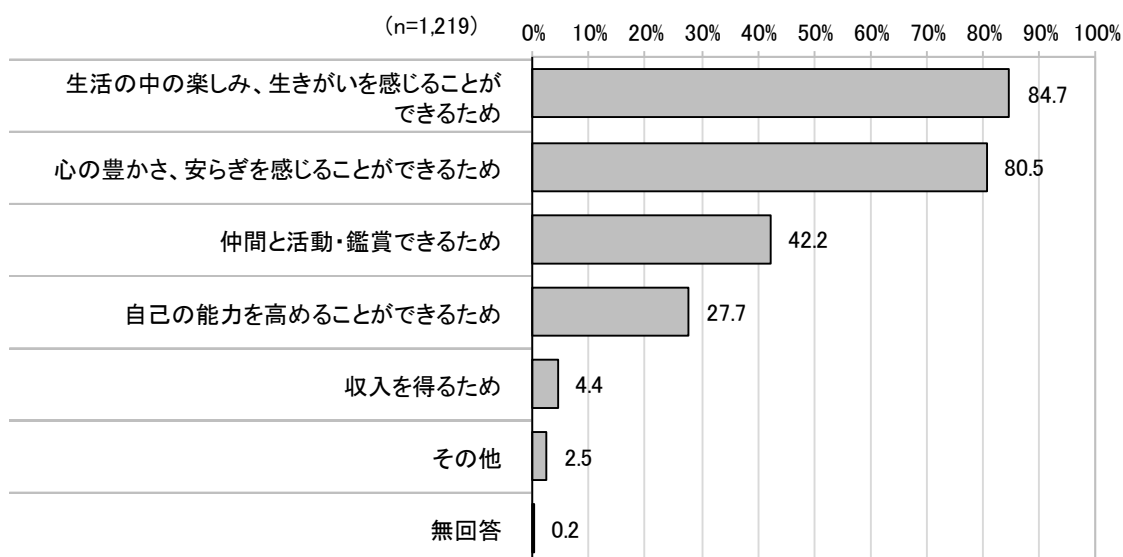
(8) 文化芸術を必要と考える理由

◎「生活の中の楽しみ、生きがいを感じる事ができるため」が8割台半ばで最も高い

※問30で「1 必要である」又は「2 ある程度必要である」と回答した方のみ
問31 文化芸術が必要と考えた理由はなぜですか。該当する番号すべてに○を付けてください。

文化芸術が必要であるとした方(1,219人)では、「生活の中の楽しみ、生きがいを感じる事ができるため」が84.7%で最も高く、次いで「心の豊かさ、安らぎを感じる事ができるため」(80.5%)、「仲間と活動・鑑賞できるため」(42.2%)と続いている。(図表4-8-1)

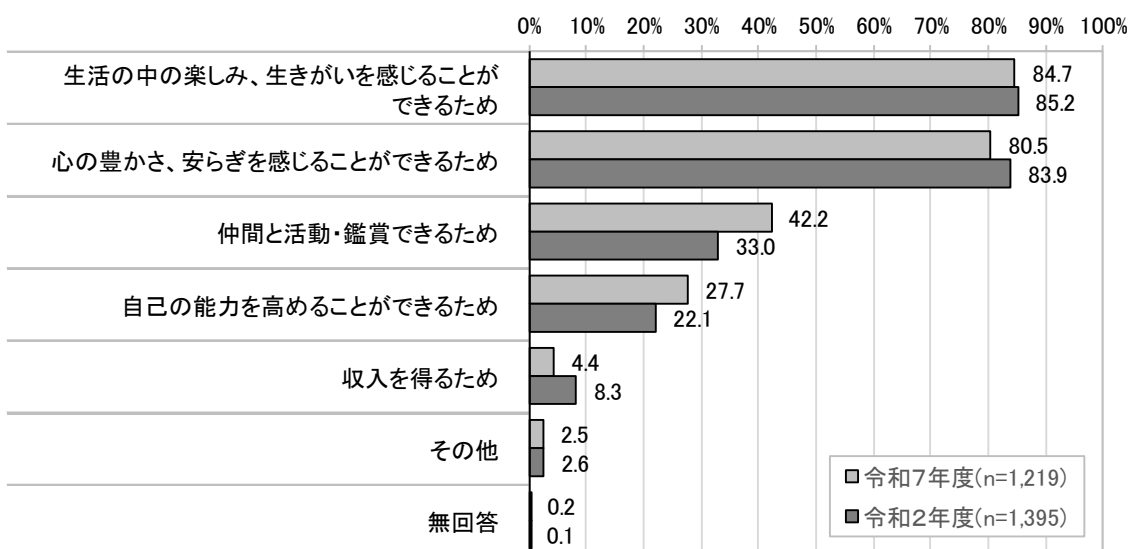
図表4-8-1 文化芸術を必要と考える理由(該当者全体)



【経年比較】

前回調査との比較では、「仲間と活動・鑑賞できるため」が9.2ポイント、「自己の能力を高める事ができるため」が5.6ポイント、それぞれ前回から増加している。(図表4-8-2)

図表4-8-2 文化芸術を必要と考える理由(経年比較)



【性別・年代別・居住地域別】

性別では、「仲間と活動・鑑賞できるため」は12.8ポイント、「生活の中の楽しみ、生きがいを感じる事ができるため」は5.7ポイント、それぞれ女性が男性より高くなっている。

年代別では、大きな傾向の違いはみられない。

居住地域別では、「生活の中の楽しみ、生きがいを感じる事ができるため」は西部地域(90.8%)が約9割で高くなっている。

(図表4-8-3)

図表4-8-3 文化芸術を必要と考える理由(性別・年代別・居住地域別)

		n	生活の中 の楽しみ、 生きがい を感じる ため	心の豊 かさ、 安らぎ を感じる こと のため	仲間 と活動・ 鑑賞 できる ため	自己 の能力 を高め ることが できる ため	収入 を得る ため	その他	無 回 答
全体		1,219	84.7	80.5	42.2	27.7	4.4	2.5	0.2
性別	男性	497	81.5	79.3	34.8	28.0	4.0	4.0	-
	女性	712	87.2	81.2	47.6	27.9	4.8	1.5	0.4
	その他	5	80.0	80.0	40.0	-	-	-	-
年代別	18・19歳	21	81.0	66.7	42.9	33.3	-	-	-
	20歳代	91	81.3	74.7	45.1	26.4	5.5	1.1	1.1
	30歳代	134	82.8	81.3	43.3	31.3	9.7	2.2	-
	40歳代	189	88.9	78.3	41.8	28.6	10.6	4.8	-
	50歳代	235	87.2	80.9	43.4	22.1	3.4	3.0	0.9
	60歳代	211	85.8	81.5	38.4	30.3	1.9	2.4	-
	70歳以上	335	82.1	82.7	43.3	28.4	1.2	1.8	-
居住地域別	南部地域	134	80.6	73.9	35.8	25.4	4.5	2.2	-
	南西部地域	123	80.5	77.2	41.5	26.0	7.3	3.3	-
	西部地域	131	90.8	87.8	48.1	32.1	3.1	1.5	-
	県央地域	101	88.1	88.1	41.6	32.7	4.0	4.0	-
	秩父地域	14	85.7	78.6	21.4	14.3	-	-	-
	県北地域	96	81.3	78.1	40.6	26.0	5.2	2.1	-
	東部地域	173	86.1	79.8	48.6	27.2	5.2	2.9	-
	利根地域	94	83.0	84.0	38.3	30.9	5.3	2.1	1.1
	川越比企地域	125	87.2	84.0	46.4	22.4	4.0	3.2	1.6
さいたま地域	222	84.2	77.0	40.5	29.3	3.2	2.3	-	

付録 調査票

県民文化芸術活動実態調査

(令和7年6月)

この調査の実施にあたり、県内にお住まいの満18歳以上の方々の中から、3,000人
を無作為に選ばせていただいたところ、あなた様にご意見をお伺いすることになりました。

つきましては、お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力く
ださいますようよろしくお願いいたします。

- お答えいただいた内容は、行政上の基礎資料として活用することを目的としておりますので、他の目的に利用することはありません。
- この調査では、あなた様のお名前やご住所を回答いただく必要はありません。
- 調査の結果は、統計的に処理し公表いたしますが、回答いただいた方の個人名や回答内容など、個々のお答えの内容やみなさまの個人情報が公表されることはありません。

ご記入にあたってのお願い

- ①回答は郵送又はインターネットホームページからのどちらかをお願いいたします。
インターネットでの回答については、別紙「インターネットでの回答方法」をご覧ください。
インターネットでの回答にあたっては、右記のID、パスワードの入力が必要となります。
- ②あて名のご本人が回答してください。
- ③設問は、1つだけ回答するものと、複数（該当するものすべて）回答するものがありますので、説明に従って回答してください。
また、○印は、番号を囲むようにつけてください。 → 例) 1
- ④回答が「その他」にあてはまる場合は、() 内にその内容を具体的に記入してください。
- ⑤設問によっては、回答する方が限られる場合がありますので、注意書きをよくお読みください。

記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、

令和7年7月4日（金）までに投函してください。

お名前やご住所の記入は不要です

この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

〇お問い合わせ先

【調査の趣旨・内容について】

埼玉県県民生活部文化振興課：日下、伊藤
電話：048-830-2887（直通）平日8:30～17:15

【調査票の記入方法・締め切りなどについて】

株式会社マーケティング・リサーチ・サービス：袁（えん）、佐藤
電話：03-6690-0086 平日10:00～18:00

この調査での「文化芸術」とは次のような分野です。

- ◆ 音楽：ポップス、ロック、ジャズ、演歌、歌謡曲、クラシック、楽器演奏、合唱など
- ◆ 美術：絵画、彫刻、工芸、陶芸、建築など
- ◆ 写真：風景、人物写真など
- ◆ 文芸：小説、詩、俳句、短歌など
- ◆ 生活文化：書道、茶道、華道、盆栽など
- ◆ 国民娯楽：囲碁、将棋など
- ◆ 舞踊：バレエ、ダンス、よさこいなど
- ◆ 伝統芸能：和太鼓、民謡、民舞、日本舞踊、獅子舞、歌舞伎、地域の伝統的なお祭りなど
- ◆ 演劇：現代演劇、児童劇、人形劇、オペラ、紙芝居、ミュージカル、朗読など
- ◆ 演芸：落語、講談、漫談、漫才・コント、大道芸など
- ◆ 伝統工芸、文化財の継承・保存
- ◆ 映画・漫画・アニメ・CGなどのメディア芸術

文化芸術に関する興味・関心について

問1 あなたは、文化芸術に興味・関心がありますか。該当する番号1つに○を付けてください。

- | | |
|------------------|------------------|
| 1 興味がある (⇒問2へ進む) | 2 興味がない (⇒問3へ進む) |
|------------------|------------------|

※ 問1で「1 興味がある」と回答した方にお尋ねします。

問2 どのような文化芸術に興味・関心がありますか。興味がある分野すべてに○を付けてください。

- | |
|--|
| 1 音楽 (ポップス、ロック、ジャズ、演歌、歌謡曲、クラシック、楽器演奏、合唱など) |
| 2 美術 (絵画、彫刻、工芸、陶芸、建築など) |
| 3 写真 (風景、人物写真など) |
| 4 文芸 (小説、詩、俳句、短歌など) |
| 5 生活文化 (書道、茶道、華道、盆栽など) |
| 6 国民娯楽 (囲碁、将棋など) |
| 7 舞踊 (バレエ、ダンス、よさこいなど) |
| 8 伝統芸能 (和太鼓、民謡、民舞、日本舞踊、獅子舞、歌舞伎、地域の伝統的なお祭りなど) |
| 9 演劇 (現代演劇、児童劇、人形劇、オペラ、紙芝居、ミュージカル、朗読など) |
| 10 演芸 (落語、講談、漫談、漫才・コント、大道芸など) |
| 11 伝統工芸、文化財の継承・保存 |
| 12 映画・漫画・アニメ・CGなどのメディア芸術 |

日頃の文化芸術に関する活動状況について

問3 あなたは、この1年間に文化芸術に関する活動や鑑賞を行いましたか。
該当する番号1つに○を付けてください。

※文化芸術に関する活動（文化芸術活動）の例

舞台等への出演、習い事や地域のお祭りに参加する など

※文化芸術に関する鑑賞の例

美術館で絵を見る、お祭りを見に行く、スマートフォン等を使い鑑賞する など

- | | |
|---|---|
| 1 | 活動と鑑賞をともに行った（活動と鑑賞の内容はそれぞれ違って構いません）
(⇒問4へ進む) |
| 2 | 活動のみ行った（⇒問4へ進む） |
| 3 | 鑑賞のみ行った（⇒問16へ進む） |
| 4 | 活動と鑑賞をともに行わなかった（⇒問20へ進む） |

※ 問4～問15は、問3でこの1年間に「1 活動と鑑賞をともに行った」又は
「2 活動のみ行った」と回答した方にお尋ねします。

問4 あなたは、この1年間、どれくらいの頻度で文化芸術活動を行いましたか。
また、文化芸術活動を行った場所はどこですか。

問4-1 文化芸術活動を行った頻度について、該当する番号1つに○を付けてください。

- | | | | |
|---|------|---|--------|
| 1 | 年に数回 | 2 | 月に1回 |
| 3 | 月に数回 | 4 | 週に1回以上 |

問4-2 文化芸術活動を行った場所について、該当する番号すべてに○を付けてください。

- | | | | |
|---|-------------|---|----------|
| 1 | 自宅 | 2 | 県内（自宅以外） |
| 3 | 東京都内 | 4 | その他の道府県 |
| 5 | その他（具体的に記入） | | |

問5 この1年間に、あなたが行った文化芸術活動はどのような内容ですか。行った分野すべてに○を付けてください。

- | | |
|----|---|
| 1 | 音楽（ポップス、ロック、ジャズ、演歌、歌謡曲、クラシック、楽器演奏、合唱など） |
| 2 | 美術（絵画、彫刻、工芸、陶芸、建築など） |
| 3 | 写真（風景、人物写真など） |
| 4 | 文芸（小説、詩、俳句、短歌など） |
| 5 | 生活文化（書道、茶道、華道、盆栽など） |
| 6 | 国民娯楽（囲碁、将棋など） |
| 7 | 舞踊（バレエ、ダンス、よさこいなど） |
| 8 | 伝統芸能（和太鼓、民謡、民舞、日本舞踊、獅子舞、歌舞伎、地域の伝統的なお祭りなど） |
| 9 | 演劇（現代演劇、児童劇、人形劇、オペラ、紙芝居、ミュージカル、朗読など） |
| 10 | 演芸（落語、講談、漫談、漫才・コント、大道芸など） |
| 11 | 伝統工芸、文化財の継承・保存 |
| 12 | 映画・漫画・アニメ・CGなどのメディア芸術 |

問6 あなたが文化芸術活動を始めたきっかけはどのような理由からですか。該当する番号すべてに○を付けてください。

- | | | | |
|----|-------------------|----|-------------------|
| 1 | 個人的に興味があったため | 2 | 学校の部活動 |
| 3 | 会社のクラブ活動 | 4 | 友人・知人に誘われて |
| 5 | 子供のころの稽古事 | 6 | 公民館・文化センターなどの講座受講 |
| 7 | 実際に活動している様子や作品を見て | 8 | ポスターなどの広告を見て |
| 9 | 生活の中の楽しみとして | 10 | 知識や教養を身に着けるため |
| 11 | その他（具体的に記入） | | |

問7 あなたが文化芸術活動を行う上で困っていることは、どのようなことですか。該当する番号すべてに○を付けてください。

- | | |
|----|-----------------------------|
| 1 | 仕事・学業との時間調整 |
| 2 | 家事・子育て・介護との時間調整 |
| 3 | 活動費用の出費 |
| 4 | 発表の機会が少ない |
| 5 | 適切な指導者・助言者がいない |
| 6 | 活動に必要な仲間がいない |
| 7 | 活動に必要な施設が身近にない |
| 8 | 活動に関係する団体や催し物の情報が少ない |
| 9 | 団体に所属している場合に団体内の役割に負担がある |
| 10 | 団体に所属している場合に会員同士の付き合いに負担がある |
| 11 | その他（具体的に記入） |
| 12 | 特にない |

問 8 あなたが、文化芸術活動を行うことで得たものはなんですか。該当する番号すべてに○を付けてください。

- | | |
|---------------|---------|
| 1 心の豊かさ、やすらぎ | 2 仲間・友人 |
| 3 生きがい | 4 創造性 |
| 5 自己の能力が高められる | 6 金銭収入 |
| 7 その他（具体的に記入 |) |
| 8 特にない | |

問 9 あなたはプロの芸術家（文化芸術活動を行うことで金銭収入を得ている）ですか。該当する番号1つに○を付けてください。

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

問 10 あなたは、文化芸術活動の団体に所属していますか。該当する番号1つに○を付けてください。

- | |
|--------------------------------|
| 1 団体に所属している（⇒問 11 へ進む） |
| 2 団体に所属していない（個人で活動）（⇒問 14 へ進む） |

※ 問 10 で「1 団体に所属している」と回答した方にお尋ねします。

問 11 あなたが所属している団体の規模はどの程度ですか。主に活動している団体について、該当する番号1つに○を付けてください。

- | | | |
|----------|-----------------|----------|
| 1 10 人以下 | 2 11 人以上 50 人未満 | 3 50 人以上 |
|----------|-----------------|----------|

問 12 あなたが所属している団体は、どのようなメンバーを中心に構成していますか。主に活動している団体について、該当する番号1つに○を付けてください。

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1 学校や職場の人 | 2 地域の町内会や、自治会などの人 |
| 3 自治体や公民館の講座の参加者 | 4 民間や個人の稽古事の参加者 |
| 5 友人・知人 | 6 同好者 |
| 7 公募メンバー | 8 その他（具体的に記入 |
| |) |

問 13 あなたが所属している団体の活動上の問題・課題は何ですか。該当する番号すべてに○を付けてください。

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1 会員の高齢化・後継者不足 | 2 会員が集まらない |
| 3 会員間の時間調整が難しい | 4 活動に必要な時間を確保できない |
| 5 適切な指導者がいない | 6 活動がマンネリ化している |
| 7 活動場所の確保が難しい | 8 発表場所や機会を確保できない |
| 9 活動資金が乏しい | 10 会の運営がうまくいかない |
| 11 他の団体との交流が少ない | 12 地域住民との交流が少ない |
| 13 他の団体などの情報が少ない | 14 広報・PR が十分できない |
| 15 その他（具体的に記入 |) |
| 16 特にない | |

⇒問 16 へ進む

※ 問 10 で「2 団体に所属していない」と回答した方にお尋ねします。

問 14 あなたが団体に加入していない理由は何ですか。該当する番号すべてに○を付けてください。

- | | |
|----|---------------------|
| 1 | 入りたい団体が近くにないため |
| 2 | どこにどんな団体があるか情報がないため |
| 3 | 時間的に余裕がないため |
| 4 | 知人がいないため |
| 5 | 経済的な余裕がないため |
| 6 | 継続する自信がないため |
| 7 | 団体に加入するきっかけがないため |
| 8 | 団体に加入すると自由がなくなるため |
| 9 | 団体に加入する必要性を感じないため |
| 10 | 家族の反対があるため |
| 11 | その他（具体的に記入） |
| 12 | わからない・特に理由はない |

問 15 あなたは今後、団体に参加して活動したいと思いませんか。該当する番号一つに○を付けてください。

- | | | | |
|---|----|---|------|
| 1 | 思う | 2 | 思わない |
|---|----|---|------|

※ 問 16～問 19 は、問 3 でこの 1 年間に「1 活動と鑑賞をともに行った」又は「3 鑑賞のみ行った」と回答した方にお尋ねします。

問 16 あなたはこの 1 年間、どれくらいの頻度で文化芸術に関する鑑賞を行いましたか。また、その場所はどこですか。

問 16-1 文化芸術の鑑賞を行った頻度について、該当する番号一つに○を付けてください。

- | | | | |
|---|------|---|----------|
| 1 | 年に数回 | 2 | 月に 1 回 |
| 3 | 月に数回 | 4 | 週に 1 回以上 |

問 16-2 文化芸術の鑑賞を行った場所について、該当する番号すべてに○を付けてください。

- | | | | |
|---|-----------------|---|---------|
| 1 | 自宅や通勤・通学・移動途中など | 2 | 県内施設 |
| 3 | 東京都内 | 4 | その他の道府県 |
| 5 | その他（具体的に記入） | | |

問 17 この1年間に、あなたが行った文化芸術の鑑賞はどのような内容のものですか。鑑賞を行った分野すべてに○を付けてください。

- | | |
|----|---|
| 1 | 音楽（ポップス、ロック、ジャズ、演歌、歌謡曲、クラシック、楽器演奏、合唱など） |
| 2 | 美術（絵画、彫刻、工芸、陶芸、建築など） |
| 3 | 写真（風景、人物写真など） |
| 4 | 文芸（小説、詩、俳句、短歌など） |
| 5 | 生活文化（古道、茶道、華道、盆栽など） |
| 6 | 国民娯楽（囲碁、将棋など） |
| 7 | 舞踊（バレエ、ダンス、よさこいなど） |
| 8 | 伝統芸能（和太鼓、民謡、民舞、日本舞踊、獅子舞、歌舞伎、地域の伝統的なお祭りなど） |
| 9 | 演劇（現代演劇、児童劇、人形劇、オペラ、紙芝居、ミュージカル、朗読など） |
| 10 | 演芸（落語、講談、漫談、漫才・コント、大道芸など） |
| 11 | 伝統工芸、文化財の継承・保存 |
| 12 | 映画・漫画・アニメ・CGなどのメディア芸術 |

問 18 あなたが文化芸術の鑑賞を始めたきっかけはどのような理由からですか。該当する番号すべてに○を付けてください。

- | | | | |
|----|-------------------|----|-------------------|
| 1 | 個人的に興味があったため | 2 | 学校の部活動 |
| 3 | 会社のクラブ活動 | 4 | 友人・知人に誘われて |
| 5 | 子供のころの稽古事 | 6 | 公民館・文化センターなどの講座受講 |
| 7 | 実際に活動している様子や作品を見て | 8 | ポスターなどの広告を見て |
| 9 | 生活の中の楽しみとして | 10 | 知識や教養を身に着けるため |
| 11 | その他（具体的に記入） | | |

問 19 あなたが鑑賞を行う上で困っていることは、どのようなことですか。該当する番号すべてに○を付けてください。

- | | |
|---|---------------------------|
| 1 | 仕事・学業との時間調整 |
| 2 | 家事・子育て・介護との時間調整 |
| 3 | 鑑賞費用の出費 |
| 4 | ホール・美術館・映画館などの施設が身近にない |
| 5 | イベントの開催や公演などの内容に関する情報が少ない |
| 6 | 鑑賞したいと思うような魅力的な催し物がない |
| 7 | その他（具体的に記入） |
| 8 | 特になし |

※ 問 20～問 22 は、問 3 で「3 鑑賞のみ行った」又は「4 活動や鑑賞をともに行わなかった」と回答した方にお尋ねします。

問 20 あなたが文化芸術活動をすることができない（していない）理由はどうしてですか。該当する番号すべてに○を付けてください。

- 1 仕事・学業が忙しくて時間を確保できない
- 2 家事・子育て・介護で時間を確保できない
- 3 活動の費用を出せない
- 4 参加できる団体などが身近にない
- 5 活動したい魅力的な分野がない
- 6 身近に参加できる企画やイベントが少ない
- 7 活動に向けた情報がない
- 8 活動するための施設がない
- 9 施設の利用時間などの利用条件が合わない
- 10 適切な指導者や講師がない
- 11 活動に参加するきっかけがない
- 12 仲間がない
- 13 その他（具体的に記入）
- 14 関心がない

問 21 あなたは、今後、文化芸術活動を行いたいと思いますか。該当する番号一つに○を付けてください。

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1 はい（⇒問 22 へ進む） | 2 いいえ（⇒問 23 へ進む） |
|-----------------|------------------|

※ 問 21 で「1 はい」と回答した方にお尋ねします。

問 22 今後、行いたい文化芸術活動はどのようなものですか。興味がある分野すべてに○を付けてください。

- 1 音楽（ポップス、ロック、ジャズ、演歌、歌謡曲、クラシック、楽器演奏、合唱など）
- 2 美術（絵画、彫刻、工芸、陶芸、建築など）
- 3 写真（風景、人物写真など）
- 4 文芸（小説、詩、俳句、短歌など）
- 5 生活文化（書道、茶道、華道、盆栽など）
- 6 国民娯楽（囲碁、将棋など）
- 7 舞踊（バレエ、ダンス、よさこいなど）
- 8 伝統芸能（和太鼓、民謡、民舞、日本舞踊、獅子舞、歌舞伎、地域の伝統的なお祭りなど）
- 9 演劇（現代演劇、児童劇、人形劇、オペラ、紙芝居、ミュージカル、朗読など）
- 10 演芸（落語、講談、漫談、漫才・コント、大道芸など）
- 11 伝統工芸、文化財の継承・保存
- 12 映画・漫画・アニメ・CGなどのメディア芸術

※ 問3で「4 活動や鑑賞をともに行わなかった」と回答した人にお尋ねします。

問23 あなたが、文化芸術を鑑賞することができない（していない）理由はどうしてですか。該当する番号すべてに○を付けてください。

- 1 仕事・学業が忙しくて時間を確保できない
- 2 家事・子育て・介護で時間を確保できない
- 3 鑑賞の費用を出せない
- 4 鑑賞したい魅力的な分野がない
- 5 身近に鑑賞できる企画やイベントが少ない
- 6 企画やイベント、団体の情報がない
- 7 鑑賞するための施設がない
- 8 鑑賞するきっかけがない
- 9 鑑賞する仲間がない
- 10 その他（具体的に記入）
- 11 関心がない

今後の文化芸術全般について（全員お答えください。）

問24 あなたは文化芸術に関する情報をどのようにして得ていますか。該当する番号すべてに○を付けてください。

- 1 県や市町村の広報紙
- 2 新聞などの広告
- 3 雑誌や情報誌
- 4 駅やバス・電車の広告
- 5 テレビ
- 6 ラジオ
- 7 インターネット（ウェブサイト、X、インスタグラムなど）
- 8 メールマガジン
- 9 ポスター・チラシ・パンフレット
- 10 友人や知人を通じて
- 11 会報誌・会員誌
- 12 その他（具体的に記入）
- 13 得ていない

問 25 あなたが必要としている文化情報はどのようなものですか。該当する番号すべてに○を付けてください。

- | | |
|---|--|
| 1 | コンサートや美術展、舞台公演などのイベントの開催情報 |
| 2 | 地域のお祭りや伝統芸能（獅子舞、神楽、お囃子など）などの鑑賞・参加機会の情報 |
| 3 | 生活文化（茶道、華道など）の体験イベントの開催情報 |
| 4 | 活動団体の情報 |
| 5 | 文化芸術活動の専門情報 |
| 6 | 公立施設での講座などの開催情報 |
| 7 | 民間の講座などの開催情報 |
| 8 | その他（具体的に記入） |
| 9 | 特に必要としていない |

問 26 あなたは、文化芸術を鑑賞したり習い事をしたりする機会や文化財・伝統的まちなみの保存・整備など、埼玉県の文化的な環境に満足していますか。該当する番号1つに○を付けてください。

- | | | | | | |
|---|-----------------|---|----------------|---|-------|
| 1 | 満足している | 2 | どちらかといえば満足している | | |
| 3 | どちらかといえば満足していない | 4 | 満足していない | 5 | わからない |

問 27 あなたは、県民が文化芸術の活動や鑑賞を行うことができるようにするために、県が積極的に取り組むべき分野はどのようなことだと思いますか。該当する番号すべてに○を付けてください。

- | | |
|----|------------------------------------|
| 1 | 表彰による優れた文化芸術活動の促進 |
| 2 | 県文化施設（劇場・ホール・博物館・美術館等）の利便性の向上 |
| 3 | 公演やイベントの情報提供の充実 |
| 4 | 海外の文化芸術に触れる機会の提供 |
| 5 | 質の高い文化芸術に触れる機会の提供 |
| 6 | 子どもや青少年が文化芸術に親しむ機会の充実 |
| 7 | 障害者や高齢者等のがあらゆる人々が文化芸術活動に参加できる機会の提供 |
| 8 | 文化芸術の先進的な取組への支援 |
| 9 | 地域の文化芸術団体と住民が接する機会の提供 |
| 10 | 文化芸術に関する各種講座・セミナーなどの開催 |
| 11 | 文化芸術の担い手となる人材の育成 |
| 12 | 文化活動を支援・助言できる窓口 |
| 13 | 伝統的な文化の発掘・保護・継承、文化財の保存・活用 |
| 14 | 生活文化（盆栽、書道、着物、工芸など）の再評価・活用 |
| 15 | 県民の文化芸術活動に対する経済的な支援 |
| 16 | 県民の文化芸術活動に対する成果を発表する場の提供 |
| 17 | その他（具体的に記入） |
| 18 | わからない |

問 28 近年、文化芸術には教育や産業など、様々な面での可能性が期待されています。あなたが文化芸術に期待するものは何ですか。該当する番号すべてに○を付けてください。

- | | |
|----------------------------|-----------------------|
| 1 心の豊かさ、安らぎを感じる | 2 新しいものを生み出す創造性が育成される |
| 3 自己表現の能力が高められる | 4 生きがいづくりに効果がある |
| 5 多様な文化に触れることで相互理解や交流が深まる | |
| 6 医療・福祉など健康長寿やリハビリなどで効果がある | |
| 7 障がいのある方の社会参加につながる | |
| 8 伝統工芸品の振興や産業の創出につながる | |
| 9 にぎわいの創出や観光地の魅力向上につながる | |
| 10 地域の誇りや活性化につながる | |
| 11 その他（具体的に記入） | |
| 12 特に期待しない | |

問 29 あなたが思う、埼玉県が誇れる文化芸術とはなんですか。自由に記述してください。

（彩の国さいたま芸術劇場、音楽、美術、アニメ、伝統芸能、祭りなど）

問 30 コロナ禍においては、文化芸術に関する活動や鑑賞する機会が制限されましたが、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、県民の文化芸術活動は再活性化しつつあります。

このような状況の変化を経験し、あらためて文化芸術が必要だと考えますか。該当する番号1つに○を付けてください。

- | | | |
|------------|-------------|-----------|
| 1 必要である | 2 ある程度必要である | ⇒問 31 へ進む |
| 3 あまり必要でない | 4 まったく必要でない | ⇒問 32 へ進む |

※ 問 30 で「1 必要である」又は「2 ある程度必要である」を回答した方にお尋ねします。

問 31 文化芸術が必要と考えた理由はなぜですか。該当する番号すべてに○を付けてください。

- | |
|-----------------------------|
| 1 心の豊かさ、安らぎを感じることができるため |
| 2 生活の中の楽しみ、生きがいを感じることができるため |
| 3 仲間と活動・鑑賞できるため |
| 4 自己の能力を高めることができるため |
| 5 収入を得るため |
| 6 その他（具体的に記入） |

回答者の属性

問 32 あなたの性別について、該当する番号 1 つに○を付けてください。

(※戸籍上の性別ではなく、自認する性別をお選びください。)

- | | | |
|------|------|-------|
| 1 男性 | 2 女性 | 3 その他 |
|------|------|-------|

問 33 あなたの年齢について、該当する番号 1 つに○を付けてください。

- | | | | |
|-----------|---------|----------|---------|
| 1 18・19 歳 | 2 20 歳代 | 3 30 歳代 | 4 40 歳代 |
| 5 50 歳代 | 6 60 歳代 | 7 70 歳以上 | |

問 34 あなたのお仕事について、主に該当する番号 1 つに○を付けてください。

- | | | |
|----------------------------------|---------------|-------------|
| 1 自営業主 | 2 家族従業（家業手伝い） | 3 正規の職員・従業員 |
| 4 非正規の職員・従業員 | 5 学生 | 6 専業の主婦・主夫 |
| 7 その他の無職（年金、配当、仕送りなどで暮らしている人、無職） | | |

→問 35（就業・就学している方）あなたの勤務先又は通学先はどこですか。該当する番号 1 つに○を付けてください。

- | | |
|---------------|--------|
| 1 県内 | 2 東京都内 |
| 3 その他（具体的に記入） | |

問 36 あなたの家族構成について、該当する番号 1 つに○を付けてください。

- | | | |
|-----------------|---------------|---------------|
| 1 単身 | 2 夫婦のみ | 3 2 世代家族（親と子） |
| 4 3 世代家族（親と子と孫） | 5 その他（具体的に記入） | |

問 37 あなたのお住いの地域はどこですか。該当する番号 1 つに○を付けてください。

- | |
|---|
| 1 南部地域（川口市、蕨市、戸田市） |
| 2 南西部地域（朝霞市、志木市、和光市、新座市、富士見市、ふじみ野市、三芳町） |
| 3 西部地域（所沢市、飯能市、狭山市、入間市、日高市） |
| 4 県央地域（鴻巣市、上尾市、桶川市、北本市、伊奈町） |
| 5 秩父地域（秩父市、横瀬町、皆野町、長瀨町、小鹿野町） |
| 6 県北地域（熊谷市、本庄市、深谷市、美里町、神川町、上里町、寄居町） |
| 7 東部地域（春日部市、草加市、越谷市、八潮市、三郷市、吉川市、松伏町） |
| 8 利根地域
（行田市、加須市、羽生市、久喜市、蓮田市、幸手市、白岡市、宮代町、杉戸町） |
| 9 川越比企地域
（川越市、東松山市、坂戸市、鶴ヶ島市、毛呂山町、越生町、滑川町、嵐山町、小川町、川島町、吉見町、鳩山町、ときがわ町、東秩父村） |
| 10 さいたま地域（さいたま市） |

質問は以上です。御協力ありがとうございました。

令和7年度県民文化芸術活動実態調査 報告書

令和7年10月

埼玉県県民生活部文化振興課

〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3丁目15番1号

電話 048 (830) 2887 FAX 048 (830) 4752